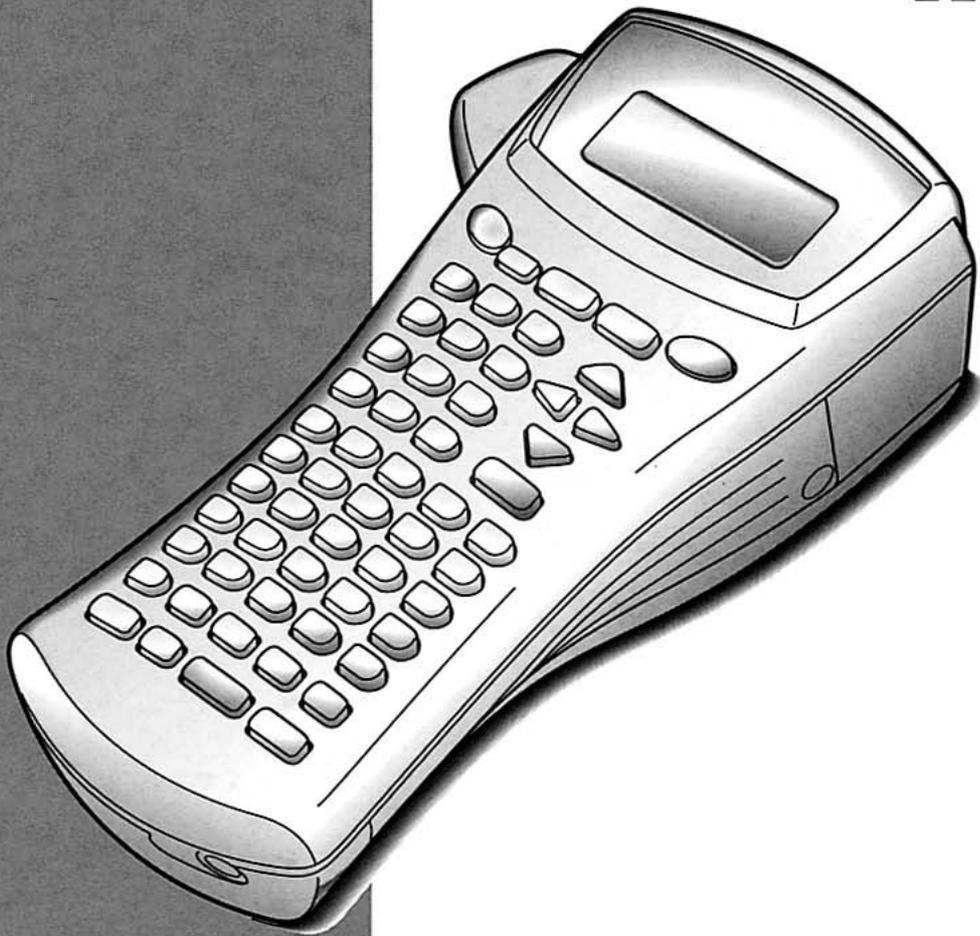


**MAX**®

**LABEL PRINTER**  
**PM-24**

**取扱説明書**

**Bepop**®  
mini



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# はじめに

このたびは、「Bepop mini PM-24」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
Bepop mini PM-24（以下「本機」）は、オリジナルラベルを簡単に作成できるラベルプリンタです。

本書は、お使いになるときの注意事項や、基本的な使い方を記載しています。お使いになる前に、必ず本書をお読みください。

なお、本書はお読みになったあとも、大切に保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことによって生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

IBMは、International Business Machines Inc.の商標です。

Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他記載したソフトウェア名、商品名、製品名は、一般に開発元各社の商標または登録商標です。

# もくじ

|                     |   |
|---------------------|---|
| はじめに .....          | 1 |
| もくじ .....           | 2 |
| マニュアルの使い方 .....     | 5 |
| 安全にお使いいただくために ..... | 6 |
| 使用上の注意 .....        | 9 |

## 1 お使いになる前に ..... 11

|                   |    |
|-------------------|----|
| 付属品を確認しましょう ..... | 12 |
| 各部の名称 .....       | 13 |
| 前面 .....          | 13 |
| 背面 .....          | 13 |
| キーボード .....       | 14 |
| 液晶画面 .....        | 16 |
| 準備しましょう .....     | 17 |
| 乾電池をセットする .....   | 17 |
| テープをセットする .....   | 18 |
| 電源を入れる .....      | 19 |
| ACアダプタを接続する ..... | 19 |
| テープを送る .....      | 20 |

## 2 ラベルを作成する ..... 21

|                   |    |
|-------------------|----|
| 作成できるラベルの種類 ..... | 22 |
| 文字を入力する .....     | 23 |
| ひらがなを入力する .....   | 23 |
| カタカナを入力する .....   | 24 |
| 漢字を入力する .....     | 24 |
| 英文字を入力する .....    | 26 |
| 改行する .....        | 26 |
| 記号を入力する .....     | 27 |
| 文字を修正する .....     | 28 |
| 文字を挿入する .....     | 28 |
| 文字を削除する .....     | 28 |
| 書式を設定する .....     | 30 |
| 文字の大きさを設定する ..... | 30 |

|                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| 文字の幅を設定する .....                  | 31        |
| 文字の間隔を設定する .....                 | 32        |
| 太字を設定する .....                    | 32        |
| 文字の配置を設定する .....                 | 33        |
| 文字を枠で囲む .....                    | 34        |
| 縦書きにする .....                     | 35        |
| ラベルの長さを設定する .....                | 35        |
| ラベルの余白を設定する .....                | 36        |
| ブロックを追加する .....                  | 36        |
| <b>印刷する .....</b>                | <b>37</b> |
| レイアウトを確認する .....                 | 37        |
| 印刷する .....                       | 37        |
| ラベルを貼る .....                     | 38        |
| 特殊印刷の設定をする .....                 | 39        |
| <b>マーキングラベルを設定する .....</b>       | <b>43</b> |
| ケーブル用マーキングラベル（ケーブル A）を設定する ..... | 43        |
| ケーブル用マーキングラベル（ケーブル B）を設定する ..... | 44        |
| ピッチ／カットラベルを設定する .....            | 45        |
| ピッチ／ラインラベルを設定する .....            | 46        |
| フラグラベルを設定する .....                | 48        |
| <b>バーコードを作成する .....</b>          | <b>49</b> |
| バーコードを設定する .....                 | 49        |
| バーコードを入力する .....                 | 50        |
| 印刷する .....                       | 51        |
| バーコード印刷の注意 .....                 | 52        |
| <b>データを保存する .....</b>            | <b>53</b> |
| データを保存する .....                   | 53        |
| データを呼び出す .....                   | 54        |
| データを削除する .....                   | 54        |
| <b>設定を変更する .....</b>             | <b>55</b> |
| テープ送りと切り方を設定する .....             | 55        |
| 液晶画面のコントラストを調整する .....           | 56        |
| 自動縮小を設定する .....                  | 56        |
| ラベル長を補正する .....                  | 57        |
| バージョンを表示する .....                 | 58        |
| 記号自動更新を設定する .....                | 58        |
| 初期化する .....                      | 59        |

|                          |    |
|--------------------------|----|
| テンプレートデータでラベルを作成する ..... | 60 |
| テンプレートデータでラベルを作成する ..... | 60 |
| マーキングラベルを作成しましょう .....   | 61 |
| データを入力する .....           | 61 |
| ラベルの設定をする .....          | 62 |
| 印刷する .....               | 63 |

### **3 パソコンでラベルを作成する..... 65**

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| パソコンでラベルを作成するには .....             | 66 |
| パソコンでラベルを作成するときの注意 .....          | 67 |
| 対応 OS .....                       | 69 |
| インストールするときの注意 .....               | 69 |
| 使用するソフトウェア .....                  | 69 |
| プログラムをインストールする .....              | 70 |
| 基本セットアップでインストールする .....           | 71 |
| P-touch Editor だけインストールするとき ..... | 76 |
| プリンタドライバだけインストールするとき .....        | 77 |
| ソフトウェアを削除するとき .....               | 78 |
| プリンタを使用しなくなったとき .....             | 79 |
| P-touch Editor でラベルを編集する .....    | 81 |
| P-touch Editor を起動する .....        | 81 |
| レイアウト画面 .....                     | 82 |
| ラベルのサイズを指定する .....                | 84 |
| 文字を入力する .....                     | 84 |
| イラストを挿入する .....                   | 84 |
| フォーマットラベルを作成する .....              | 85 |
| バーコードラベルを作成する .....               | 86 |
| データベースデータを利用する .....              | 86 |
| ヘルプの使い方 .....                     | 88 |
| 他の種類のラベルを作るには .....               | 90 |
| パソコンからデータを転送する .....              | 91 |
| 転送するデータを表示する .....                | 91 |
| データを転送する .....                    | 92 |
| データを表示する .....                    | 93 |
| データベースを検索する .....                 | 95 |
| データを印刷する .....                    | 96 |
| データをバックアップ／削除する .....             | 97 |

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| マーキングラベルを作成しましょう .....         | 99  |
| P-touch Editor でデータを作成する ..... | 100 |
| データを転送する .....                 | 101 |
| 本機にデータを表示する .....              | 103 |
| データを印刷する .....                 | 104 |

## 4 付録 ..... 105

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| バーコードラベルを作成するとき .....     | 106 |
| バーコード対応一覧 .....           | 106 |
| バーコード印刷の注意 .....          | 107 |
| お手入れ .....                | 108 |
| ラベルがきれいに印刷できないとき .....    | 108 |
| カッター刃のそうじ .....           | 109 |
| 困ったとき .....               | 110 |
| Q&A .....                 | 110 |
| エラーメッセージ .....            | 111 |
| 記号一覧 .....                | 114 |
| 主な仕様 .....                | 116 |
| Bepop mini PM-24 本体 ..... | 116 |
| 動作環境 .....                | 116 |
| 索引 .....                  | 117 |

## マニュアルの使い方

本機には以下の説明書が付属しています。用途に応じて使用してください。

| マニュアル                           | 取扱説明書<br>(本書) | ソフトウェア内ヘルプ |
|---------------------------------|---------------|------------|
| 本機の準備・操作、ソフトウェアのインストールについて      | ○             |            |
| P-touch Editor Ver. 4.0<br>の使い方 | ○             | ○          |

# 安全にお使いいただくために

本書および本機で使用している表示や絵文字は、本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

その表示や意味は、次のとおりです。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | ● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。                |
|  <b>注意</b> | ● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない禁止事項



分解してはいけません



水に濡らしてはいけません



特定しない義務行為



電源プラグを抜いてください



特定しない危険通告

本機を安全にお使いいただくために、以下のことがらを守ってください。

## 警告



- 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災・感電の原因となります。



- ACアダプタの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。

- ACアダプタの電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災・感電の原因となります。

- 濡れた手でACアダプタの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

- 水、薬品など機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合はACアダプタの電源プラグをコンセントからすぐ抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災・感電の原因となります。



- 故障したまま本機を使用しないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



- ACアダプタの電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると、本機が故障したり、火災・感電の原因になります。

---

 **注意**

---

本機で作成した標示物に起因する損害、逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

---



- 内部メモリーに保存した内容は、永久的な保存はできません。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 



- 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。電圧が下がり、機械が誤動作する可能性があります。
  - 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
- 



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 



- コードの接続は、必ず電源OFFの状態で行ってください。電源ONのまま接続すると、けがや故障の原因となります。
- 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にほこりなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。

## 使用上の注意

本機のトラブルを避け、故障を未然に防ぐために、下記の事項を必ず守ってください。

### ■ Bepop mini PM-24

- 本機は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ご使用中に強度のノイズや強い衝撃を受けた場合、異常表示やメモリーの内容が消えることがあります。
- 本機の電源を入れたまま、または電源を切った直後に乾電池やACアダプタを取り外さないでください。設定やメモリー消去などの誤作動や故障の原因となるおそれがあります。
- テレビやラジオなどの近くに置くと、誤動作する可能性があります。電磁妨害のもとになる機器の近くには設置しないでください。
- 本機に直射日光をあてないでください。
- 本機やACアダプタの上にものを置かないでください。
- ほこりの多い場所や、高温、多湿、凍結する場所では使用しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 本機をそうじするときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機性溶剤を使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。本機の汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の上に、ゴムやビニールを長期間置かないでください。しみになることがあります。
- 本機の上に、重いものや水の入ったものを置かないでください。万一、本機や内部に水がかかったり、内部に異物が入った場合は、当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、故障やケガの原因となります。
- 液晶画面を強く押さないでください。割れることがあります。
- 寒い屋外から暖房の効いた暖かい室内に持ち込んだ場合など、急激な温度変化により、本機内部が結露することがあります。このときは室内に30分以上放置して、結露が取れたことを確認してから使用してください。
- カッターには触らないでください。カッターに触るとケガをするおそれがあります。テープの交換でカバーを開けたときなどは、特に注意してください。
- テープ排出口やACアダプタジャック部、USBポート部にものを入れたり、ふさいだりしないでください。
- プrintヘッド周辺の金属部には触らないでください。Printヘッドと周辺の金属部は動作中、動作直後は高温になりますので、直接手を触れないでください。
- インターフェースケーブル（USBケーブル）は付属のものを使用してください。
- 本機には、指定のレタリテープをご使用ください。それ以外のものは使用できません。
- 乾電池を取り外したり、ACアダプタを外して保管すると、メモリーなどに保存されていたデータはすべて消えますのでご了承ください。
- 保管、輸送するときは、専用のキャリングケースまたは包装箱を使用してください。

### ■ ACアダプタ

- 本機には、必ず専用ACアダプタを使用してください。
- 長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

## ■ テープ (テープカセット)

- 専用カセット (6～24mm 幅) を使用してください。
- テープを引き出さないでください。テープカセットが壊れる原因となります。
- テープを貼り付ける面が濡れていたり、ほこりや油で汚れている場合は、テープがはがれやすくなる場合があります。あらかじめ掃除してから、テープを貼り付けてください。
- テープを貼り付けようとしている被着体の材質、表面状態、凹凸、曲面、環境条件などによって、テープの一部が浮いたり、はがれたりすることがあります。
- 特別な接着強度、安全性が必要な条件下で使用する場合は、あらかじめ目立たない場所で、確認、試験をしてから、使用してください。
- テープを屋外で使用する場合は、紫外線、風雨などの影響で、テープの色あせが生じたり、テープの端が浮いたりすることがあります。
- 油性あるいは水性ペンなどで書かれた上に直接テープを貼り付けると、インクが透けて見えることがあります。テープを2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のテープを使用してください。
- 使い終わったテープカセットは使用しないでください。
- テープカセットは、直射日光、高温多湿、ほこりを避けて、冷暗所で保管してください。また開封後は、できるだけ早く使用してください。
- 上記の原因によって生じた損害等について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■ CD-ROM

- CD-ROM に傷を付けないように注意してください。
- CD-ROM を極端に高温、あるいは低温の場所に置かないでください。
- CD-ROM の上に重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。

## ■ ソフトウェアの使用について

- CD-ROM に収録されているソフトウェアは、本機を使用する目的に限り、一事業所内で複数のパソコンにインストールして使用することができます。

# 1 お使いになる前に

ここでは、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

|                   |    |
|-------------------|----|
| 付属品を確認しましょう ..... | 12 |
| 各部の名称.....        | 13 |
| 準備しましょう .....     | 17 |

# 付属品を確認しましょう

箱をあけたら、以下の付属品が揃っていることを確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

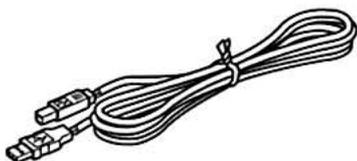
## ■ Bepop mini PM-24

ラベルプリンタ本体です。



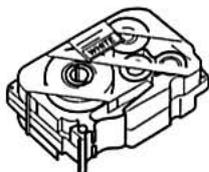
## ■ USB ケーブル

本機とパソコンのUSBポートを接続するケーブルです。



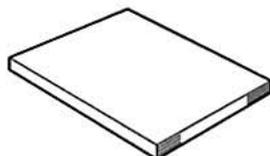
## ■ テープカセット

ラベルのテープが入ったカセットです。



## ■ 取扱説明書

本書です。大切に保管してください。

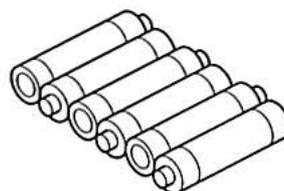


## ■ CD-ROM

パソコンにインストールするプログラムなどが収録されています。



## ■ 単3アルカリ乾電池（6本）



● 付属の乾電池は、工場出荷時より消耗が始まっていますので、所定の使用時間に満たないうちに寿命になる場合があります。

## ■ ストラップ

## ■ テープカタログ

Bepop mini シリーズ用テープカセットのカタログです。

## ■ 保証書・お客様登録カード

# 各部の名称

本体各部の名称を説明します。

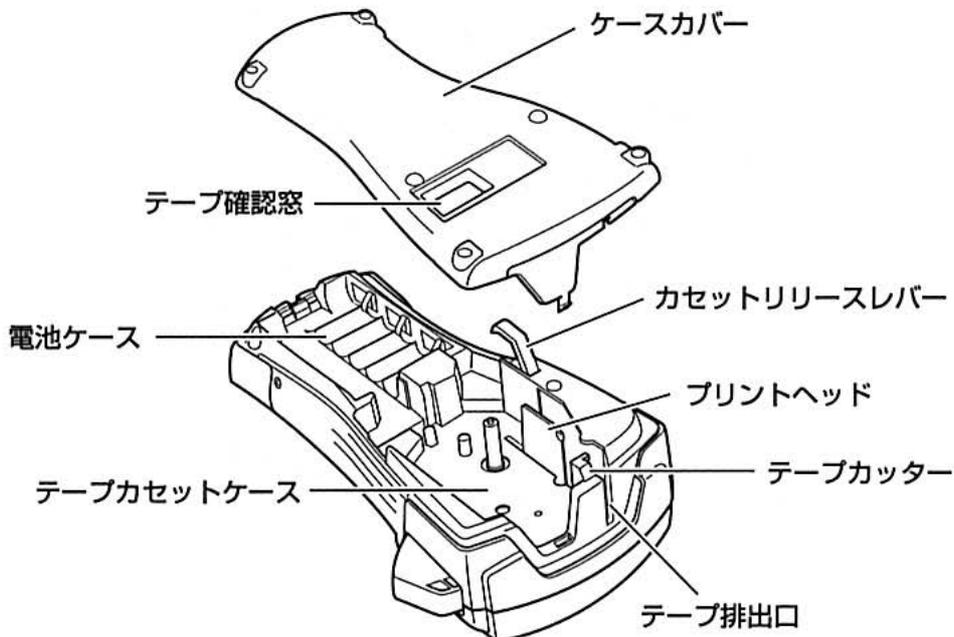
## 前面



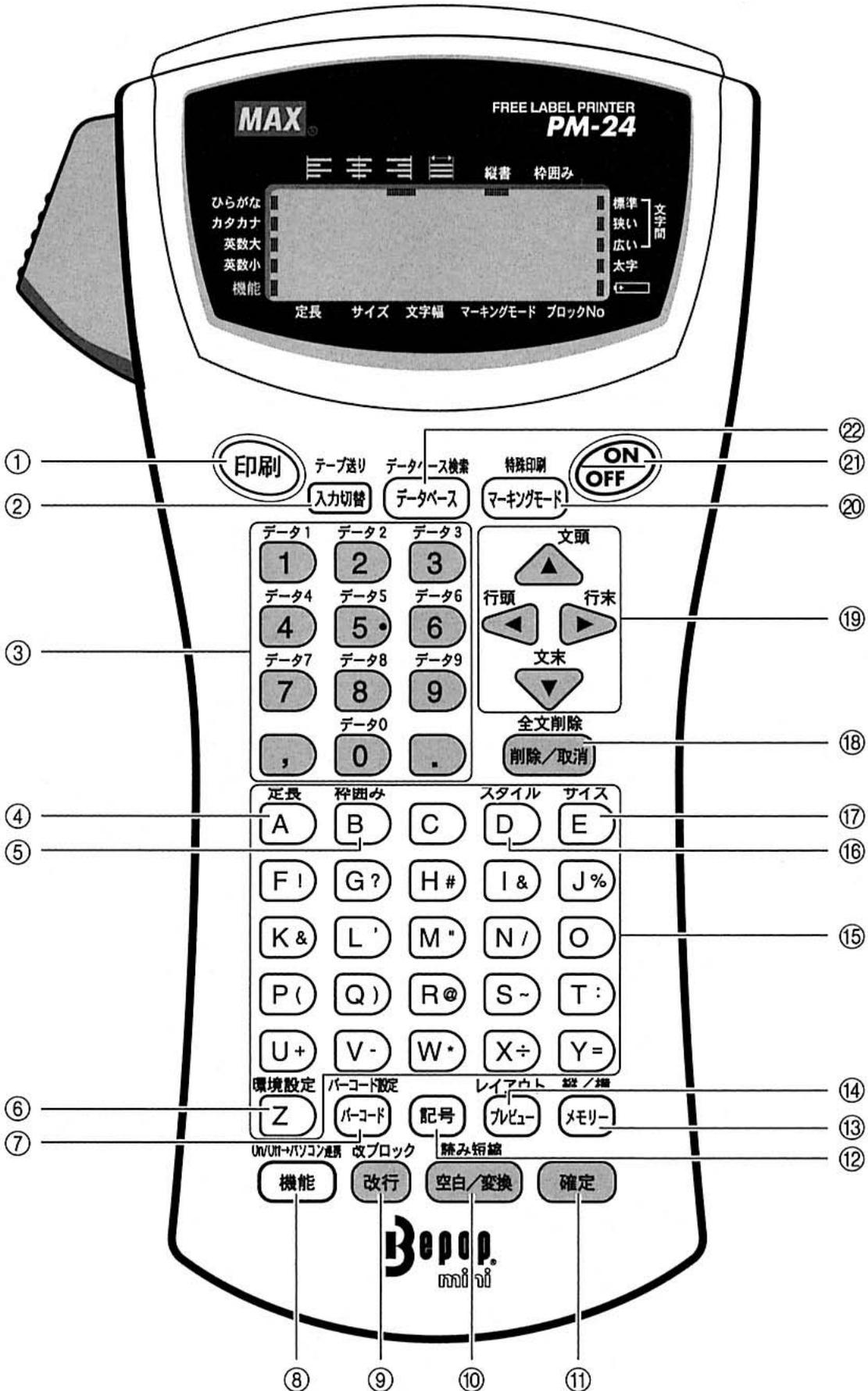
### お願い

- 出荷時には、傷防止のため液晶画面に透明保護シートが貼ってあります。ご使用前にはがしてください。

## 背面

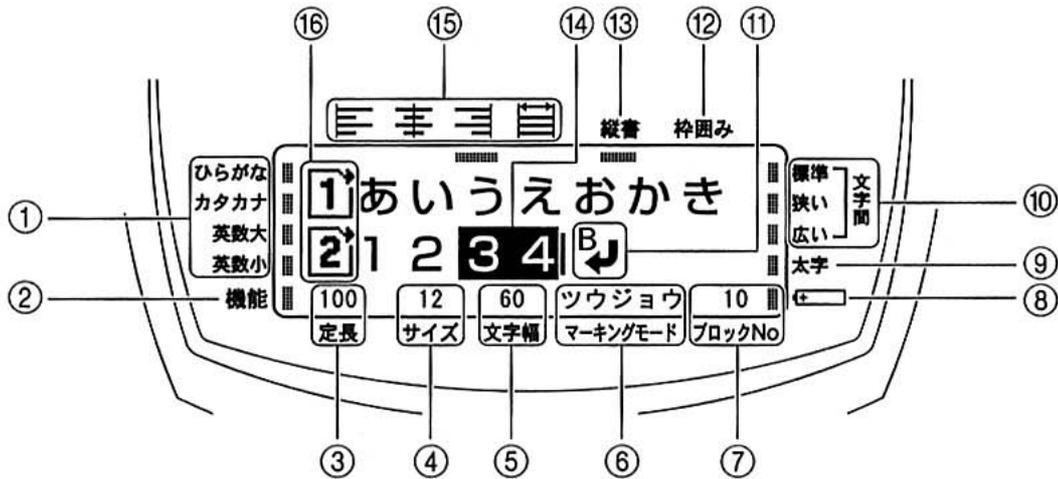


# キーボード



- ① **印刷** (印刷)  
入力したデータをラベルに印刷します。
- ② **入力切替** (入力切替、テープ送り)  
文字の入力モードをひらがな/カタカナ/英字に切り替えます。また、テープを空送りします。
- ③ **数字入力** (数字入力、データ番号)  
数字を入力します。また、パソコンで作成したデータを本機のデータ番号に呼び出したりします。
- ④ **定長** (定長)  
テープの長さとお余白を設定します。
- ⑤ **枠囲み** (枠囲み)  
文字を枠で囲みます。
- ⑥ **環境設定** (環境設定)  
テープの切り方や液晶画面のコントラストなどを設定します。
- ⑦ **バーコード** (バーコード、バーコード設定)  
バーコードを作成します。
- ⑧ **機能** (機能、ON/OFF→パソコン連携)  
キーの上にかかれた機能を使用するときには押します。また、パソコンのデータを本機に転送するモード(トランスファーモード)に切り替えます。
- ⑨ **改行** (改行、改ブロック)  
改行したり、改ブロックします。
- ⑩ **空白/変換** (空白/変換、読み短縮)  
ひらがなで入力した文字を漢字に変換したり、スペースを入力します。  
漢字変換中の漢字の読みの長さを短くして候補を表示します。  
また、機能設定を初期状態に戻します。
- ⑪ **確定** (確定)  
反転表示や点滅表示している文字を確定したり、表示されている項目を選択します。
- ⑫ **記号** (記号)  
記号や絵文字を呼び出します。
- ⑬ **メモリー** (メモリー、縦/横)  
本機で作成したデータの保存、呼び出し、削除します。  
印刷する文字の方向を切り替えます。
- ⑭ **レイアウト** (プレビュー、レイアウト)  
印刷結果を液晶画面に表示したり、文章の配置を設定します。
- ⑮ **文字入力** (文字入力)  
ひらがな/カタカナ/英字を入力します。  
ひらがな/カタカナは、ローマ字入力で入力します。
- ⑯ **スタイル** (スタイル)  
文字の太さや文字間を設定します。
- ⑰ **サイズ** (サイズ)  
文字の大きさや文字幅を設定します。
- ⑱ **削除/取消** (削除/取消、全文削除)  
カーソルの左側の文字を削除します。機能設定中は、前の画面に戻ります。  
入力した文字や設定を全て削除します。
- ⑲ **カーソル移動** (カーソル移動)  
カーソルを移動したり、漢字変換や機能設定の候補を表示します。
- ⑳ **マーキングモード** (マーキングモード、特殊印刷)  
ケーブル識別用ラベルを作成します。  
印刷枚数や鏡文字などを設定します。
- ㉑ **ON/OFF** (ON/OFF)  
電源のON/OFFをします。
- ㉒ **データベース** (データベース、データベース検索)  
本機に転送したデータを画面に表示したり、データを検索します。

## 液晶画面



### ① [文字入力モード] ガイダンス

設定した入力モードが点灯します。

### ② [機能] ガイダンス

ON/OFF (機能) を押したときに点灯します。

### ③ [定長] ガイダンス

テープの長さ、ブロックの長さを表示します。

### ④ [サイズ] ガイダンス

文字の大きさを表示します。

| 文字の大きさ | 画面表示 |
|--------|------|
| 自動     | —    |
| 12mm   | 12   |
| 8mm    | 8    |
| 6mm    | 6    |
| 4mm    | 4    |
| 3mm    | 3    |
| 2mm    | 2    |

### ⑤ [文字幅] ガイダンス

文字幅を表示します。

| 文字幅  | 画面表示 |
|------|------|
| 全角   | 100  |
| 2/3角 | 60   |
| 半角   | 50   |
| 倍角   | 200  |

### ⑥ [マーキングモード] ガイダンス

マーキングモードを表示します。

| ラベルタイプ  | 画面表示    |
|---------|---------|
| 通常      | ツウジョウ   |
| ケーブルA   | ケーブルA   |
| ケーブルB   | ケーブルB   |
| ピッチ/カット | ピッチ/カット |
| ピッチ/ライン | ピッチ/ライン |
| フラグ     | フラグ     |

### ⑦ [ブロック No] ガイダンス

カーソル位置のブロック番号を表示します。

### ⑧ バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなると点灯します。

### ⑨ [太字] ガイダンス

太字を設定しているときに点灯します。

### ⑩ [文字間] ガイダンス

設定した文字間が点灯します。

### ⑪ 改行ブロックマーク

改ブロックすると表示されます。

### ⑫ [枠囲み] ガイダンス

枠囲みを設定しているときに点灯します。

### ⑬ [縦書] ガイダンス

縦書きを設定しているときに点灯します。

### ⑭ 反転表示

入力中のひらがな文字などで、漢字などに変換できません。反転表示中の文字は印刷キーが無効になります。

### ⑮ [レイアウト] ガイダンス

設定した文章配置が点灯します。

### ⑯ 行頭マーク

行数を表示します。

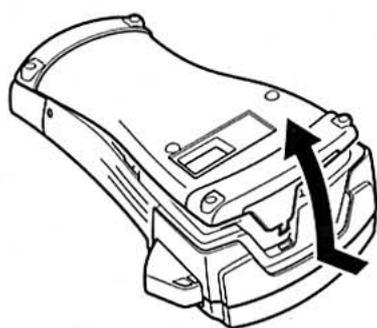
# 準備しましょう

乾電池やテープカセットをセットする手順を説明します。

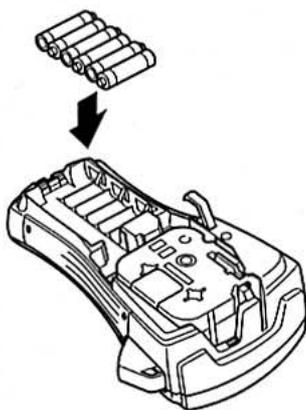
## 乾電池をセットする

単3アルカリ乾電池または市販の単3充電乾電池 (Ni-MH 相当) を6本用意してください。

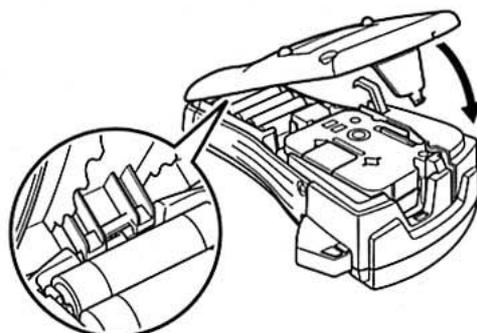
- 1 本機を裏返して、ケースカバーオープン指あて部に指をあててケースカバーを取り外します。



- 2 単3アルカリ乾電池、または単3充電乾電池 (Ni-MH相当) 6本をセットします。ケース内の刻印に従って、+/-の向きに注意してセットします。



- 3 ケースカバー下部のフックを本体のミゾに合わせて、ケースカバーを閉めます。



### お願い

- ケースカバーを取り付ける前にリリースレバーを押し下げると、ケースカバーが閉まりません。リリースレバーが飛び出した状態でケースカバーを閉めてください。
- 印刷中や操作中に突然電源が切れた場合は、電池が消耗しています。ただちにすべての乾電池を新品と交換してください。
- 乾電池を抜いて5分以上放置すると、入力したデータやメモリーが消えてしまいます。乾電池の交換は、5分以内に手早く行ってください。
- 常温の環境で使用した場合、新品の単3アルカリ乾電池 (6本) で、24mm幅テープカセットが1本以上印刷できます。ただし、大きな文字を連続して印刷したり、温度の低いところで使用すると、乾電池が早く消耗します。
- 付属の乾電池は、工場出荷時より消耗が始まっていますので、所定の使用時間に満たないうちに寿命になる場合があります。
- 長期間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの乾電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

## テープをセットする

### ■ 使用できるテープの種類

本機で使用できるラベル用テープ(レタリテープ)の種類は、以下のとおりです。最高10mm/秒の速度で印字できます。

- ラミネートテープ各種(強粘着、蛍光色など)
- 感熱紙テープ

### お知らせ

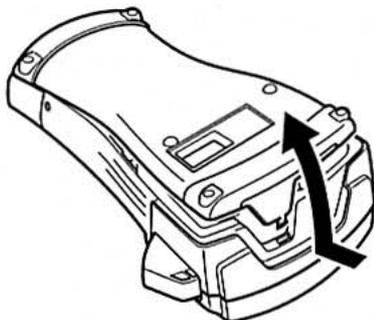
- テープの詳細は、付属のテープカタログなどを参照してください。

- 1 テープカセットのストッパーを取り外します。

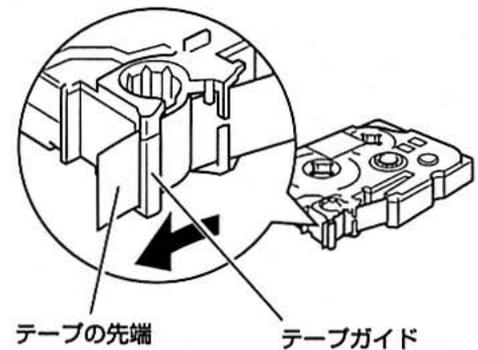


- ストッパーが付いていないテープカセットもあります。

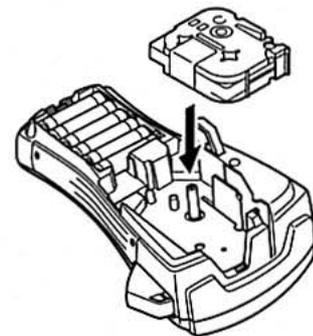
- 2 本機を裏返して、ケースカバーオープン指あて部に指をあててケースカバーを取り外します。



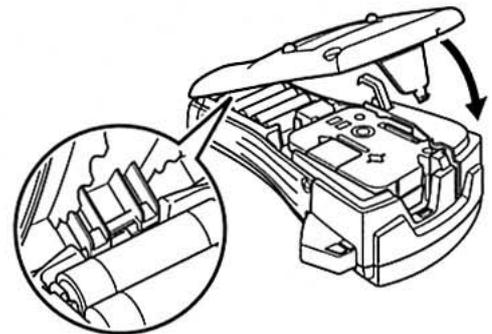
- 3 テープカセットを確認します。  
テープの先端が曲がっていないか、テープがテープガイドを通っているかを確認します。



- 4 テープカセットをセットします。  
テープカセットの方向を間違えないように注意してください。



- 5 ケースカバー下部のフックを本体のミゾに合わせて、ケースカバーを閉めます。



**お願い**

- テープカセットをセットしたら、必ずテープ送りを行ってください。「テープを送る」(→P.20)を参照してください。
- テープは、手で無理に引き出さないでください。インクリボンが飛び出すなど故障の原因になります。
- 引き出したテープを戻すことはできません。
- テープカセットは、直射日光・高温多湿・ほこりを避けて、冷暗所で保管してください。また開封後は、できるだけ早めにお使いください。

**電源を入れる**

- 1  (ON/OFF) を押します。

→ 電源が入ります。

再度、 (ON/OFF) を押すと電源が切れます。

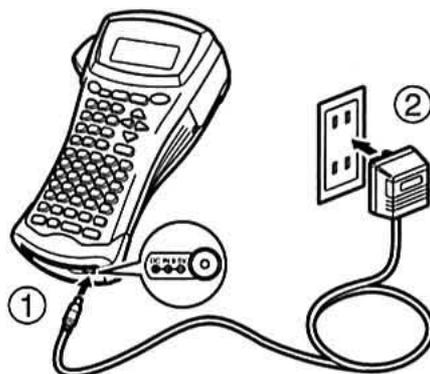
**お知らせ**

- 電源が入ったまま5分以上操作しなかった場合は、電池の消耗を防ぐために自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。再度、電源を入れるとオートパワーオフ前の状態に戻ります。

**ACアダプタを接続する**

別売のACアダプタ(PM-AD24)で本機を使用することもできます。必ず専用のACアダプタを使用してください。

- 1 本機の電源を切り、ACアダプタのプラグを本機のACアダプタ差し込み口に差し込みます。



- 2 ACアダプタのプラグを家庭用電源コンセント(AC100V)に差し込みます。

## お願い

- 本機の電源を切ってから、ACアダプタの抜き差しを行ってください。
- 本機専用ACアダプタ以外のACアダプタは使用しないでください。故障や破損の原因となります。  
本機専用でないACアダプタを使用したことにより発生した本機やACアダプタの故障や破損は保証できません。
- 本機専用ACアダプタは家庭用電源コンセント(AC100V)以外には、差し込まないでください。故障や破損の原因となります。誤ったACアダプタの使い方により発生した本機やACアダプタの故障や破損は保証できません。
- 入力した文章やメモリーなどのデータを保存しておくため、ACアダプタを使用するときも乾電池をセットしておいてください。
- 使用しないときは、ACアダプタを本機およびコンセントから抜いて保管してください。
- ACアダプタのコードを強く引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。断線することがあります。

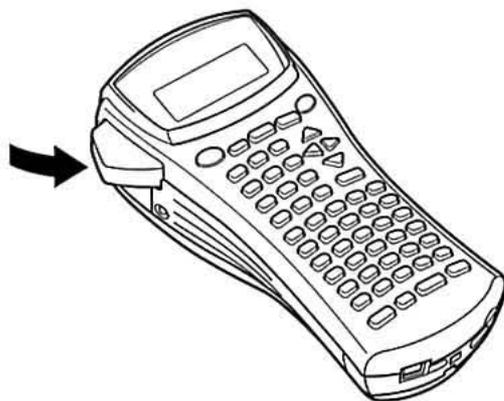
## テープを送る

テープを23mm程度空送りします。テープカセットをセットしたときは、テープのたるみを取るため、必ずテープ送りをしてください。

- 1  (機能) を押してから、 (テープ送り) を押します。

→ 画面に「テープ送り中です」と表示され、23mm程度テープが送られます。

- 2 メッセージが消えて、テープが完全に止まったことを確認したら、テープカッターレバーを押します。



→ テープがカットされます。

## お願い

- テープ送り中は、絶対にテープカッターレバーに触らないでください。テープカッターレバーに触ると、テープ詰まり防止のため、メッセージが表示され、テープ送りが停止します。
- テープ送りが停止したときは、いずれかのキーを押して、エラーメッセージを消します。エラーメッセージが消えたらテープカセットを取り外し、テープ先端をハサミなどで切ります。再度テープカセットを本機にセットし、テープ送りをしてください。

## 2 ラベルを作成する

ここでは、本機でラベルをデザインして印刷するまでの手順を説明します。

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 作成できるラベルの種類 .....        | 22 |
| 文字を入力する .....            | 23 |
| 文字を修正する .....            | 28 |
| 書式を設定する .....            | 30 |
| 印刷する .....               | 37 |
| マーキングラベルを設定する .....      | 43 |
| バーコードを作成する .....         | 49 |
| データを保存する .....           | 53 |
| 設定を変更する .....            | 55 |
| テンプレートデータでラベルを作成する ..... | 60 |
| マーキングラベルを作成しましょう .....   | 61 |

# 作成できるラベルの種類

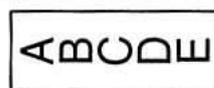
本機は、2種類の通常ラベルと5種類のマーキングラベルが作成できます。

## ■ 通常ラベル

- 通常  
横書きのラベルを作成します。



- 縦書き  
縦書きのラベルを作成します。  
(→ P.35)



## ■ ケーブル用マーキングラベル

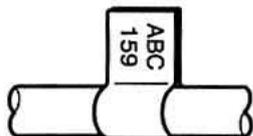
- ケーブルA  
ケーブルを識別するためのラベルです。  
(→ P.43)



- ケーブルB  
ケーブルを識別するためのラベルで、  
文字が繰り返し印刷されます。  
(→ P.44)

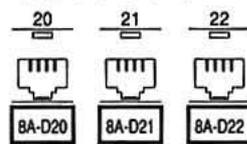


- フラグ  
ケーブルを識別するためのラベルで、  
両端を貼り合わせて旗状にして使用し  
ます。(→ P.48)

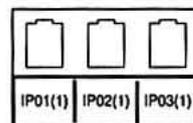


## ■ パネル用マーキングラベル

- ピッチ/カット (ポート)  
ポート番号などを識別するラベルを  
個々に印刷します。(→ P.45)



- ピッチ/ライン (パネル)  
ポート番号などを1枚のラベルに連続  
して印刷します。(→ P.46)



# 文字を入力する

ラベルに印刷する文字を入力します。以下の文字が入力できます。

## ■ キーボードの文字

キーボードから、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号が入力できます。ひらがな／カタカナはローマ字入力で入力します。

## ■ その他の文字

記号や絵文字が入力できます。

## ひらがなを入力する

ひらがなは、ローマ字入力で入力します。

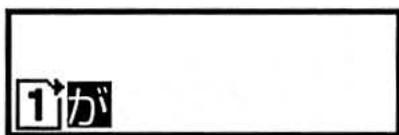
例：「がっこう」と入力する場合

- 1  (入力切替) を押して、ひらがなを選択します。

→ 文字入力モードがひらがなになり、「文字入力モード」ガイドスのひらがなが点灯します。

- 2  (G)、 (A) を押します。

→ 入力画面に「が」が反転表示されます。



- 3  (X)、 (T)、 (U) を押します。

→ 入力画面に「っ」が反転表示されます。



- 4  (K)、 (O) を押します。

→ 入力画面に「こ」が反転表示されます。



- 5  (U) を押します。

→ 入力画面に「う」が反転表示されます。



- 6 文字をすべて入力したら、 (確定) を押します。

→ 入力画面の文字が通常表示になります。



## カタカナを入力する

- 1  (入力切替) を押して、カタカナを選択します。

→ 文字入力モードがカタカナになり、「文字入力モード」ガイドンスのカタカナが点灯します。

- 2 ひらがなと同様に入力します。  
「ひらがなを入力する」(→P.23) を参照してください。

## 漢字を入力する

漢字の読みをひらがなで入力して変換します。

例：「赤い靴」と入力する場合

- 1  (入力切替) を押して、ひらがなを選択します。

- 2 「あかいくつ」と入力します。



- 3  (空白/変換) を押します。

→ 「あかい」の文字が点滅表示になり、漢字の候補が入力画面上段に表示されます。



- 4  (空白/変換) または    
  (移動キー) を押して、漢字の候補を切り替え、「赤い」を表示します。

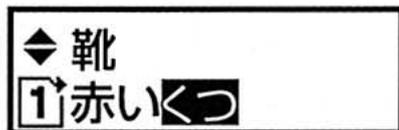


- 5  (確定) を押します。

→ 「赤い」が確定し、入力画面の文字が通常表示になります。



- ⑥ 読み短縮  
空白/変換 (空白/変換) を押します。  
→ 「くつ」の文字が点滅表示になり、漢字の候補が入力画面上段に表示されます。



- ⑦ 同様に漢字の候補を切り替え、確定 (確定) を押します。  
→ 「靴」が確定し、入力画面の文字が通常表示されます。



### ■ 読みの区切りを変更する場合

入力したひらがながから文節を判断して変換されるため、正しく変換されないことがあります。その場合は、読み短縮  
空白/変換 (読み短縮) を押して、文節の長さを変更します。

例：「伊東春美」と入力する場合

- ① キー割り  
入力切替 (入力切替) を押して、ひらがなを選択します。

- ② 「いとうはるみ」と入力します。



- ③ 読み短縮  
空白/変換 (空白/変換) を押します。  
→ 「いとうは」の文字が点滅表示になり、漢字の候補が入力画面上段に表示されます。



- ④ 機能 (機能) を押してから、読み短縮  
空白/変換 (空白/変換) を押します。  
→ 「いとう」の文字が点滅表示になり、漢字の候補が入力画面上段に表示されます。



- ⑤ 読み短縮  
空白/変換 (空白/変換) または 文節  
文節 (移動キー) を押して、漢字の候補を切り替え、「伊東」を表示します。



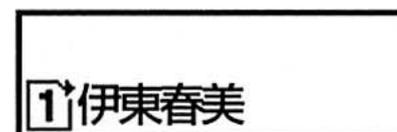
- ⑥ 確定 (確定) を押します。  
→ 「伊東」が確定し、入力画面の文字が通常表示になります。



- ⑦ 読み短縮  
空白/変換 (空白/変換) を押します。  
→ 「はるみ」の文字が点滅状態になり、漢字の候補が入力画面上段に表示されます。



- ⑧ 同様に漢字の候補を切り替え、確定 (確定) を押します。  
→ 「伊東春美」が確定し、入力画面の文字が通常表示されます。



## 英文字を入力する

英文字は、大文字と小文字が入力できます。

- 1  (入力切替) を押して、英数大または英数小を選択します。

→ 文字入力モードが英字大または英字小になり、「文字入力モード」ガイダンスの選択したモードが点灯します。

- 2 文字入力キーを押して文字入力します。

→ 入力画面に入力した文字が表示されます。

### お知らせ

- 英数大と英数小は同時に入力できません。 (入力切替) を押してモードを切り替えて入力してください。
- 英文字を入力したときは、反転表示にはなりません。

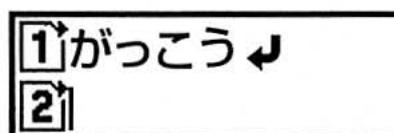
## 改行する

- 1 改行する位置にカーソルを移動します。



- 2  (改行) を押します。

→ カーソルの右側以降が改行され、複数行のラベルが作成できます。



### お知らせ

- テープの幅によって、印刷できる行数が異なります。以下の表を参考にしてください。

| テープ幅 | 最大行数 |
|------|------|
| 6mm  | 2行   |
| 9mm  | 2行   |
| 12mm | 3行   |
| 18mm | 4行   |
| 24mm | 4行   |

## 記号を入力する

記号や絵文字などを入力します。

### ■ キーボードの記号を入力する

キーの右に印字された黄色の文字を入力します。

- ①  (機能) を押してから、文字入力キーを押します。

→ キーの右に印字された黄色の文字が入力画面に表示されます。

### ■ キーボードにない記号を入力する

- ①  (記号) を押します。

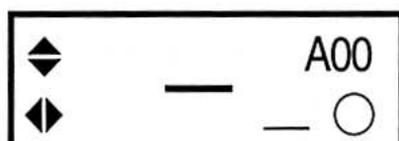
→ 記号のカテゴリを選択する画面が表示されます。

- ②  (上) /  (下) を押して、記号のカテゴリを選択します。

● 「記号一覧」(→P.114)の番号を直接入力しても、入力画面に選択した番号の記号が表示されます。

- ③  (左) /  (右) を押して、記号を表示します。

→ 入力画面に選択した記号が拡大表示されます。



● 続けて記号を入力するときは、 (機能) を押してから、 (確定) を押します。

- ④  (確定) を押します。

→ 入力画面に記号が表示されます。

### お知らせ

- 本機に登録されている記号については、「記号一覧」(→P.114)を参照してください。

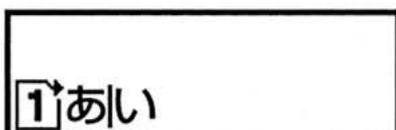
# 文字を修正する

文字を挿入したり削除をします。

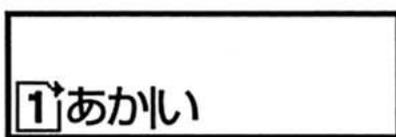
## 文字を挿入する

例：「あい」 → 「あかい」 に変更する場合

- 1  (左) /  (右) を押して、文字を挿入する位置にカーソルを移動します。



- 2 「か」を入力すると、カーソルの左側に文字が挿入されます。



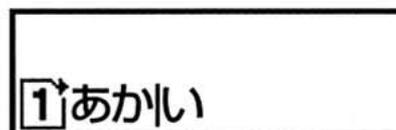
## 文字を削除する

文字の削除には、1文字のみ削除する方法とすべての文字を削除する方法があります。

### ■ 文字を削除する

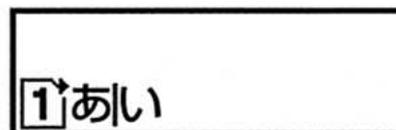
例：「あかい」 → 「あい」 に変更する場合

- 1 削除したい文字の右側にカーソルを移動します。



- 2  (削除) を押します。

→ カーソルの左側の文字が削除されます。



## ■ すべての文字を削除する

- ①  (機能) を押してから、 (削除) を押します。

→ 「削除しますか？」と画面にメッセージが表示されます。

削除しますか？  
◆入力文字のみ

- ②  (上) /  (下) を押して、「入力文字のみ」または「入力文字と書式」を表示し、 (確定) を押します。

→ すべての文字が削除されます。

削除しますか？  
◆入力文字と書式

### お知らせ

- 「入力文字と書式」を選択したときは、縦書、定長、枠囲み、スタイル、サイズ、レイアウト設定も削除され、初期設定に戻ります。

# 書式を設定する

文字の書式を設定します。

## お知らせ

- レイアウト、定長、枠囲み、余白の設定はマーキングモードが「通常」時のみに有効となります。

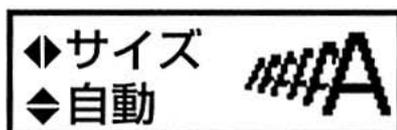
## 文字の大きさを設定する

文字の大きさを変更します。  
文字の大きさは行ごとで設定できます。

- 1** (機能) を押してから、 (サイズ) を押します。

→ 画面にサイズ設定メニューが表示されます。

- 2** (左) / (右) を押して「サイズ」を表示します。



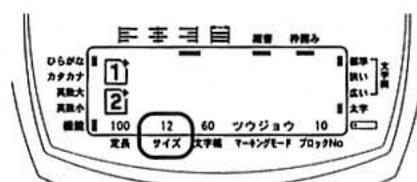
- 3** (上) / (下) を押して設定する文字の大きさを表示します。



- 自動 (初期設定)  
テープの幅に合わせて文字の大きさを変更します。
- 12mm / 8mm / 6mm / 4mm / 3mm / 2mm  
設定した文字の大きさを印刷されます。テープの幅に合わせて文字の大きさは変更されません。
- (空白) を押すと「自動」に戻ります。

- 4** (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「サイズ」ガイダンスに設定した値が表示されます。



## お知らせ

- 「サイズ」ガイダンスはカーソル行の文字の大きさを表示します。
- 文字の大きさを設定しても、入力画面の文字の大きさは変わりません。
- テープの幅によって設定できる文字の大きさは異なります。以下の表を参考にして、文字の大きさを設定してください。

| テープ幅 | 最大文字サイズ       |
|------|---------------|
| 6mm  | 4mm (13ポイント)  |
| 9mm  | 6mm (19ポイント)  |
| 12mm | 8mm (26ポイント)  |
| 18mm | 12mm (38ポイント) |
| 24mm | 12mm (38ポイント) |

- 「自動」を設定した場合は、テープの幅によって印刷可能な文字サイズに自動的に変更されます。
- 実際に印刷した文字は、設定した文字の大きさより小さくなる場合があります。また、英数字は設定した大きさの約80%の大きさになります。
- 文字の太さや枠を設定した場合、文字サイズは通常より小さくなります。
- 小さいサイズにすると、かすれたり、文字がつぶれたりすることがあります。

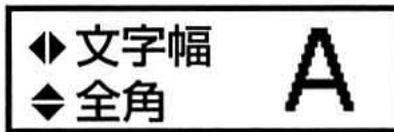
## 文字の幅を設定する

文字の幅を変更します。  
文字幅は行ごとで設定できます。

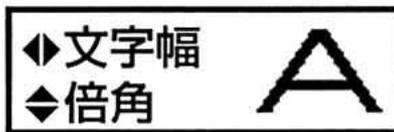
- 1 (機能) を押してから、 (サイズ) を押します。

→ 画面にサイズ設定メニューが表示されます。

- 2 (左) / (右) を押して「文字幅」を表示します。



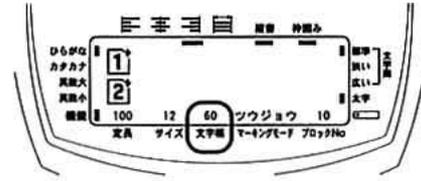
- 3 (上) / (下) を押して設定する文字の幅を表示します。



- 全角 (初期設定)  
通常の幅です。
- 2/3 角  
全角の 2/3 の幅です。
- 半角  
全角の半分の幅です。
- 倍角  
全角の 2 倍の幅です。
- (空白) を押すと「全角」に戻ります。

- 4 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「文字幅」ガイダンスに設定した値が表示されます。



### お知らせ

- 「文字幅」ガイダンスはカーソル行の文字幅を表示します。
- 文字の幅を設定しても、入力画面の文字の幅は変わりません。
- 自動縮小設定で「文字幅優先」に設定した場合は、テープ幅によって印刷可能な幅に自動的に変更されます。
- 文字の太さや枠を設定した場合は、文字サイズは通常より小さくなります。

ラベルを作成する

書式を設定する

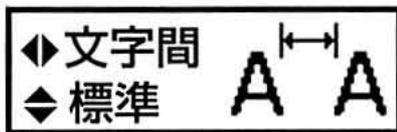
## 文字の間隔を設定する

文字の間隔を変更します。  
文字の間隔は行ごとで設定できます。

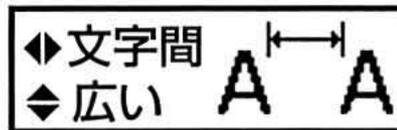
- 1 (機能) を押してから、 (スタイル) を押します。

→ 画面にスタイル設定メニューが表示されます。

- 2 (左) / (右) を押して「文字間」を表示します。



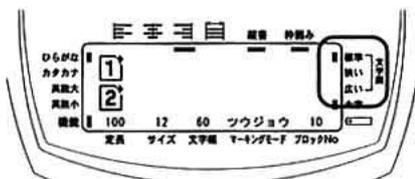
- 3 (上) / (下) を押して設定する文字の間隔を表示します。



- 標準 (初期設定)  
通常の間隔です。
- 狭い  
標準より狭い間隔です。
- 広い  
標準より広い間隔です。
- (空白) を押すと「標準」に戻ります。

- 4 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「文字間」ガイダンスに設定した文字間が点灯します。



### お知らせ

- 文字の間隔を設定しても入力画面の文字の間隔は変わりません。

## 太字を設定する

文字を太字にします。  
太字は行ごとで設定できます。

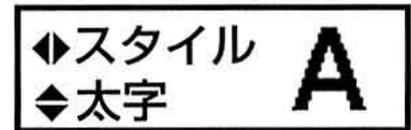
- 1 (機能) を押してから、 (スタイル) を押します。

→ 画面にスタイル設定メニューが表示されます。

- 2 (左) / (右) を押して「スタイル」を表示します。



- 3 (上) / (下) を押して太字を表示します。



- (空白) を押すと「標準」に戻ります。

- 4 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「太字」ガイダンスが点灯します。



### お知らせ

- 太字を設定しても、入力画面の文字は太字に変わりません。

## 文字の配置を設定する

文字列の配置を変更します。  
すべての行に対して設定されます。

- 1  (機能) を押してから、 (レイアウト) を押します。

→ 画面にレイアウト設定メニューが表示されます。

- 2  (上) /  (下) を押して設定する文字配置を表示します。



- 左揃え (初期設定)  
文字配置を左揃えにします。



- 中央揃え  
文字配置を中央揃えにします。



- 右揃え  
文字配置を右揃えにします。



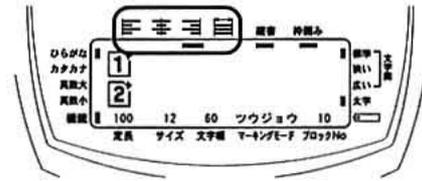
- 均等割付  
ブロック内で文字配置を均等にします。



-  (空白) を押すと「左揃え」に戻ります。

- 3  (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「レイアウト」ガイドランスに設定した文字配置が点灯します。



### お知らせ

- 文字の配置を設定しても、入力画面の文字の配置は変わりません。
- 入力文字を「縦書」に設定した場合は、ラベルの長さを基準にして、文字が配置されます。
- マーキングモードを「通常」以外に設定した場合は、レイアウトの設定ができません。レイアウトは「中央揃え」になります。

ラベルを作成する

書式を設定する

## 文字を枠で囲む

文字列に枠囲みを設定します。  
すべての行に対して設定されます。

- ① **機能** (機能) を押してから、**B** (枠囲み) を押します。

→ 画面にフレーム設定メニューが表示されます。

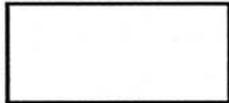
- ② **文上** (上) / **文下** (下) を押して設定する枠囲みを表示します。

枠は6種類の中から選択します。

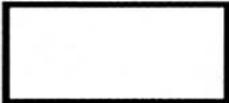
枠囲み  
◆なし

- なし (初期設定)  
枠がない状態です。

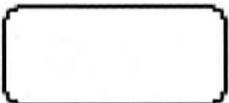
- 1 (角枠細線)



- 2 (角枠太線)



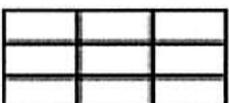
- 3 (丸枠細線)



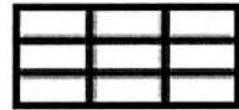
- 4 (丸枠太線)



- 5 (表羅線細線)

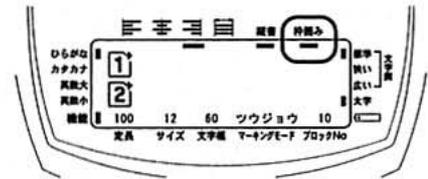


- 6 (表羅線太線)



- ③ **確定** (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「枠囲み」ガイドンスが点灯します。



- **空白/戻換** (空白) を押すと「なし」に戻ります。

### お知らせ

- 枠を設定しても、画面に枠は表示されません。
- 文字サイズが「自動」時は、枠を設定すると通常より文字サイズが小さくなる場合があります。

## 縦書きにする

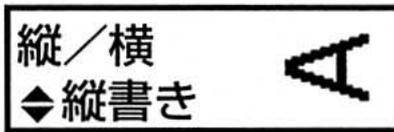
文字列を縦書きで印刷します。  
すべての行に対して設定されます。



- 1 On/Off/Print/2/3 (機能) を押してから、メモリー (縦／横) を押します。

→ 画面に縦／横設定メニューが表示されます。

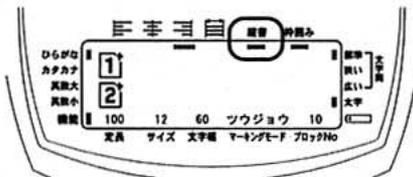
- 2 文順 (上) / 文順 (下) を押して「縦書き」を表示します。



- 最小短冊 (空白/交換) を押すと「横書き」に戻ります。

- 3 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「縦書」ガイダンスが点灯します。

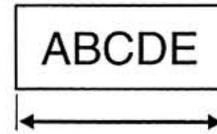


### お知らせ

- 縦書きを設定しても、画面の文字の向きは変わりません。

## ラベルの長さを設定する

ラベルの長さを設定します。  
すべての行に対して設定されます。



- 1 On/Off/Print/2/3 (機能) を押してから、定長 (定長) を押します。

→ 画面に定長設定メニューが表示されます。

- 2 行順 (左) / 行順 (右) を押して「定長」を表示します。



- 3 文順 (上) / 文順 (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる長さは、自動、20～999mm (1mm 間隔) です。



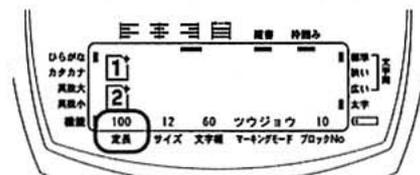
- 最小短冊 (空白/交換) を押すと「自動」に戻ります。

- 設定範囲外の数値を入力して (確定) (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- 文字サイズに合わせてラベルの長さを設定する場合は、「自動」を選択します。

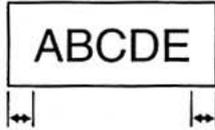
- 4 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「定長」ガイダンスに設定した値が表示されます。



## ラベルの余白を設定する

ラベルの両端の余白を設定します。



- 1 0/0F-V/2/2 (機能) を押してから、定長 (A) (定長) を押します。

→ 画面に定長設定メニューが表示されます。

- 2 行戻 (左) / 行末 (右) を押して「余白」を表示します。



- 3 文頭 (上) / 文末 (下) または数字入力キーを押して、数値を入力します。

設定できる数値は、2～99mm (1mm間隔) です。



- 空白/戻換 (空白) を押すと「2mm」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し、確定 (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- 4 確定 (確定) を押します。

→ 入力画面に戻ります。

## ブロックを追加する

文字列のブロックを追加します。

ブロックを追加すると、行数が異なるブロックを1枚のラベルに印刷したり、各ブロックごとに印刷などを行うことができます。



- 1 ブロックを追加する位置にカーソルを移動します。



- 2 0/0F-V/2/2 (機能) を押してから 改行 (改行) を押します。

→ 改ブロックマークが挿入され、新しいブロックが追加されます。



### お知らせ

- 1ブロックは4行まで入力できます。
- 各ブロックの合計行数が50行になるまで、ブロックを追加できます。
- ブロックを追加した場合は、前のブロックと最終行の書式を引き継ぎます。

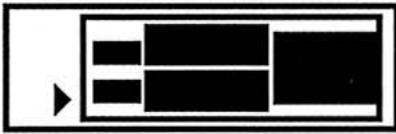
# 印刷する

作成したデータをラベルに印刷します。

## レイアウトを確認する

印刷したときのイメージを画面で確認することができます。

- 1 **レイアウト  
プレビュー** (プレビュー) を押します。  
→ 画面にプレビューが表示されます。



- **戻る** (左) / **進む** (右) を押すと、画面がスクロールします。

- 2 **全文削除  
削除/取消** (削除) を押します。  
→ 入力画面に戻ります。

### お願い

- テープカセットがセットされていないときは、プレビューは表示できません。
- 設定によって、プレビュー表示と印刷結果が異なる場合があります。

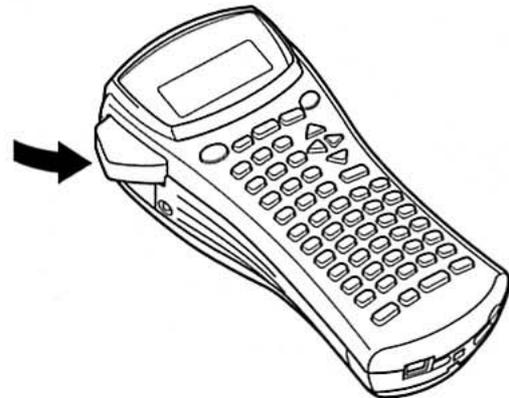
## 印刷する

ラベルを印刷します。

- 1 **印刷** (印刷) を押します。  
→ 「印刷中です」と画面に表示されます。



- 2 メッセージが消えてテープが完全に止まったことを確認したら、テープカッターレバーを押します。



→ テープがカットされます。

## お願い

- テープ送り中は、絶対にテープカッターレバーに触らないでください。テープカッターレバーに触ると、テープ詰まり防止のため、メッセージが表示され、テープ送りを停止します。
- テープ送りが停止したときは、いずれかのキーを押して、エラーメッセージを消します。エラーメッセージが消えたらテープカセットを取り外し、テープ先端をハサミなどで切ります。再度テープカセットを本機にセットし、テープ送りをしてください。
- 印刷中に電池が消耗して、突然電源が切れる場合があります。新品の乾電池に交換してください。
-  (印刷) を押したときに各種のエラーメッセージが表示されることがあります。「エラーメッセージ」(→ P.111) を参照して、原因を確認してください。
- 印刷中はテープ排出口をふさがないでください。テープ詰まりの原因となります。

## お知らせ

- 印刷中に  (ON/OFF) を押すと、印刷を中止し、テープを7mm空送りしたあと電源が切れます。
- 点滅表示や反転表示の文字は印刷されません。文字を確定(通常表示)してから印刷してください。

## ラベルを貼る

- 1 印刷したラベルをハサミなどでお好みの形や長さに切ります。
- 2 ラベルの裏紙をはがします。
- 3 目的のところに、ラベルを貼り付けます。  
上からしっかりと指で押さえます。

## お願い

- テープは、手で無理に引き出さないでください。インクリボンが飛び出すなど故障の原因となります。
- 濡れたり、汚れたり、凹凸のあるところなどはラベルが貼れなかったり、はがれやすくなったりします。
- 雨や日光に直接さらされる場所や屋外では、ラベルがはがれやすくなったり、変色することがあります。
- 人体や生き物にラベルを貼ったり、公共の場所や他人の持ち物に許可なくラベルを貼ることはやめてください。
- 油性あるいは水性ペンなどで書かれた上に直接テープを貼りつけると、インクが透けて見えることがあります。テープを2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のテープを使用してください。
- 強粘着テープなどの特殊テープを使用する場合は、テープに同梱されている取扱説明書を必ずお読みいただき、注意事項を十分ご確認の上、使用してください。
- 巻きつけタイプのテープをケーブルに巻きつけて貼り付ける場合は、ケーブルに2周以上巻き付くようにしてください。
- マーキングラベルの設定で、正しくケーブルの直径を設定すると、自動的に2周以上巻き付くように印刷されます。

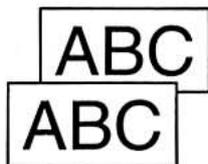
## 特殊印刷の設定をする

枚数や連番などの設定を行って、印刷することができます。

また、特殊印刷は、複数の機能を組み合わせて印刷することもできます。

### ■ 印刷枚数の設定

同じラベルを指定した枚数だけ印刷できます。



- ①  (機能) を押してから、 (特殊印刷) を押します。

本機にデータベースデータが保存されていない場合は③へ進みます。

→ 画面に特殊印刷設定メニューが表示されます。

- ②  (上) /  (下) を押して「テキスト」または「データベース」を表示し、 (確定) を押します。

特殊印刷  
◆テキスト

- 「データベース」を選択すると、編集中の文章は削除されます。
- 本機のデータベースにデータが保存されていない場合は、この画面は表示されません。

- ③  (左) /  (右) を押して、「枚数印刷」を表示します。

◆枚数印刷 ABC ABC  
◆ 1

- ④  (上) /  (下) または数字入力キーを押して、数値を入力します。

設定できる枚数は、1～99枚です。

◆枚数印刷 ABC ABC  
◆ 50

-  (空白/交換) を押すと「1」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- ⑤  (確定) を押します。

→ 特殊印刷画面が表示されます。

特殊印刷  
◆実行する

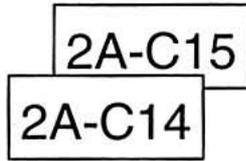
- 続けて他の特殊印刷を設定する場合は、 (上) /  (下) を押して「設定に戻る」を表示します。

- ⑥  (確定) を押します。

→ 印刷が開始されます。

## ■ 連番の設定

連番を設定すると、アルファベットまたは数字が連番になったラベルが印刷できます。



- ①  (機能) を押してから、 (特殊印刷) を押します。

本機にデータベースデータが保存されていない場合は③へ進みます。

→ 画面に特殊印刷設定メニューが表示されます。

- ②  (上) /  (下) を押して「テキスト」または「データベース」を表示し、 (確定) を押します。

**特殊印刷**  
◆テキスト

- 「データベース」を選択すると、編集中的数据は削除されます。
- 本機のデータベースにデータが保存されていない場合は、この画面は表示されません。

- ③  (左) /  (右) を押して「連番印刷」を表示します。

◆連番印刷  
◆なし

- ④  (上) /  (下) または数字入力キーを押して、連番にする枚数を入力します。

設定できる回数は、1～99回です。

◆連番印刷  
◆50

-  (空白) を押すと「なし」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- ⑤  (確定) を押します。  
→ 連番始点設定画面が表示されます。

- ⑥  (上) /  (下) /  (左) /  (右) (移動キー) を押して、連番にする文字の始点を選択し、 (確定) を押します。

始点?  
1 2A-C14

- ⑦  (左) /  (右) を押して、連番にする文字の終点を選択し、 (確定) を押します。

終点?  
1 2A-C14

→ 特殊印刷画面が表示されます。

**特殊印刷**  
◆実行する

- 続けて他の特殊印刷を設定する場合は、 (上) /  (下) を押して「設定に戻る」を表示します。

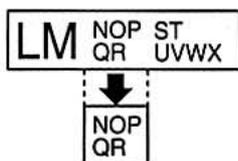
- ⑧  (確定) を押します  
→ 印刷が開始されます。

### お知らせ

- 連番を指定した場合、以下のように指定した範囲が変更されます。  
A → B → C → D → … → Z → A → …  
1 → 2 → 3 → 4 → … → 9 → 0 → …  
01 → 02 → 03 → … → 09 → 10 → 11 → …

## ■ ブロック印刷の設定

複数のブロックの中から特定のブロックだけ印刷します。



- ① 機能 (機能) を押してから、特殊印刷 (特殊印刷) を押します。

本機にデータベースデータが保存されていない場合は③へ進みます。

→ 画面に特殊印刷設定メニューが表示されます。

- ② 文種 (上) / 文種 (下) を押して、「テキスト」または「データベース」を表示し、確定 (確定) を押します。

**特殊印刷**  
◆テキスト

- 「データベース」を選択すると、編集中的数据は削除されます。
- 本機のデータベースにデータが保存されていない場合は、この画面は表示されません。

- ③ 行先 (左) / 行先 (右) を押して、「ブロック指定」を表示します。

◆ブロック指定  
◆ 1 - 2

- ④ 文種 (上) / 文種 (下) / 行先 (左) / 行先 (右) (移動キー) または数字入力キーを押して、印刷したいブロックの範囲を表示します。

◆ブロック指定  
◆ 1 - 30

- 空白/交換 (空白) を押すと「1-2」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し 確定 (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- ⑤ 確定 (確定) を押します。

→ 特殊印刷画面が表示されます。

**特殊印刷**  
◆実行する

- 続けて他の特殊印刷を設定する場合は、文種 (上) / 文種 (下) を押して「設定に戻る」を表示します。

- ⑥ 確定 (確定) を押します。

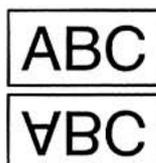
→ 印刷が開始されます。

### お知らせ

- テンプレートデータは、ブロック印刷できません。

## ■ 鏡文字の設定

内容を反転して印刷します。



- ①  (機能) を押してから、 (特殊印刷) を押します。

本機にデータベースデータが保存されていない場合は③へ進みます。

→ 画面に特殊印刷設定メニューが表示されます。

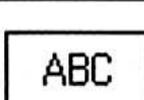
- ②  (上) /  (下) を押して「テキスト」または「データベース」を表示し、 (確定) を押します。

特殊印刷  
◆テキスト

- 「データベース」を選択すると、編集中的数据は削除されます。
- 本機のデータベースにデータが保存されていない場合は、この画面は表示されません。

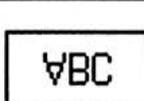
- ③  (左) /  (右) を押して「鏡文字」を表示します。

◀鏡文字  
◆なし



- ④  (上) /  (下) を押して、「あり」を表示します。

◀鏡文字  
◆あり



-  (空白) を押すと「なし」に戻ります。

- ⑤  (確定) を押します。

→ 特殊印刷画面が表示されます。

特殊印刷  
◆実行する

- 続けて他の特殊印刷を設定する場合は、 (上) /  (下) を押して「設定に戻る」を表示します。

- ⑥  (確定) を押します。

→ 印刷が開始されます。

# マーキングラベルを設定する

ケーブルやパネルなどの識別に便利なマーキングラベルを設定します。  
本機ではケーブルの識別用マーキングラベルが3種類、パネルやポートの識別に便利なマーキングラベルが2種類作成できます。

## お願い

- ケーブル、円筒物、曲線物などにラベルを貼るときは、巻きつけタイプのテープを使用してください。
- 巻きつけタイプテープを電気絶縁テープとして使用しないでください。
- マーキングモードを設定した場合は、変更できない設定項目があります。

## ケーブル用マーキングラベル (ケーブルA) を設定する

ケーブルに巻くラベルを作成します。

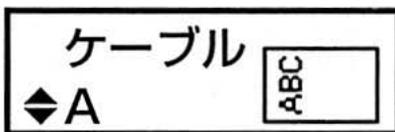


### 1 (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

### 2 (上) / (下) を押して「ケーブルA」を表示し、 (確定) を押します。

 (マーキングモード) を押すごとにマーキングモードが変更します。



→ 画面に直径設定メニューが表示されます。

### 3 (上) / (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる数値は、7～60mm (1mm間隔) です。



● ケーブルの直径を設定すると、自動的にケーブル外径2周分のラベル長に設定されます。

●  (空白) を押すと「7mm」に戻ります。

● 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

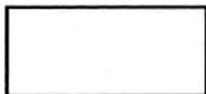
### 4 (左) / (右) を押して「枠囲み」を表示します。



- 5  (上) /  (下) を押して枠囲みを表示します。

枠は以下の4種類の中から選択します。

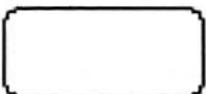
- なし (初期設定)  
枠がない状態です。
- 1 (角枠細線)



- 2 (角枠太線)



- 3 (丸枠細線)



- 4 (丸枠太線)



-  (空白) を押すと「なし」に戻ります。

- 6  (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイドランスに設定したモードが画面に表示されます。



- 7 文字を入力します。

### お願い

- ラベルは直径3mm以上のケーブルや円筒物に巻いてください。また、ラベルがケーブルに2周以上巻き付くようにしてください。
- 改ブロックをして、複数のブロックを入力すると、各ブロックを1枚ずつのラベルとして印刷することができます。

## ケーブル用マーキングラベル (ケーブルB) を設定する

文字が繰り返し印刷されたケーブルに巻くラベルを作成します。



- 1  (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

- 2  (上) /  (下) を押して「ケーブルB」を表示し、 (確定) を押します。



→ 画面に直径設定メニューが表示されます。

- 3  (上) /  (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる数値は、7~60mm (1mm間隔) です。



- ケーブルの直径を設定すると、自動的にケーブル外径2周分のラベル長に設定されます。
-  (空白) を押すと「7mm」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

- 4  (左) /  (右) を押して「枠囲み」を表示します。

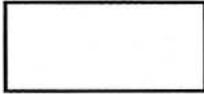


**5**  (上) /  (下) を押して枠囲みを表示します。

枠は以下の4種類の中から選択します。

なし (初期設定)  
枠がない状態です。

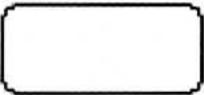
1 (角枠細線)



2 (角枠太線)



3 (丸枠細線)



4 (丸枠太線)



●  (空白) を押すと「なし」に戻ります。

**6**  (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイダンスに設定したモードが画面に表示されます。



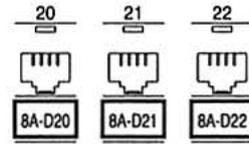
**7** 文字を入力します。

**お願い**

- ラベルは直径3mm以上のケーブルや円筒物に巻いてください。また、ラベルがケーブルに2周以上巻き付くようにしてください。
- 改ブロックをして、複数のブロックを入力すると、各ブロックを1枚ずつのラベルとして印刷することができます。

**ピッチ/カットラベルを設定する**

ポート番号などを識別するラベルを個別に印刷します。



**1**  (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

**2**  (上) /  (下) を押して、「ピッチ/カット」を表示し、 (確定) を押します。



→ 画面にピッチ長設定メニューが表示されます。

**3**  (上) /  (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる数値は、20~200mm (1mm 間隔) です。



●  (空白) を押すと「30mm」に戻ります。

● 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

**4**  (左) /  (右) を押して「枠囲み」を表示します。



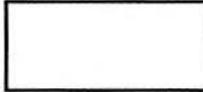
ラベルを作成する

マーキングラベルを設定する

5  (上) /  (下) を押して枠囲みを表示します。

枠は以下の4種類の中から選択します。

なし (初期設定)  
枠がない状態です。

1 (角枠細線)  


2 (角枠太線)  


3 (丸枠細線)  


4 (丸枠太線)  


●  (空白) を押すと「なし」に戻ります。

6  (確定) を押します。

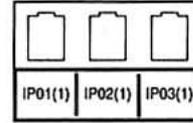
→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイドランスに設定したモードが画面に表示されます。



7 文字を入力します。

## ピッチ/ラインラベルを設定する

ポート番号などを1枚のラベルに連続して印刷します。各ブロックごとに仕切り線や枠囲みが設定できます。



1  (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

2  (上) /  (下) を押して「ピッチ/ライン」を表示し、 (確定) を押します。



→ ピッチ長設定メニューが画面に表示されます。

3  (上) /  (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

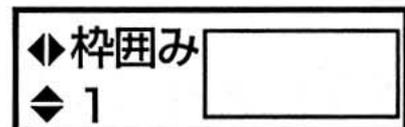
設定できる数値は、6～200mm (1mm 間隔) です。



●  (空白) を押すと「15mm」に戻ります。

● 設定できる範囲外の数値を入力し  (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

4  (左) /  (右) を押して「枠囲み」を表示します。



- 5  (上) /  (下) を押して枠囲みを表示します。

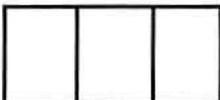
枠は以下の9種類の中から選択します。

- なし (初期設定)  
枠がない状態です。

- 1 (仕切り線点線)  


- 2 (仕切り線細線)  


- 3 (仕切り線太線)  


- 4 (表罫線細線行線なし)  


- 5 (表罫線太線行線なし)  


- 6 (ブロック角枠細線)  


- 7 (ブロック角枠太線)  


- 8 (ブロック丸枠細線)  


- 9 (ブロック丸枠太線)  


-  (空白) を押すと「なし」に戻ります。

- 6  (左) /  (右) を押して、「印刷順」を表示します。

- 7  (上) /  (下) を押して、「正順」または「逆順」を表示します。

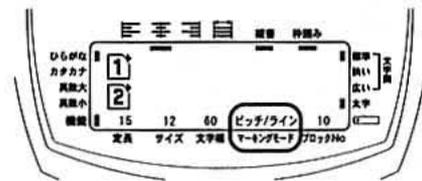
「正順」は、先頭のブロックから印刷を開始します。「逆順」は、最終ブロックから印刷を開始します。



-  (空白) を押すと「正順」に戻ります。

- 8  (確定) を押します。

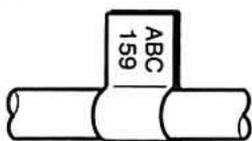
→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイドランスに設定したモードが画面に表示されます。



- 9 文字を入力します。

## フラグラベルを設定する

両端を貼り合わせてケーブルに旗状にして巻くラベルを印刷します。



1 **マーク** (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

2 **文** (上) / **文** (下) を押して「フラグ」を表示し、**確定** (確定) を押します。



→ 画面に直径設定メニューが表示されます。

3 **文** (上) / **文** (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる数値は、0～100mm (1mm 間隔) です。



- **空白/交換** (空白) を押すと「7mm」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し **確定** (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

4 **行** (左) / **行** (右) を押して「フラグ長」を表示します。



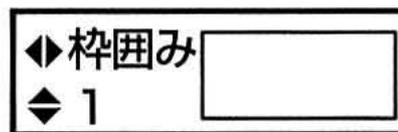
5 **文** (上) / **文** (下) または数字入力キーを押して数値を入力します。

設定できる数値は、10～200mm (1mm 間隔) です。



- **空白/交換** (空白) を押すと「30mm」に戻ります。
- 設定できる範囲外の数値を入力し **確定** (確定) を押した場合は、メッセージが表示され、範囲内で一番近い数値に変更されます。

6 **行** (左) / **行** (右) を押して「枠囲み」を表示します。



7 **文** (上) / **文** (下) を押して枠囲みを表示します。

枠は以下の4種類の中から選択します。

なし (初期設定)  
枠がない状態です。

1 (角枠細線)

2 (角枠太線)

3 (丸枠細線)

4 (丸枠太線)

- **空白/交換** (空白) を押すと「なし」に戻ります。

8 **確定** (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイドランスに設定したモードが画面に表示されます。



9 文字を入力します。

### お願い

- フラグモードで作成したラベルを巻くときは、フラグ長が5mm以上になるように巻いてください。

# バーコードを作成する

商品管理やレジスターなどに利用できるバーコードラベルを簡単に作成することができます。本機にバーコードの規格が7種類登録されており、用途に応じたバーコードを作成することができます。また、チェックデジットや下部文字などの設定ができます。本機は以下のバーコードが作成できます。

| 規格      | 桁数   | 文字                                   | チェックデジット算出方法 |
|---------|------|--------------------------------------|--------------|
| CODE39  | 4~22 | 数字0~9                                | モジュラス43      |
|         |      | アルファベット大文字                           |              |
|         |      | 記号 ( - , . , スペース , \$ , / , + , % ) |              |
| I-2/5   | 4~22 | 数字0~9                                | モジュラス10      |
| JAN13   | 13   | 数字0~9                                |              |
| JAN8    | 8    | 数字0~9                                |              |
| UPC-A   | 12   | 数字0~9                                |              |
| UPC-E   | 6    | 数字0~9                                |              |
| CODABAR | 4~22 | 数字0~9                                | モジュラス16      |
|         |      | 記号 ( - , \$ , : , / , . , + )        |              |
|         |      | スタート/ストップコード ( A , B , C , D )       |              |

## バーコードを設定する

初めにバーコードの規格やチェックデジットなどを設定します。

**1** (機能) を押してから、 (バーコード) を押します。

→ 画面にバーコード設定メニューが表示されます。

**2** (上) / (下) を押してバーコードの規格を表示します。



規格  
バーコードの規格を設定します。「CODE39」「I-2/5」「JAN13」「JAN8」「UPC-A」「UPC-E」「CODABAR」から選択できます。

**3** (左) / (右) を押して設定する項目を表示します。

幅  
バーコードの幅を設定します。「大」「中」「小」から選択します。

下部文字  
入力した文字をバーコードの下部に印刷します。「あり」「なし」から選択します。

● 文字サイズが「4mm」より小さい場合は、「あり」に設定されていても下部文字は印刷されません。

チェック文字  
入力データから自動的にチェックデジットを計算して、右端に追加印刷します。「あり」「なし」から選択します。

● 「JAN13」「JAN8」「UPC-A」「UPC-E」のチェック文字設定は、常に「あり」に設定されているため、画面上には表示されません。

**4** 設定する項目で (上) / (下) を押して詳細を表示し、 (確定) を押します。

→ バーコードの設定が終了し、入力画面に戻ります。

● (空白) を押すと初期設定に戻ります。

## バーコードを入力する

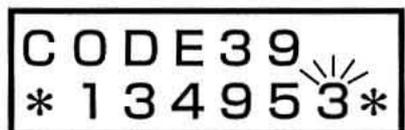
バーコードの値を入力します。

- 1 バーコードの規格を設定します。  
「バーコードを設定する」(→P.49)を参照してください。

- 2  (バーコード) を押します。  
→ バーコードの入力画面が表示されます。



- 3 文字を入力します。  
→ チェック文字設定が「あり」のときは、最後の桁にチェックデジットが自動的に点滅表示されます。



- 固定行数の「JAN13」などは、12桁目を入力すると、計算されたチェックデジットが13桁目に点滅表示されます。
- バーコードの規格で「CODE39」「CODABAR」を設定している場合は、 (記号) を押して記号を入力することができます。

以下の表を参考に入力してください。

### □ CODE39

| 番号 | 記号     |
|----|--------|
| 1  | -      |
| 2  | .      |
| 3  | (スペース) |
| 4  | \$     |
| 5  | /      |
| 6  | +      |
| 7  | %      |

### □ CODABAR

| 番号 | 記号 |
|----|----|
| 1  | -  |
| 2  | \$ |
| 3  | :  |
| 4  | /  |
| 5  | .  |
| 6  | +  |

- 4  (確定) を押します。  
→ 画面にバーコードマークが表示されます。



- 5 続けてバーコードを入力するときは、バーコードマークを挿入する位置にカーソルを移動し、①の操作をします。

### ■ バーコードを修正するとき 入力したバーコードの値を修正します。

- ① 修正するバーコードマークの中心にカーソルを移動します。



- ②  (バーコード) を押します。  
→ 入力したコードが画面に表示されます。



- ③ カーソルを移動して、バーコードの値を修正します。

## ■ バーコードを削除するとき

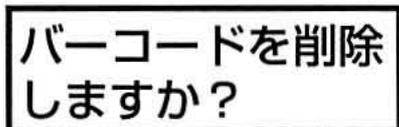
作成したバーコードを削除します。

- ① 削除するバーコードマークの中心または右側にカーソルを移動します。



- ② 全文削除  
削除/取消 (削除) を押します。

→ 確認の画面が表示されます。



- 削除を取り消す場合は、全文削除  
削除/取消 (削除) を押します。

- ③ 確定 (確定) を押します。

→ バーコードが削除され、入力画面に戻ります。

## 印刷する

作成したバーコードをラベルに印刷します。

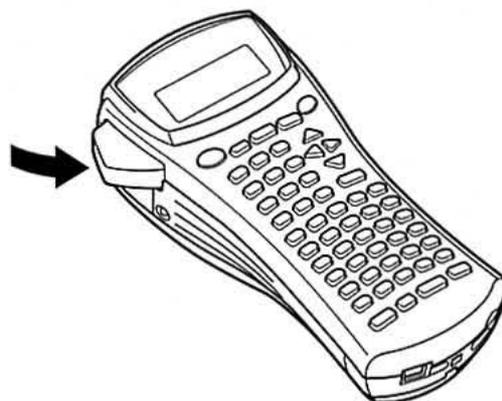
- ① 印刷 (印刷) を押します。

→ 「印刷中です」と画面に表示されます。



- 特殊印刷などを組み合わせて印刷することもできます。詳細は「印刷する」(→ P.37) を参照してください。

- ② メッセージが消えてテープが完全に止まったことを確認したら、テープカッターレバーを押します。



→ テープがカットされます。

ラベルを作成する

バーコードを作成する

## バーコード印刷の注意

バーコードを印刷するときは、以下の点に注意してください。

- 本機は、バーコードラベル専用機ではありません。  
本機で作成したバーコードラベルは、使用するバーコードリーダーで読み取りができることを確認の上、使用してください。
- 万一、バーコードの誤読等による損害が発生しても、当社は一切責任を負いません。
- バーコードを印字する場合は、なるべく白ベース／黒インクのテープを使用してください。これ以外のテープでは、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- バーコードの幅は、なるべく大きく設定してください。小さく設定した場合、バーコードリーダーによっては読み取れないことがあります。
- バーコードが含まれたラベルを大量に連続して印刷すると、プリントヘッドが高温になり、正しく印刷できなくなることがあります。

# データを保存する

作成したデータを本機のメモリーに保存することができます。メモリーのデータは呼び出したり、削除することができます。

## データを保存する

作成したデータをメモリーに保存します。本機のメモリーに10個までのデータが保存できます。

**1** 保存するデータを入力します。

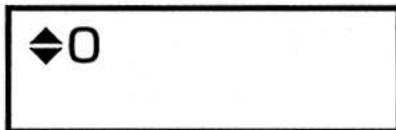
**2**  (メモリー) を押します。

→ 画面にメモリー選択メニューが表示されます。

**3**  (上) /  (下) を押して「登録」を表示し、 (確定) を押します。



**4**  (上) /  (下) を押して保存するメモリーの番号を表示し、 (確定) を押します。



→ 選択したメモリー番号にデータが保存され、入力画面に戻ります。

- メモリーには、最大10ファイル、合計で約2,500文字まで保存できます。
- メモリーには、データに設定されたサイズやスタイルなども保存されます。
- すでに保存されているデータ番号を表示した場合は、保存されているデータが表示されます。
- メモリーにデータがすでに保存されている場合は、「上書きしますか？」のメッセージが表示されます。 (確定) を押すと、データが上書きされます。

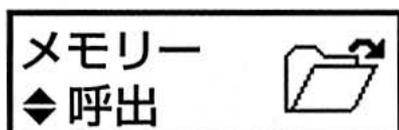
### お願い

- メモリー機能で保存したデータは乾電池を電源としています。必ず指定の乾電池をセットして使用してください。
- 乾電池を抜いて5分以上放置すると、入力したデータやメモリーが消えてしまいます。乾電池の交換は、5分以内に手早く行ってください。

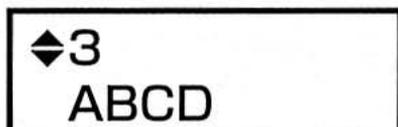
## データを呼び出す

メモリーに保存したデータを呼び出します。

- 1  (メモリー) を押します。  
→ 画面にメモリー選択メニューが表示されます。
- 2  (上) /  (下) を押して「呼出」を表示し、 (確定) を押します。



- 3  (上) /  (下) を押して呼び出すメモリー番号を表示し、 (確定) を押します。



→ 選択したメモリーのデータが呼び出され、入力画面に戻ります。

- データを呼び出すと、入力画面に表示されていた文章や設定情報は削除されます。

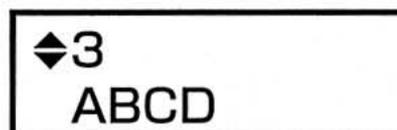
## データを削除する

メモリーに保存したデータを削除します。

- 1  (メモリー) を押します。  
→ 画面にメモリー選択メニューが表示されます。
- 2  (上) /  (下) を押して「削除」を表示し、 (確定) を押します。



- 3  (上) /  (下) を押して削除するメモリーの番号を表示し、 (確定) を押します。  
 (機能) を押してから  (空白) を押すと、保存されている他のデータも選択することができます。



→ 確認の画面が表示されます。

- 削除を取り消す場合は  (削除) を押します。

- 4  (確定) を押します。  
→ メモリーに保存されていたデータが削除され、入力画面に戻ります。

# 設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

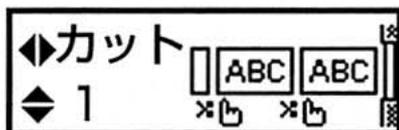
## テープ送りと切り方を設定する

テープの送り方と切り方を設定します。

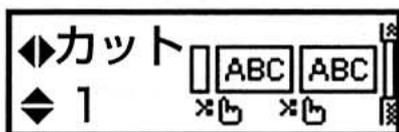
- 1** (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

→ 画面に設定変更メニューが表示されます。

- 2** (左) / (右) を押して「カット」を表示します。

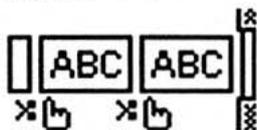


- 3** (上) / (下) を押して設定方法を表示します。

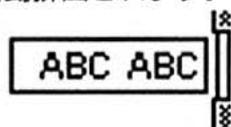


- 1 (カットポーズあり、後送りあり / 初期設定)

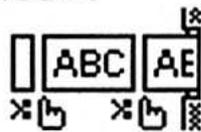
マーキングモードの「通常」「ピッチ/ライン」では、テキストの区切りで一時停止し、「テープをカットしてください」のメッセージが表示されます。それ以外のマーキングモードでは、ブロック間で一時停止します。一時停止したときは、テープカッターレバーでラベルをカットすると、続けてラベルが印刷されます。印刷されたラベルはカッター切断位置まで自動排出されます。



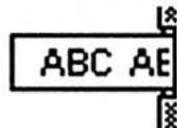
- 2 (カットポーズなし、後送りあり)  
テキストの区切り、またはブロック間で一時停止せずに、ラベルを印刷します。印刷されたラベルはカッター切断位置まで自動排出されます。



- 3 (カットポーズあり、後送りなし)  
マーキングモードの「通常」「ピッチ/ライン」では、テキストの区切りで一時停止し、「テープをカットしてください」のメッセージが表示されます。それ以外のマーキングモードでは、ブロック間で一時停止します。一時停止したときは、テープカッターレバーでラベルをカットすると、続けてラベルが印刷されます。また、最後まで印刷したラベルは排出せずに次の印刷が実行されるまで待機するため、ラベルの間に余分な余白が入りません。ラベルを排出するときはテープ送りをしてください。



- 4 (カットポーズなし、後送りなし)  
テキスト区切り、またはブロック間で一時停止せずに、ラベルを印刷します。また、最後まで印刷したラベルは排出せずに次の印刷が実行されるまで待機するため、ラベルの間に余分な余白が入りません。ラベルを排出するときはテープ送りをしてください。



- (空白) を押すと「1」に戻ります。

- 4** (確定) を押します。

→ 設定が変更され、入力画面に戻ります。

### お願い

- 「3」「4」を設定したときは、テープをカットする前にテープ送りをしてください。

## 液晶画面のコントラストを調整する

液晶画面のコントラストを調整します。

- 1 (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

→ 画面に設定変更メニューが表示されま  
す。

- 2 (左) / (右) を押して「コントラスト」を表示します。



- 3 (上) / (下) を押して濃度を表示します。

液晶画面の濃度は5段階あります。



- (上) (+) を押すたびに画面濃度は濃くなります。
- (下) (-) を押すたびに画面濃度は薄くなります。
- (空白) を押すと「0」に戻ります。

- 4 (確定) を押します。

→ 設定が変更され、入力画面に戻ります。

## 自動縮小を設定する

入力したデータに対して設定したラベルの長さが短いときは、文字が自動縮小されます。「サイズ優先」または「文字幅優先」から設定します。

- 1 (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

→ 画面に設定変更メニューが表示されま  
す。

- 2 (左) / (右) を押して「AUTOサイズ優先」を表示します。

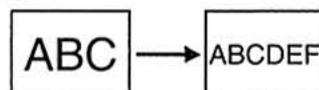


- 3 (上) / (下) を押して設定を表示します。



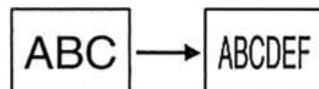
- サイズ優先

データに対して設定したラベルの長さが短いときに、文字の大きさを縮小します。



- 文字幅優先

データに対して設定したラベルの長さが短いときに、文字の幅を縮小します。



- 「文字幅優先」を設定した場合で、半角まで文字幅を縮小しても設定したラベル長に納まらないときは、文字幅は半角のまま、文字の大きさも縮小されます。
- 文字サイズを「自動」以外に設定した場合は、自動でサイズの変更はされません。

- サイズや文字幅を縮小しても設定したラベル長に納まらない場合は、エラーメッセージが表示されます。詳しくは「エラーメッセージ」(→P.111)を参照してください。
-  (空白) を押すと「サイズ優先」に戻ります。

**4**  (確定) を押します。

→ 設定が変更され、入力画面に戻ります。

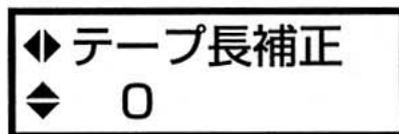
## ラベル長を補正する

ラベル長で設定した長さでラベルが印刷されない場合は、ラベル長を補正して、設定した値に近づけることができます。

**1**  (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

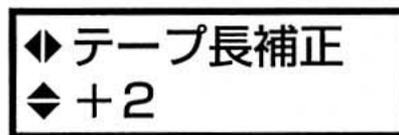
→ 画面に設定変更メニューが表示されま  
す。

**2**  (左) /  (右) を押して「テープ長補正」を表示します。



**3**  (上) /  (下) を押して補正值を表示します。

補正值は5段階あります。



-  (上) (+) を押すたびにラベル長は長くなります。
-  (下) (-) を押すたびにラベル長は短くなります。
-  (空白) を押すと「0」に戻ります。

**4**  (確定) を押します。

→ 設定が変更され、入力画面に戻ります。

### お知らせ

- 補正值の単位は% (パーセント) です。
- 例えば、100mm にラベル長を設定し印刷した場合、印刷されたラベルの長さが98mm だったときは、補正值を+2 に設定すると、次回の印刷からはラベル長が補正されて、長さが100mm のラベルが印刷されます。

## バージョンを表示する

本機に内蔵されているプログラムのバージョン情報を表示することができます。

- 1  (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

→ 画面に設定変更メニューが表示されます。

- 2  (左) /  (右) を押して「バージョン情報」を表示します。

◀▶ バージョン情報  
◆ MAIN :1.00

- 3  (上) /  (下) を押して情報を表示します。

◀▶ バージョン情報  
◆ SYM-SET :1.00

- MAIN  
メインプログラムのバージョン情報を表示します。
- SYM-SET  
記号プログラムのバージョン情報を表示します。
- CHAR-SET  
文字プログラムのバージョン情報を表示します。
- BOOT  
ブートプログラムのバージョン情報を表示します。
- バージョンは、改良などのために変更することがあります。

- 4  (確定) を押して、入力画面に戻します。

## 記号自動更新を設定する

最近使用した記号を記号一覧のパーソナルカテゴリー (Z) に16個まで登録することができます。

- 1  (機能) を押してから、 (環境設定) を押します。

→ 画面に設定変更メニューが表示されます。

- 2  (左) /  (右) を押して「記号自動更新」を表示します。

◀▶ 記号自動更新  
◆ なし

- 3  (上) /  (下) を押して「あり」を表示します。

◀▶ 記号自動更新  
◆ あり

-  (空白) を押すと「あり」に戻ります。
- 記号の登録を更新しない場合は、「なし」に設定します。
- 「あり」に設定した場合は、記号を入力するたびに、パーソナルカテゴリーに入力した記号が登録されます。
- パーソナルカテゴリーに記号が、すでに16個登録されている場合は、記号を入力するたびに、古い登録記号から上書き更新されます。

- 4  (確定) を押します。

→ 設定が更新され、入力画面に戻ります。

## 初期化する

入力したデータやメモリーをすべて消去し、本機の設定を購入時の状態に戻します。

- 1 電源を OFF にします。
- 2  (機能) と  (R) を押しながら、  
 (電源) を押します。  
→ 本機が初期化され、電源が ON になります。

# テンプレートデータでラベルを作成する

購入時から本機に登録されているテンプレートデータを使用すると、以下のレイアウトのラベルを作成することができます。

## お知らせ

- パソコンからデータを転送した場合、選択したデータ番号のテンプレートデータに上書きされます。

| データ番号        | テープ幅             | テープ長      | 内容 (例)   | データ番号 | テープ幅    | テープ長    | 内容 (例)          |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
|--------------|------------------|-----------|--|-------|---------|---------|-----------------|--------------|--------------|-------|---|-----------|--|------|---|--------------------------------------|----------|------|-----------|------|-----------|-------|------------------|
| 1            | 24mm             | 81mm      | <table border="1"> <tr><td>お名前</td><td></td></tr> <tr><td>松楠工事(株)</td><td>東京営業所</td></tr> <tr><td>TEL 123-XXXX</td><td>FAX 123-XXXX</td></tr> </table>   | お名前   |         | 松楠工事(株) | 東京営業所           | TEL 123-XXXX | FAX 123-XXXX | 6     | 18mm  | 43mm      | <table border="1"> <tr><td>検査済証</td><td>品番 AK211</td></tr> <tr><td>検査日</td><td>平成*年4月1日</td></tr> <tr><td>有効期限</td><td>平成*年3月31日</td></tr> <tr><td>会社名</td><td>松楠サービス</td></tr> </table> | 検査済証 | 品番 AK211  | 検査日                                  | 平成*年4月1日 | 有効期限 | 平成*年3月31日 | 会社名  | 松楠サービス    |       |                  |
| お名前          |                  |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 松楠工事(株)      | 東京営業所            |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| TEL 123-XXXX | FAX 123-XXXX     |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 検査済証         | 品番 AK211         |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 検査日          | 平成*年4月1日         |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 有効期限         | 平成*年3月31日        |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 会社名          | 松楠サービス           |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 2            | 24mm             | 89mm      | <table border="1"> <tr><td></td><td>感電注意!</td></tr> <tr><td></td><td>触らないで下さい</td></tr> </table>   |       | 感電注意!   |         | 触らないで下さい        | 7            | 24mm         | 53mm  | <table border="1"> <tr><td>校正検査済証</td><td></td></tr> <tr><td>製品名</td><td>/</td></tr> <tr><td>製品番号</td><td>M-500213</td></tr> <tr><td>校正日</td><td>平成*年12月1日</td></tr> <tr><td>有効期限</td><td>平成*年6月31日</td></tr> <tr><td>※松楠商店</td><td>TEL(012)345-XXXX</td></tr> </table> | 校正検査済証    |  | 製品名  | /   | 製品番号                                 | M-500213 | 校正日  | 平成*年12月1日 | 有効期限 | 平成*年6月31日 | ※松楠商店 | TEL(012)345-XXXX |
|              | 感電注意!            |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
|              | 触らないで下さい         |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 校正検査済証       |                  |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 製品名          | /                |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 製品番号         | M-500213         |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 校正日          | 平成*年12月1日        |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 有効期限         | 平成*年6月31日        |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| ※松楠商店        | TEL(012)345-XXXX |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 3            | 24mm             | 64mm      | <table border="1"> <tr><td>製品名</td><td>ラベルプリンタ</td></tr> <tr><td>品番</td><td>Bepopmini PM-24</td></tr> <tr><td>SER No</td><td>A1200001</td></tr> <tr><td>製造年月日</td><td>2003/12/1</td></tr> </table> | 製品名   | ラベルプリンタ | 品番      | Bepopmini PM-24 | SER No       | A1200001     | 製造年月日 | 2003/12/1   | 8         | 6mm  | 43mm | <table border="1"> <tr><td>有効期限</td><td>12/11</td><td>品番No</td><td>14000</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>生産</td><td>製造</td></tr> </table> | 有効期限                                 | 12/11    | 品番No | 14000     |      |           | 生産    | 製造               |
| 製品名          | ラベルプリンタ          |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 品番           | Bepopmini PM-24  |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| SER No       | A1200001         |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 製造年月日        | 2003/12/1        |           |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 有効期限         | 12/11            | 品番No      | 14000  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
|              |                  | 生産        | 製造   |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 4            | 24mm             | 80mm      | <table border="1"> <tr><td>松楠市役所</td><td>品名</td><td>ラベルプリンタ</td></tr> <tr><td>備品票</td><td>番号</td><td>1400101</td></tr> <tr><td></td><td>購入年月日</td><td>200*/12/1</td></tr> </table>                 | 松楠市役所 | 品名      | ラベルプリンタ | 備品票             | 番号           | 1400101      |       | 購入年月日   | 200*/12/1 | 9  | 18mm | 102mm   | <p>箱崎 太郎</p> <p>松楠商事(株) 東京支社 営業部</p> |          |      |           |      |           |       |                  |
| 松楠市役所        | 品名               | ラベルプリンタ   |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 備品票          | 番号               | 1400101   |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
|              | 購入年月日            | 200*/12/1 |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| 5            | 24mm             | 251mm     | <table border="1"> <tr><td>⌂</td><td>監視映像</td><td>監視映像</td></tr> </table>  | ⌂     | 監視映像    | 監視映像    |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |
| ⌂            | 監視映像             | 監視映像      |  |       |         |         |                 |              |              |       |   |           |  |      |   |                                      |          |      |           |      |           |       |                  |

## テンプレートデータでラベルを作成する

登録されているデータの中から作成したいレイアウトのラベルデータを画面に表示し、データの内容を編集することにより、レイアウトはそのまま、文章内容を変更したラベルを作成することができます。

- 1 (機能) を押してから、表示するデータ番号を押します。

→ 画面に選択したデータ番号のプレビューが表示されます。



- 購入時に登録されているデータ0は、イメージ文字データ(外字、ロゴ)のため、編集することはできません。
- (上) / (下) を押すと、本機に登録されているデータが表示されます。

- 2 (確定) を押します。  
→ 画面にデータが表示されます。

- 3 (上) / (下) を押して編集するデータを画面に表示します。

◆ 1 : 案内文は?  
|お問合せは・・・

- 4 (左) / (右) を押してカーソルを移動し、文字の入力と同様にデータの編集をします。

- 5 ラベルを印刷するときは、 (印刷) を押します。

特殊印刷などを組み合わせて印刷することもできます。詳細は「印刷する」(→P.37)を参照してください。

# マーキングラベルを作成しましょう

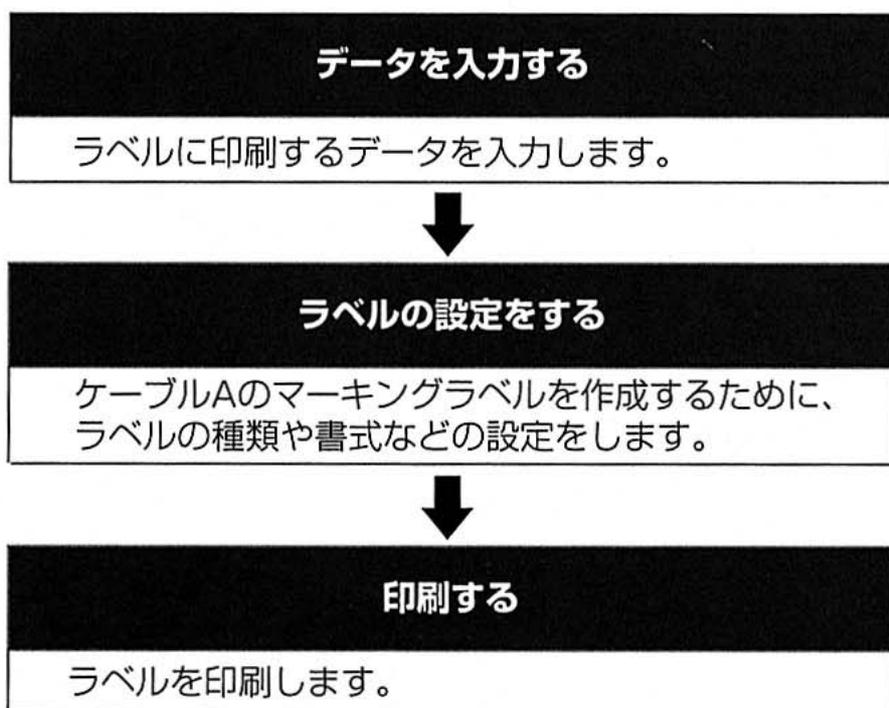
ここでは、ケーブル A のマーキングラベルの作成方法を具体的に例をあげて説明します。

例：



のケーブル A のマーキングラベルを作成します。

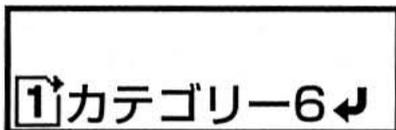
ケーブル A のマーキングラベルを作成するには、以下の流れになります。



## データを入力する

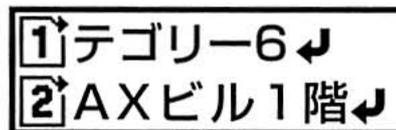
初めにラベルに印刷するデータを入力します。

- 1 「カテゴリー6」を入力し、 (改行) を押します。



- 2 「MAXビル1階」を入力し、 (改行) を押します。

同様に「赤」を入力し、 (改行) を押します。



## お知らせ

- 文字の入力方法は「文字を入力する」(→P.23)を参照してください。

## ラベルの設定をする

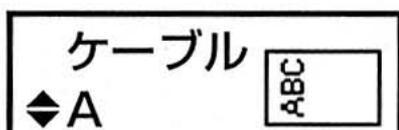
データの入力が完了したら、ケーブルAのマーキングラベルを作成するために、ラベルの種類や書式などの設定をします。

### ■ マーキングラベルを設定する

- ①  (マーキングモード) を押します。

→ 画面にラベルタイプ設定メニューが表示されます。

- ②  (上) /  (下) を押して「ケーブルA」を表示し、 (確定) を押します。



→ 画面に直径設定メニューが表示されま

- ③  (上) /  (下) または数字入力キーを押してラベルの長さを入力します。

設定できる数値は、7～60mm (1mm 間隔) です。



- ケーブル外径を2周以上巻き付くようにしてください。ケーブルの直径を正しく入力すると自動的に2周以上巻き付くよう印刷されます。

- ④  (左) /  (右) を押して「枠囲み」を表示します。

- ⑤  (上) /  (下) を押して「1」を表示します。



- ⑥  (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、「マーキングモード」ガイドランスに設定したモードが画面に表示されます。

### ■ 文字の大きさと文字幅を設定する

- ①  (機能) を押してから、 (サイズ) を押します。

→ 画面にサイズ設定メニューが表示されま

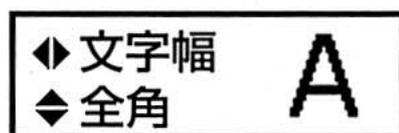
- ②  (左) /  (右) を押して「サイズ」を表示します。

- ③  (上) /  (下) を押して「自動」を表示します。



- ④  (左) /  (右) を押して「文字幅」を表示します。

- ⑤  (上) /  (下) を押して「全角」を表示します。



- ⑥  (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、各ガイドランスに設定した値が表示されます。

### お知らせ

- 文字の大きさと文字幅の設定は行ごとに設定できます。
- 詳細は「文字の大きさを設定する」(→ P.30) と「文字の幅を設定する」(→ P.31) を参照してください。

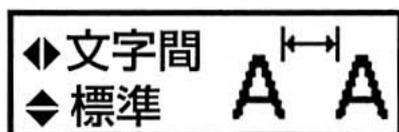
## ■ 文字の間隔と太字を設定する

- ① (機能) を押してから、 (スタイル) を押します。

→ 画面にスタイル設定メニューが表示されます。

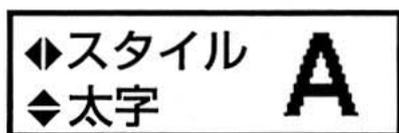
- ② (左) / (右) を押して「文字間」を表示します。

- ③ (上) / (下) を押して「標準」を表示します。



- ④ (左) / (右) を押して「スタイル」を表示します。

- ⑤ (上) / (下) を押して太字を表示します。



- ⑥ (確定) を押します。

→ 入力画面に戻り、各ガイダンスが点灯します。

### お知らせ

- 文字の間隔と太字の設定は行ごとに対して設定されます。
- 詳細は「文字の間隔を設定する」(→P.32)と「太字を設定する」(→P.32)を参照してください。

## 印刷する

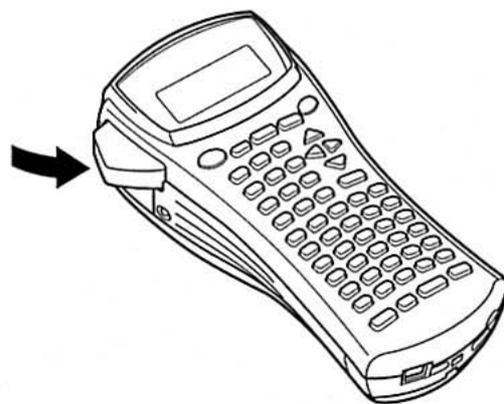
ラベルの種類や書式などの設定が完了したら、ラベルを印刷します。

- ① (印刷) を押します。

→ 「印刷中です」と画面に表示されます。

- 特殊印刷などを組み合わせて印刷することができます。詳細は「印刷する」(→P.37)を参照してください。

- ② メッセージが消えてテープが完全に止まったことを確認したら、テープカッターレバーを押します。



→ テープがカットされます。

ラベルを作成する

マーキングラベルを作成しましょう



# 3 パソコンでラベルを作成する

ここでは、パソコンでラベルをデザインして、印刷するまでの手順を説明します。

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| パソコンでラベルを作成するには .....          | 66 |
| プログラムをインストールする .....           | 70 |
| P-touch Editor でラベルを編集する ..... | 81 |
| パソコンからデータを転送する .....           | 91 |
| マーキングラベルを作成しましょう .....         | 99 |

# パソコンでラベルを作成するには

パソコンでラベルを作成するには、以下の流れになります。

## プログラムをインストールする

パソコンで本機を使用するためのドライバと、ラベルをデザインするためのソフトウェアをインストールし、本機とパソコンを接続します。「プログラムをインストールする」(→P.70)で説明します。

## ラベル作成開始

準備ができれば、パソコンでラベルを作成します。「P-touch Editorでラベルを編集する」(→P.81)で説明します。

## データを本機に転送

P-touch Transfer Managerを使用して本機にデータを転送し、印刷をします。「パソコンからデータを転送する」(→P.91)で説明します。

## パソコンでラベルを作成するときの注意

P-touch Editorで作成したデータを本機に転送した場合、本機で対応できない機能については、本機で自動的にデータの加工を行うため、以下の点に注意してください。

### ■ 書体・文字サイズ

パソコンに登録されているフォントで編集してデータを転送した場合、印刷は本機内蔵フォント（ゴシック）で印刷を行うため文字の書体が異なる場合があります。また、本機での文字サイズはすべてAUTOサイズとして認識されるため、文字サイズが自動的に縮小される場合があります。

### ■ 行間・文字間

P-touch Editorで行間や文字間を設定してデータを転送した場合、本機では行間や文字間の設定は無効となります。

### ■ 縦書き

P-touch Editorでは、縦書き設定が自動的に無効となる文字がありますが、データを転送して本機で印刷する場合は、本機の印刷条件に従いますので、P-touch Editorでは無効でも、本機では印刷される場合があります。日本語の半角文字などは特にご注意ください。

### ■ 文字修飾

P-touch Editorで文字ごとの文字修飾を設定してデータを転送した場合、本機では行ごとの設定しかできないため、本機で正しく文字修飾がされないことがあります。また、本機に対応していない修飾種類を設定した場合は文字修飾されません。

### ■ アンダーライン、字消し線

P-touch Editorでアンダーライン、字消し線を設定してデータを転送した場合、本機ではアンダーライン、字消し線の設定は無効となります。

### ■ データベースの最大行数

データベースの最大行数は999行です。それ以降のデータは表示されません。

### ■ 1フィールドに入力可能な行数

P-touch Editorで1フィールドに2行以上を入力してデータを転送した場合、本機では1フィールドに入力できる行数は1行のため、2行目以降のデータは表示されません。

### ■ 使用可能な文字

本機で印刷可能な文字はコードページ932（Japanese-SHIFT-JIS）とSHIFT-JISの2バイト文字（漢字／ひらがななど）に記載された文字です。それ以外の文字、および本機内蔵でない文字が転送したデータに入力されていた場合は、スペースに変換されます。

### ■ イラスト文字データ（外字、ロゴ）に登録できる最大サイズ

パソコンで作成したイラスト文字データ（外字、ロゴ）を転送した場合、本機内蔵サイズより大きいイラスト文字データ（外字、ロゴ）のときは、縦方向をテープ幅にあわせて縮小します。横方向は縦方向との比率で縮小されますが、すべてのデータを印刷できない場合があります。印刷できないデータについては自動的に削除されます。また、モノクロのbmp形式のデータのみに対応しているため、カラーの場合は、正しく印刷できない場合があります。

### ■ バーコード

P-touch Editorのテンプレートデータでバーコードの規格を設定し、データベースデータからバーコードをリンクして印刷する場合、本機にP-touch Editorで設定したバーコードの規格がないときはバーコードが印刷されません。

また、本機とP-touch Editorで入力桁数が異なるバーコードの場合は、本機の入力桁数に合わせてください。P-touch Editorの入力桁数に合わせた場合は印刷されません。

## ■ テープ長さ

P-touch Editor で AUTO 定長を設定してデータを転送した場合、本機では編集時の長さで固定となります。最大値は 1 m です。また、P-touch Editor で設定したラベルの長さとは本機での表示長さが若干異なる場合があります。

## ■ 最大文字数

一度に印刷可能な文字数は約 500 文字までです。

## ■ 印字範囲を外れたフィールド

印字範囲を外れたフィールドについては、フィールドの一部または全部が表示されないことがあります。

## ■ ナンバリング

P-touch Editor でナンバリングを設定してデータを転送した場合、本機ではナンバリングの設定は無効になります。

## ■ 背景

P-touch Editor で背景を設定してデータを転送した場合、本機では背景の設定は無効となります。

## ■ オブジェクトイメージの重ね合わせ

P-touch Editor でテキストやバーコードとその他のオブジェクトを重ねあわせたレイアウトを作成した場合、常にテキストとバーコードが、その他のオブジェクトの前面に印刷されます。

## ■ プレビュー表示

P-touch Transfer Manager で表示されるプレビューは、あくまで各データの出カイメージであり、一部の機能の制限などにより、本機の印刷結果と異なる場合があります。

## ■ データベースデータの更新

本機のデータベースにリンクしたテンプレートデータの印刷に関しては、テンプレートデータと同時に作成したデータベースデータを基本としますが、CSV形式のデータであれば、後からデータベースデータをパソコンから本機に転送して更新ができます。このとき、データの項目数、列順序などを変更すると、正しくリンクされない場合があります。また、1 行目のデータはタイトルとして認識されるため印刷されません。

## ■ 日付、時間の印刷

P-touch Editor で日付、時間を「印刷時の日付時刻」に設定してデータを転送した場合、本機では「印刷時の日付時刻」の設定は無効となります。

### お願い

- P-touch Editor で作成したデータは、本機以外から印刷することはできません。
- 本機にデータを転送することによって、一部の機能が制限されます。テンプレート作成後は必ず本機で印刷を行い、印刷結果を確認してから使用してください。

## 対応 OS

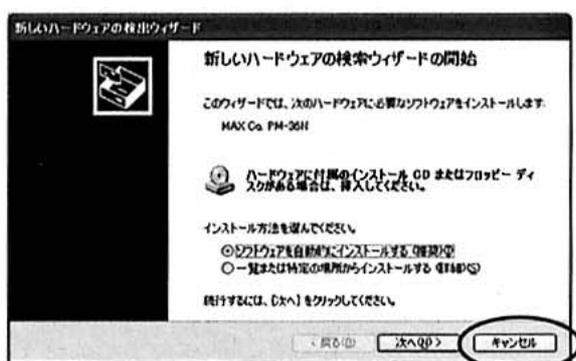
本機は、Microsoft® Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XPのいずれかのOSを搭載したパソコンと接続することができます。

## インストールするときの注意

パソコンにプログラムをインストールするときは、使用する環境に応じて、以下の点に注意してください。

### ■ USB ケーブルの接続

ソフトウェアをインストールするまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。もし、USBケーブルを先に接続していた場合に次の画面が表示されたときは、[キャンセル] ボタンをクリックし、USBケーブルを抜いてください。



### ■ Windows® 2000 Pro で使用する場 合

インストールするときは、「Administrator」権限を持つユーザ名でログインしてください。

### ■ Windows® XP で使用する場 合

インストールするときは、「コンピュータの管理者」権限を持つユーザ名でログインしてください。

### お願い

- 本機は、Windows®のみに対応しています。Macintosh®などの他のOSでは使用できません。

## 使用するソフトウェア

パソコンでラベルのデザインをするには以下のプログラムをパソコンにインストールする必要があります。

### ■ P-touch Editor

いろいろなデザインのラベルを作成する編集用のソフトウェアです。

### ■ プリンタドライバ

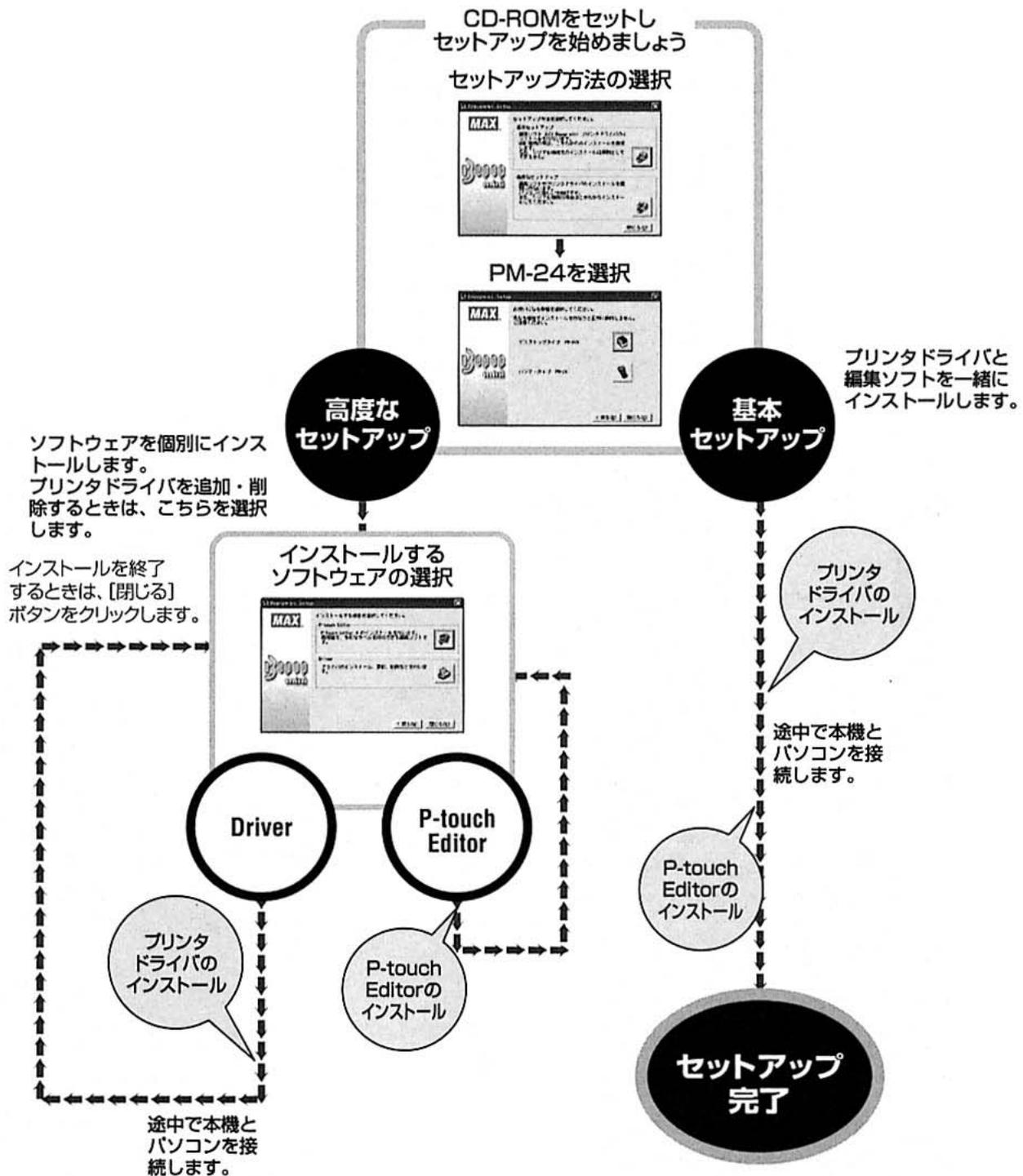
本機をプリンタとして使用するためのプログラムです。

パソコンでラベルを  
作成する

パソコンでラベルを作成するには

# プログラムをインストールする

インストールの流れを説明します。



## 基本セットアップでインストールする

本機をプリンタとして使用するために必要な「プリンタドライバ」と、ラベルをデザインする「P-touch Editor」をインストールします。プリンタドライバをインストールしたあと、続けてP-touch Editorをインストールします。

### お願い

- OSによっては、インストール中に再起動が必要な場合があります。再起動したときは、同じユーザ名でログインし、インストールを続けてください。

### お知らせ

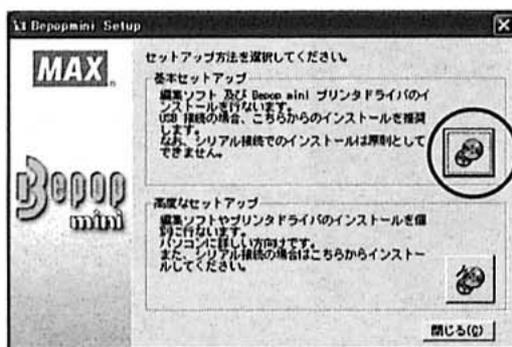
- プリンタドライバだけをインストールする場合は、「プリンタドライバだけインストールするとき」(→P.77)を参照してください。
- ここではWindows® XPの画面を例に説明します。その他のOSの場合も基本的な操作は同様です。

## 1 パソコンを起動し、付属のCD-ROMをセットします。

→ [Bepop mini Setup] 画面が表示されます。

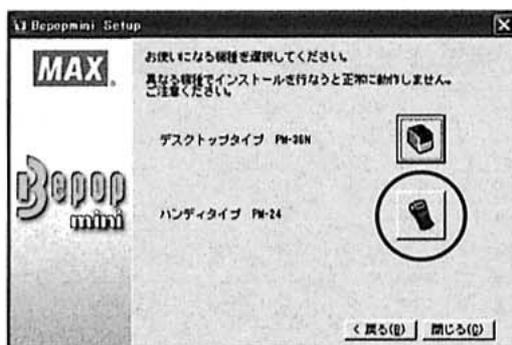
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]の[Bepop mini]アイコンをダブルクリックします。

## 2 基本セットアップのボタンをクリックします。



→ 機種を選択する画面が表示されます。

## 3 PM-24のボタンをクリックします。



→ インストールの準備が始まります。

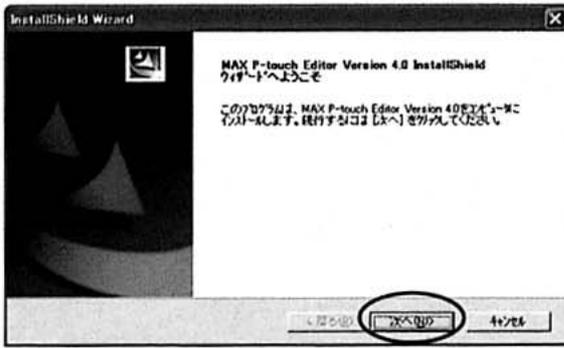


→ 準備が終わると、[MAX P-touch Editor Version 4.0 InstallShield ウィザードへようこそ] 画面が表示されます。

パソコンでラベルを

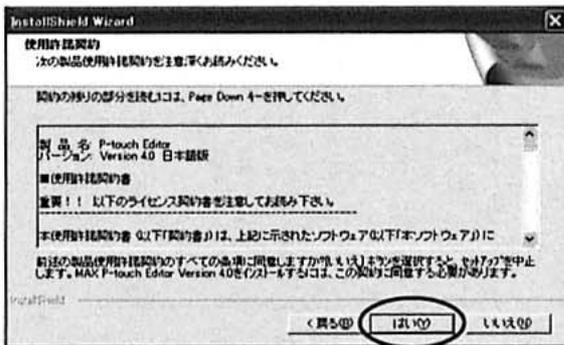
プログラムをインストールする

- 4 内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



→ [使用許諾契約] 画面が表示されます。

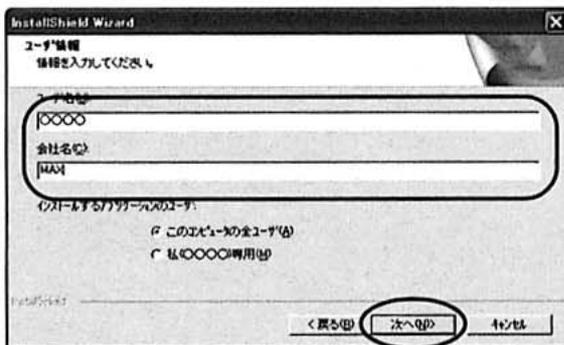
- 5 内容を確認し、[はい] ボタンをクリックします。



→ [ユーザ情報] 画面が表示されます。

- 6 「ユーザ名」と「会社名」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

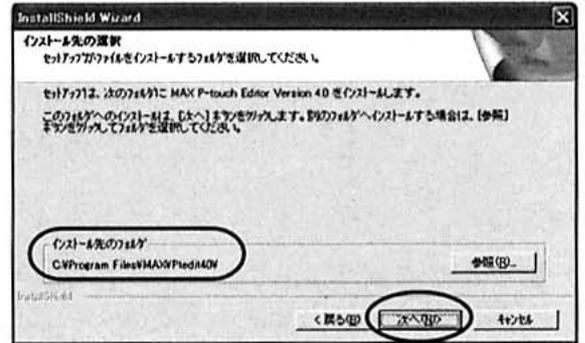
インストールしたときのログイン名とパスワードでパソコンを起動したときだけ、このソフトウェアを使用できるようにする場合は、「私(〇〇〇〇)専用」を選択します。



→ [インストール先の選択] 画面が表示されます。

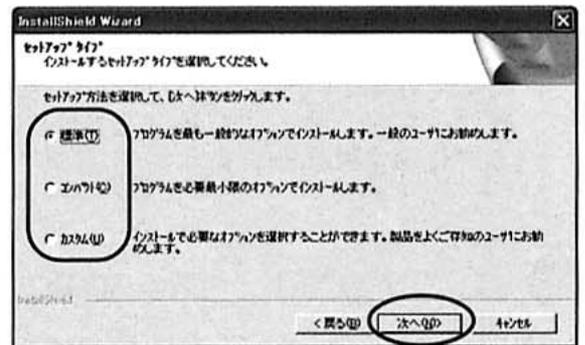
- 7 インストールするフォルダを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

変更するときは、[参照] ボタンをクリックします。



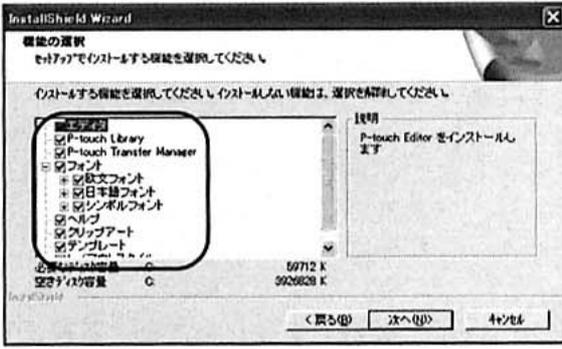
→ [セットアップタイプ] 画面が表示されます。

- 8 セットアップ方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



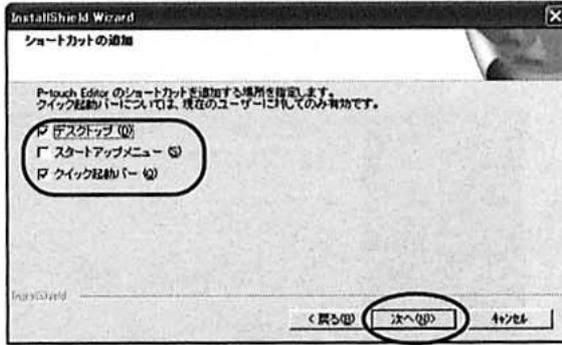
以下の項目がインストールされます。

- 標準  
P-touch Editor、P-touch Library、P-touch Transfer Manager、P-touch Backup Manager、欧文フォント、シンボルフント、ヘルプ、クリップアート、テンプレート、レイアウトスタイルがインストールされます。
- コンパクト  
P-touch Editorとクリップアートのみインストールされます。
- カスタム  
[次へ] ボタンをクリックし、[機能の選択] 画面でインストールする項目を選択します。



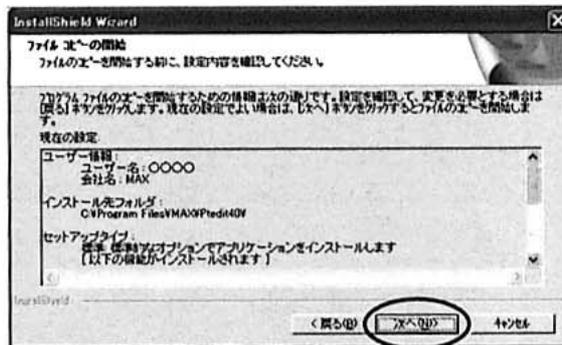
→ [ショートカットの追加] 画面が表示されます。

- 9** ショートカットを作成する場所を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。  
ショートカットを作成しない場合は、すべてのチェックを外します。



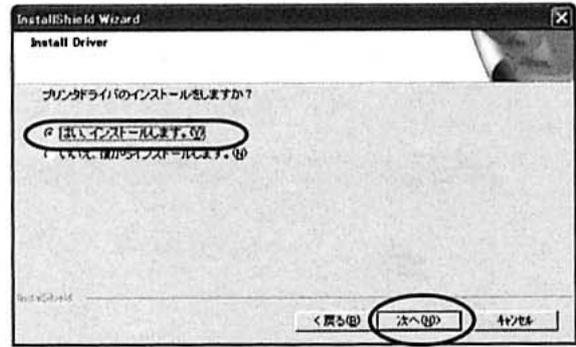
→ [ファイルコピーの開始] 画面が表示されます。

- 10** 設定内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。  
設定し直すときは、[戻る] ボタンをクリックします。



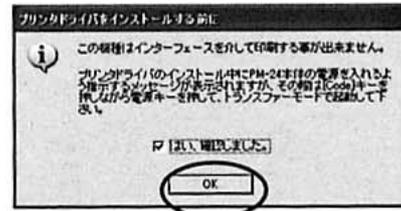
→ [Install Driver] 画面が表示されます。

- 11** 「はい、インストールします。」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



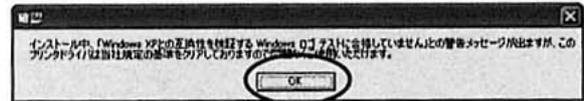
→ [プリンタドライバをインストールする前に] 画面が表示されます。

- 12** 内容を確認してから「はい、確認しました。」をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。



→ [確認] 画面が表示されます。

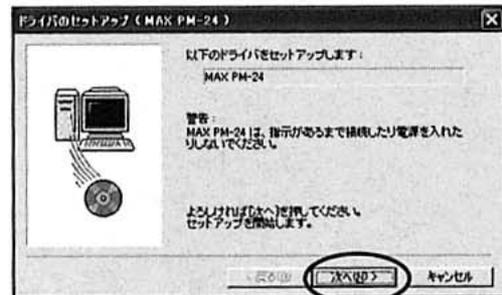
- 13** 内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。



- OSによっては、この画面は表示されません。

→ [ドライバのセットアップ (MAX PM-24)] 画面が表示されます。

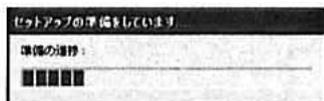
- 14** [次へ] ボタンをクリックします。



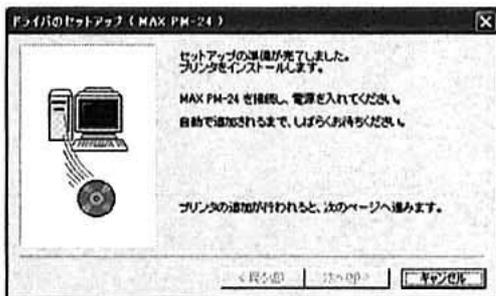
パソコンでラベルを

プログラムをインストールする

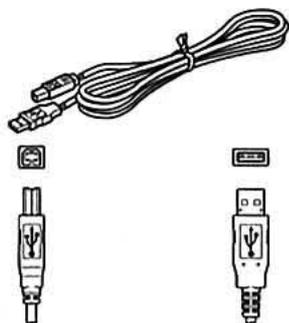
→ セットアップの準備が始まります。



→ 準備が終わると、本機を接続するように画面に表示されます。



### 15 付属の USB ケーブルを用意します。



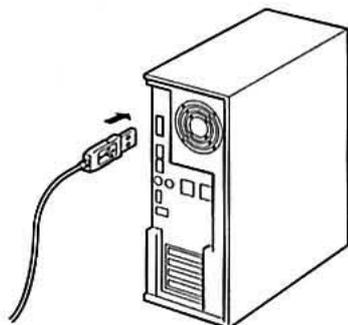
本機のUSBポートに  
差し込みます

パソコンのUSBポート  
に差し込みます

### 16 本機底面のUSBポートにUSBケーブルを差し込みます。



### 17 パソコンのUSBポートにUSBケーブルを差し込みます。



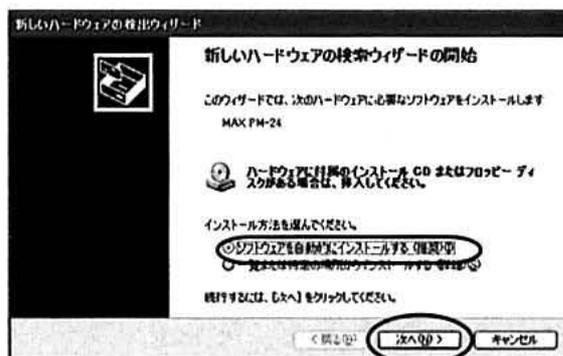
- パソコンによって、USB ポートの位置は異なります。詳細は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- USB ハブを介して接続する場合は、USB ハブの機種によっては、正しく接続できないことがあります。このようなときは、パソコンと本機を直接 USB ケーブルで接続してください。

### 18 (機能) (機能) を押しながら、本機の電源を入れます。

Windows® 98/98 SE/Me/2000 Proの場合は、22 (→P.75) に進みます。

→ パソコンに本機が接続されていることが認識されると、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

### 19 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

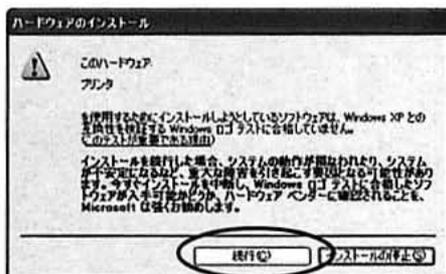


→ 必要なプログラムが検索されます。



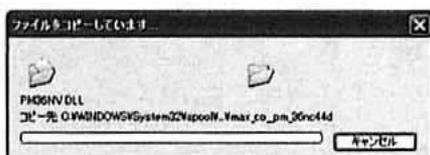
→ [ハードウェアのインストール] 画面が表示されます。

## 20 【続行】 ボタンをクリックします。



- 本プログラムはWindows® XPで問題なく使用できます。

→ ドライバのインストールが始まります。



→ インストールが終了すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。

## 21 【完了】 ボタンをクリックします。

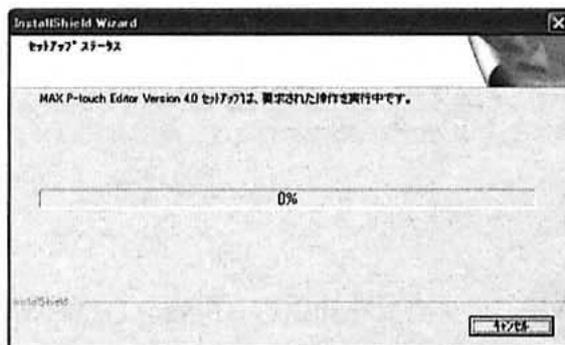


→ [ドライバのセットアップ (MAX PM-24)] 画面に戻ります。

## 22 【完了】 ボタンをクリックします。

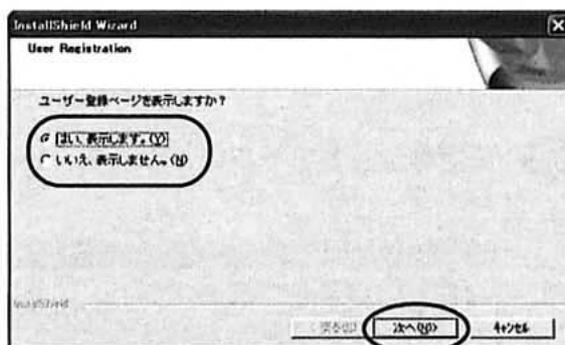


→ [セットアップステータス] 画面が表示され、P-touch Editorのインストールが始まります。



→ P-touch Editorのインストールが完了すると、ユーザー登録ページについての画面が表示されます。

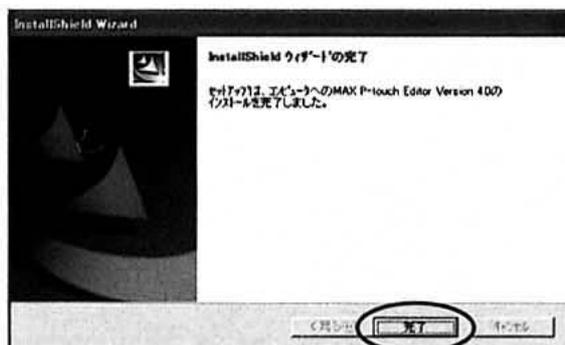
## 23 ユーザー登録ページを表示するかどうかを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- インターネットに接続している場合のみ [はい、表示します。] を選択します。 [はい、表示します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックした場合は、パソコンのブラウザが起動し、Bepop-net.comのトップ画面が表示されます。トップ画面からユーザー登録をして、ブラウザを閉じてください。

→ [InstallShieldウィザードの完了] 画面が表示されます。

## 24 【完了】 ボタンをクリックします。



→ インストールが終了します。

ラベルを作成するときは、「P-touch Editorでラベルを編集する」(→P.81)に進みます。

パソコンでラベルを

プログラムをインストールする

## P-touch Editor だけ インストールするとき

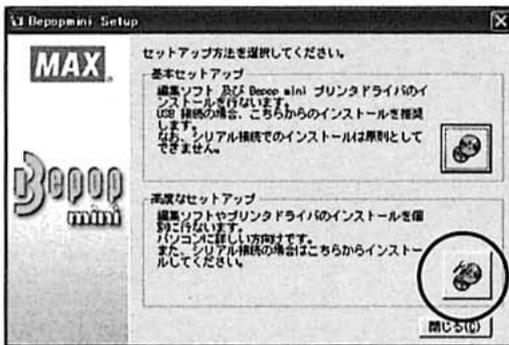
ラベルをデザインする「P-touch Editor 4.0」のみをインストールする手順を説明します。

### 1 パソコンを起動し、付属のCD-ROMをセットします。

→ [Bepop mini Setup] 画面が表示されます。

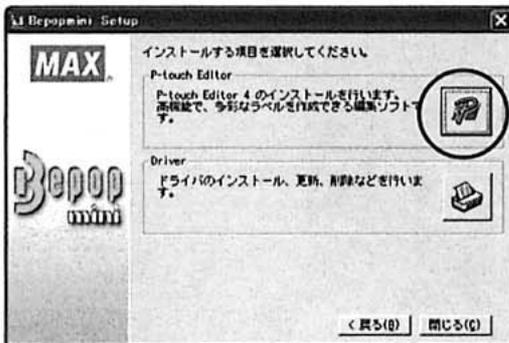
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されるまで、少し時間がかかります。
- [Bepop mini Setup] 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]の[Bepop mini]アイコンをダブルクリックします。

### 2 高度なセットアップのボタンをクリックします。



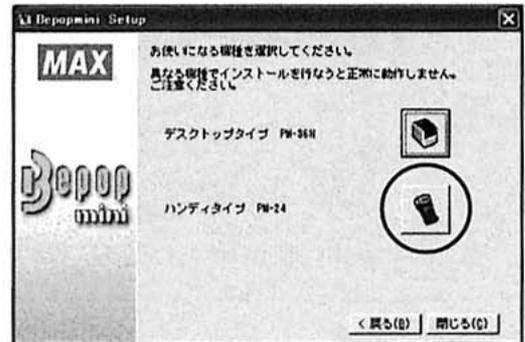
→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

### 3 P-touch Editor のボタンをクリックします。



→ 機種を選択する画面が表示されます。

### 4 PM-24 のボタンをクリックします。



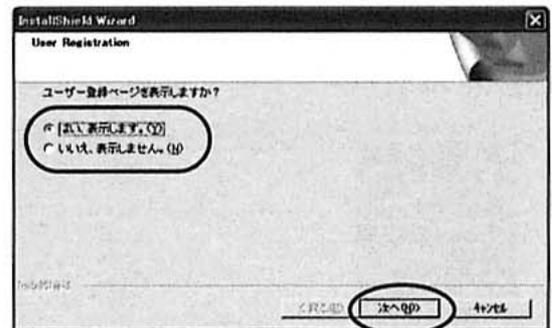
### 5 画面に表示される内容に従って、インストールを実行します。

「基本セットアップでインストールする」の

4 ~ 10 (→P.72) を参照してください。

→ P-touch Editor のインストールが終わると、ユーザー登録ページについての画面が表示されます。

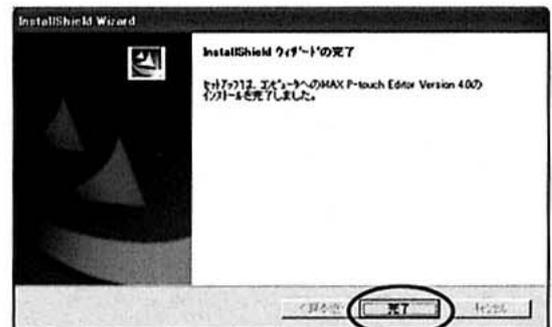
### 6 ユーザー登録ページを表示するかどうかを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- インターネットに接続している場合のみ [はい、表示します。] を選択します。 [はい、表示します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックした場合は、パソコンのブラウザが起動し、Bepop-net.com のトップ画面が表示されます。トップ画面からユーザー登録をして、ブラウザを閉じてください。

→ [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示されます。

### 7 [完了] ボタンをクリックします。



→ P-touch Editor がインストールされ、3 の画面に戻ります。

## プリンタドライバだけ インストールするとき

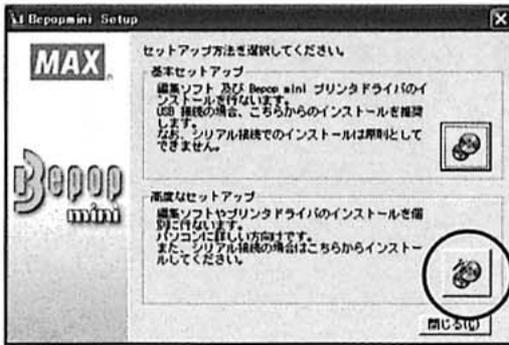
プリンタドライバのみをインストールするときの  
手順を説明します。

### 1 パソコンを起動し、付属の CD-ROM を セットします。

→ [Bepop mini Setup] 画面が表示され  
ます。

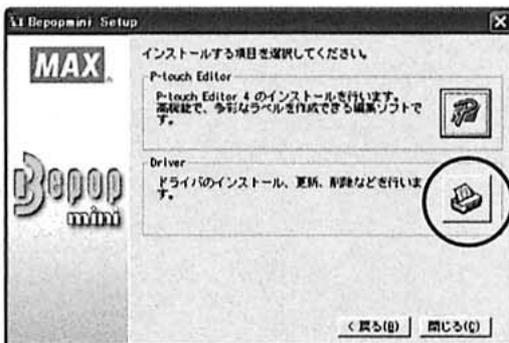
- [Bepop mini Setup] 画面が表示され  
るまで、少し時間がかかります。
- [Bepop mini Setup] 画面が表示され  
ないときは、[マイコンピュータ] の  
[Bepop mini] アイコンをダブルクリッ  
クします。

### 2 高度なセットアップのボタンをクリッ クします。



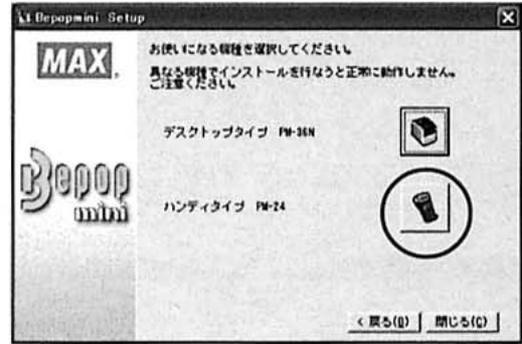
→ インストールするソフトウェアを選択す  
る画面が表示されます。

### 3 Driver のボタンをクリッ クします。



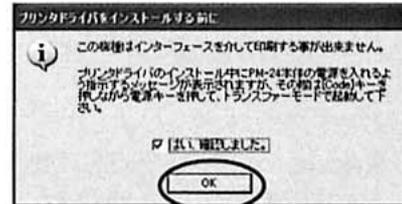
→ 機種を選択する画面が表示されます。

### 4 PM-24 のボタンをクリッ クします。



→ 「プリンタドライバをインストールする  
前に」画面が表示されます。

### 5 内容を確認してから「はい、確認しまし た。」をチェックし、[OK] ボタンをク リックします。



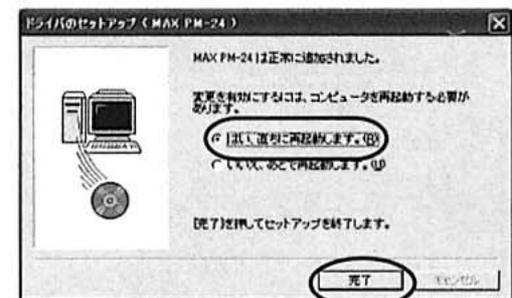
→ [確認] 画面が表示されます。

### 6 画面に表示される内容に従って、インス トールを実行します。

「基本セットアップでインストールする」  
⑬～⑳ (→P.73) を参照してください。

→ [ドライバのセットアップ (MAX PM-  
24)] 画面が表示されます。

### 7 「はい、直ちに再起動します。」を選択し、 [完了] ボタンをクリッ クします。



→ ドライバのインストールが終了し、パソ  
コンが再起動します。

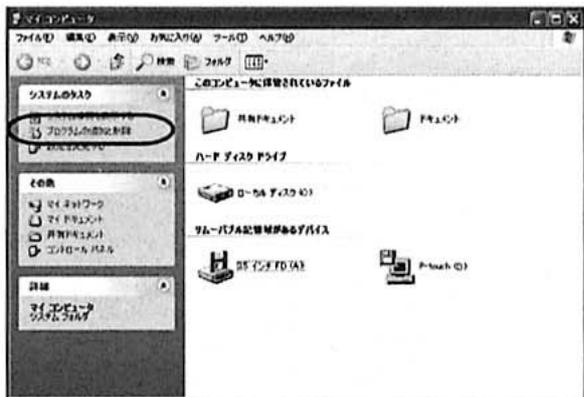
パソコンでラベルを  
作成する

プログラムをインストールする

## ソフトウェアを削除するとき

本機を使用しなくなったときなどは、以下の手順でソフトウェアを削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プログラムの追加と削除]を選択します。



→ [プログラムの追加と削除] ウィンドウが表示されます。

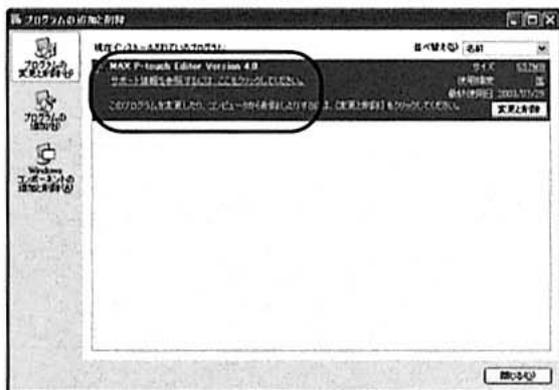
- Windows® 98/98SE/Me/2000 Pro の場合

[スタート] メニュー— [設定] — [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。



アプリケーションの追加と削除

- 2 [MAX P-touch Editor Version 4.0] を選択します。



- Windows® 98/98SE/Me/2000 Pro の場合

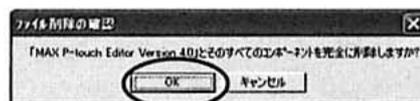
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面で、「MAX P-touch Editor Version 4.0」を選択します。



- 3 [変更と削除] ボタンをクリックします。

→ [ファイル削除の確認] 画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。



→ ソフトウェアが削除されます。

## プリンタを使用しなくなったとき

本機のプリンタドライバを削除します。プリンタを削除するときは、[コントロールパネル] - [プリンタ] (Windows® XPの場合は[プリンタとFAX])で「MAX PM-24」を選択し、削除します。

プリンタドライバを完全に削除する場合は、以下の手順で削除を行います。

**1** 本機の電源をOFFにし、パソコンに接続したケーブルを抜きます。

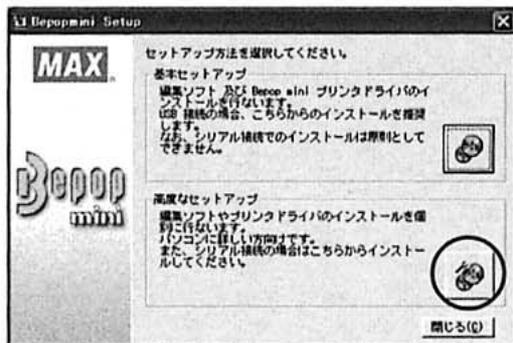
**2** 付属のCD-ROMをセットします。

→ [Bepop mini Setup] 画面が表示されます。

● [Bepop mini Setup] 画面が表示されるまで、少し時間がかかります。

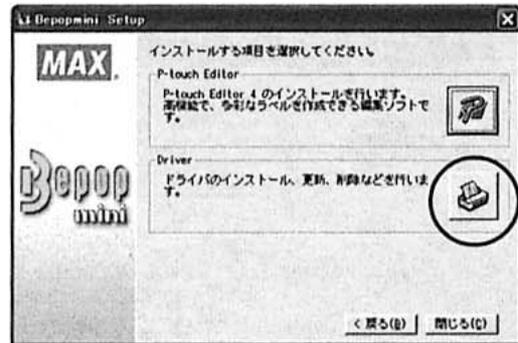
● [Bepop mini Setup] 画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]の[Bepop mini]アイコンをダブルクリックします。

**3** 高度なセットアップのボタンをクリックします。



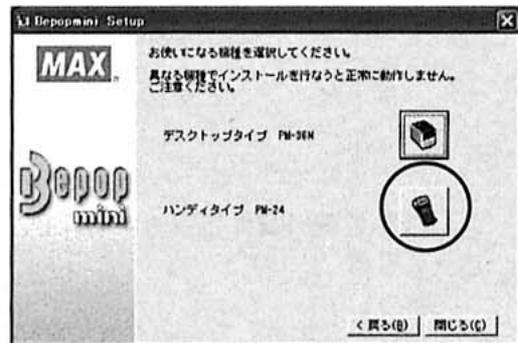
→ インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。

**4** Driverのボタンをクリックします。



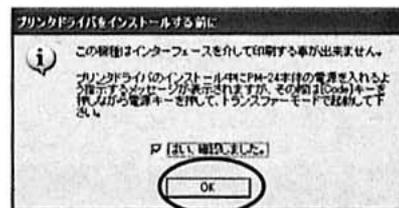
→ 機種を選択する画面が表示されます。

**5** PM-24のボタンをクリックします。



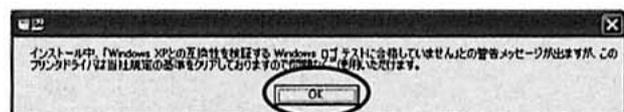
→ 「プリンタドライバをインストールする前に」画面が表示されます。

**6** 内容を確認してから「はい、確認しました。」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。



→ [確認] 画面が表示されます。

**7** 内容を確認し、[OK]ボタンをクリックします。



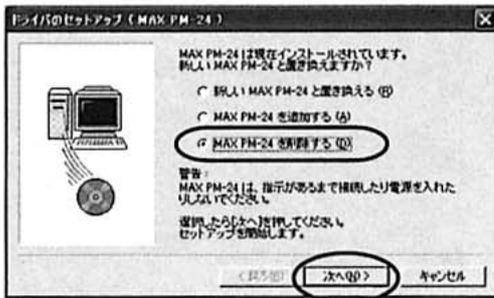
● OSによっては、この画面は表示されません。

→ [ドライバのセットアップ (MAX PM-24)] 画面が表示されます。

パソコンでラベルを作成する

プログラムをインストールする

**8** 「MAX PM-24 を削除する」を選択し、  
「次へ」ボタンをクリックします。



→ 削除の確認画面が表示されます。

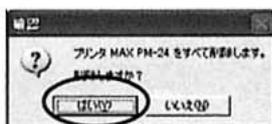
「新しいMAX PM-24 と置き換える」  
を選択した場合

現在のプリンタドライバを削除し、新しいプリンタドライバをインストールします。新しいバージョンのプリンタドライバや、Windows® 2000 Pro/XPでシリアルナンバーが異なる本機に変更するときを使用します。

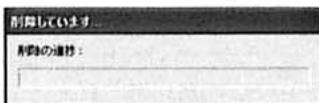
「MAX PM-24 を追加する」を選択した場合

新しいプリンタドライバを追加します。複数の本機を1台のパソコンで使用するときを使用します。Windows® 98/98 SE/Meの場合、プリンタドライバは追加されずに、新しいポートが追加されます。

**9** 「はい」ボタンをクリックします。

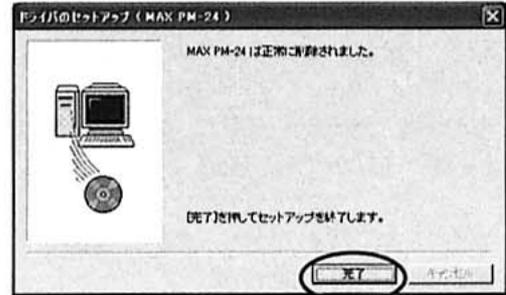


→ 削除が開始されます。



→ 削除が完了したことを示す画面が表示されます。

**10** 「完了」ボタンをクリックします。



→ プリンタドライバの削除が完了します。

# P-touch Editor でラベルを編集する

P-touch Editor を使うと、いろいろなデザインのラベルが作成できます。

## お知らせ

- ここでは、P-touch Editor の概要を説明します。詳しい使い方は、ヘルプに掲載されています。詳細は「ヘルプの使い方」(→ P.88) を参照してください。
- ここでは、主に Windows® XP の画面と操作を例に説明します。

## P-touch Editor を起動する

P-touch Editor を起動します。

### ■ Windows® XP の場合

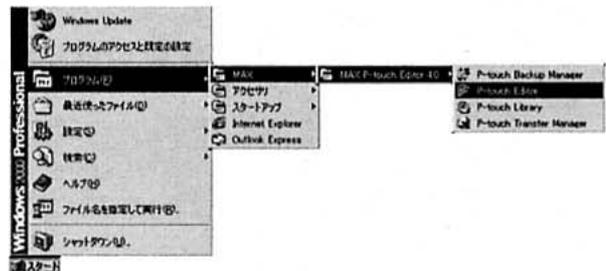
[スタート] メニュー - [すべてのプログラム] - [MAX] - [MAX P-touch Editor 4.0] - [P-touch Editor] を選択します。



→ 起動するとレイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

### ■ Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro の場合

[スタート] メニュー - [プログラム] - [MAX] - [MAX P-touch Editor 4.0] - [P-touch Editor] を選択します。



→ 起動するとレイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

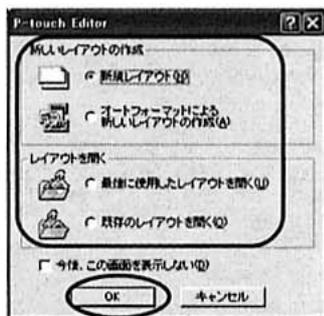
パソコンでラベルを  
作成する

P-touch Editor でラベルを編集する

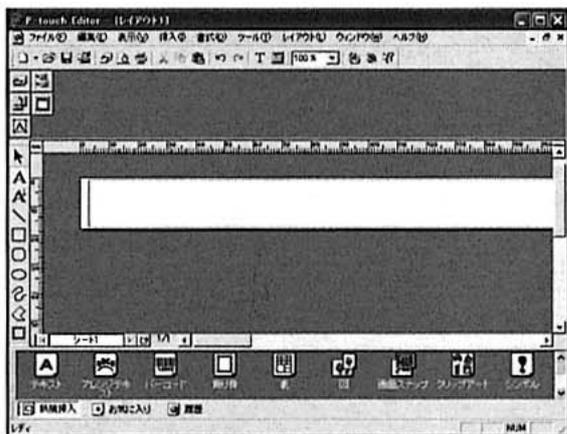
## レイアウト画面

P-touch Editor を起動すると、レイアウトの方法を選択する画面が表示されます。

- 1 レイアウトを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



→レイアウト画面が表示されます。

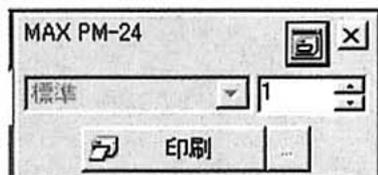


## ■ プロパティドック

ボタンをクリックすると、フォントやレイアウトなどを設定するプロパティが表示されます。もう一度ボタンをクリックすると、プロパティは閉じます。

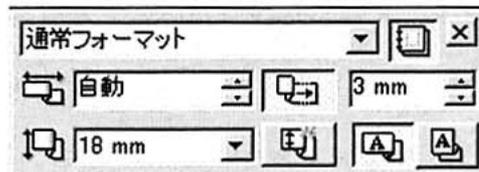
- 印刷プロパティ

ラベルの印刷の仕方を設定します。



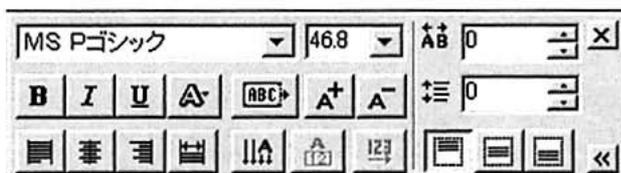
- ページプロパティ

ラベルのサイズと向きを設定します。



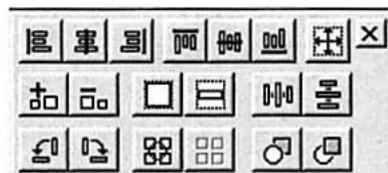
- テキストプロパティ

使用フォントや文字揃え、行間隔などを設定します。



- レイアウトプロパティ

文字列や図形の配列を設定します。



## ■ 描画ツールバー

文字や図形を描きます。



## ■ オブジェクトドック

イラストや似顔絵を呼び出すアイコンが並んでいます。

- テキスト  
文字列を入力します。



テキスト

- アレンジテキスト  
文字列を変形します。



アレンジテキスト

- バーコード  
バーコードを設定します。



バーコード

- 飾り枠  
飾り枠を付けます。



飾り枠

- 表  
表を作成します。



表

- 図  
保存されているイラストや写真などを呼び出します。



図

- bmp/dib/jpg/jpeg/tif/ico/wmf/emf/png のいずれかの形式のファイルを呼び出すことができます。

- 画面スナップ  
デスクトップ画面の一部をキャプチャします。



画面スナップ

- クリップアート  
いろいろなイラストを呼び出します。



クリップアート

- シンボル  
いろいろなマークを呼び出します。



シンボル

- ピクチャーメイキング  
絵を組み合わせてイラストを作ります。



ピクチャーメイキング

- モンタージュ  
髪型や目などを選んで似顔絵を作ります。



モンタージュ

- 日付と時刻  
現在の日付や時刻を文字列として表示します。



日付と時刻

- カレンダー  
カレンダーを文字列として表示します。



カレンダー

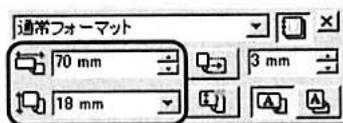
## ラベルのサイズを指定する

印刷するラベルのサイズを設定します。

- 1  をクリックします。

→ [ページプロパティ] 画面が表示されます。

- 2 ラベルの長さとお幅を設定します。



→ 設定したサイズのレイアウト画面が表示されます。

### お願い

- ラベルのサイズの幅は本機にセットされているテープカセットと同じ幅に設定してください。同じ幅にしないと、本機で印刷することができません。

## 文字を入力する

文字を入力します。

- 1 オブジェクトドックの  をクリックします。  
テキスト

- 2 レイアウト画面でクリックし、文字を入力します。

## イラストを挿入する

P-touch Editorに添付されている「クリップアート」からイラストを挿入する手順を説明します。

- 1 オブジェクトドックの  をクリックします。  
クリップアート

→ [クリップアートギャラリー] 画面が表示されます。

- 2 「カテゴリ」を選択し、「一覧」からイラストを選択して[OK]ボタンをクリックします。



→ レイアウト画面にイラストが挿入されます。

## フォーマットラベルを作成する

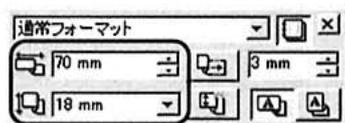
P-touch Editorは、オートフォーマットデータとフリーフォーマットデータを使用して、ラベルをデザインすることができます。

ここでは、フリーフォーマットデータで名前のラベルを作成する例を説明します。

- 1  をクリックします。

→ [ページプロパティ] 画面が表示されます。

- 2 ラベルの長さとお幅を設定します。



→ 設定したサイズのレイアウト画面が表示されます。

### お願い

- ラベルのサイズの幅は本機にセットされているテープカセットと同じ幅に設定してください。同じ幅にしないと、本機で印刷することができません。

- 3 オブジェクトドックの  をクリックします。

- 4 レイアウト画面でクリックし、名前を入力します。



- 5 [テキストプロパティ] の  をクリックします。

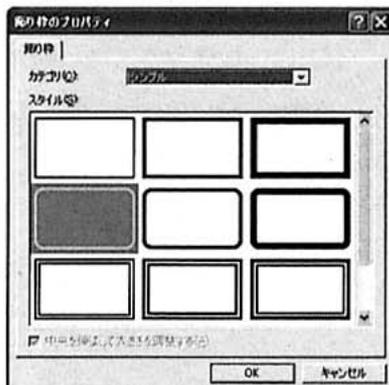
→ 文字列が中央揃えになります。



- 6 オブジェクトドックの  をクリックします。

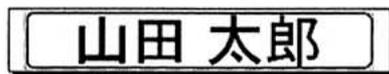
→ [飾り枠のプロパティ] 画面が表示されます。

- 7 「カテゴリ」と「スタイル」を選択します。ここでは、「カテゴリ」で「シンプル」、「スタイル」で角の丸い長方形（細線）を選択します。



- 8 [OK] ボタンをクリックします。

→ 以下のようにレイアウトされます。



- 9 レイアウトが完成したら、本機にデータを転送し、印刷します。

詳細は「パソコンからデータを転送する」(→ P.91) を参照してください。

### お知らせ

- 操作の詳細は、「ヘルプ」を参照してください。

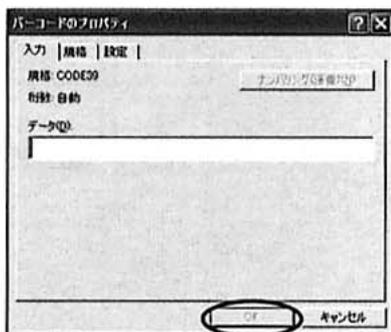
## バーコードラベルを作成する

バーコードを入力する手順を説明します。

- 1 オブジェクトドックの  をクリックします。

→ [バーコードプロパティ] 画面が表示されます。

- 2 バーコードの規格の設定やデータを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



→ レイアウト画面にバーコードが入力されます。

- 3 レイアウトが完成したら、本機にデータを転送し、印刷します。

詳細は「パソコンからデータを転送する」(→P.91) を参照してください。

### お知らせ

- 操作の詳細は、「ヘルプ」を参照してください。
- P-touch Editor のテンプレートデータでバーコードの規格を設定し、データベースデータからバーコードをリンクして印刷する場合、本機に P-touch Editor で設定したバーコードの規格がないときは、バーコードが印刷されません。「バーコードラベルを作成するとき」(→P.106) を参照してください。
- 本機と P-touch Editor で入力桁数が異なる場合、本機の入力桁数に合わせてください。P-touch Editor の入力桁数に合わせた場合は印刷されません。本機で作成できるバーコードと桁数は「バーコードを作成する」(→P.49) を参照してください。

## データベースデータを利用する

Excel などで作成したデータベースデータを利用してラベルデータを作成することができます。データベースデータを利用すると、同じレイアウトでデータのみを変えたラベルを簡単に複数作成することができます。

Microsoft® Excel で作成した以下のファイルを使用したときの手順を説明します。

| 部品名     | 型名     | 部品コード      |
|---------|--------|------------|
| USBケーブル | CB-001 | 111111-001 |
| ACアダプタ  | AC-123 | 222222-001 |

- 1 Excel でデータを作成し、保存します。
- 2 P-touch Editor のメニューバーの [ファイル] - [データベース] - [接続] を選択します。



→ [データベースを開く] 画面が表示されます。

- 3 用意した Excel ファイルを選択し、「先頭行をフィールド名として使用する」にチェックが入っていることを確認して [開く] ボタンをクリックします。

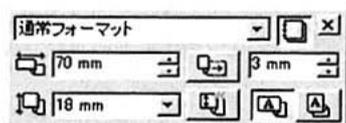
選択したファイルに複数のシートが含まれている場合は、[テーブルの選択] 画面が表示されるので、使用するシートを選択します。



→ レイアウト画面の下に選択したデータベースの内容が表示されます。

- 4**  をクリックします。
- [ページプロパティ]画面が表示されます。

- 5** ラベルの長さや幅を設定します。

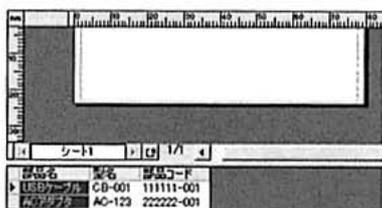


→ 設定したサイズのレイアウト画面が表示されます。

### お願い

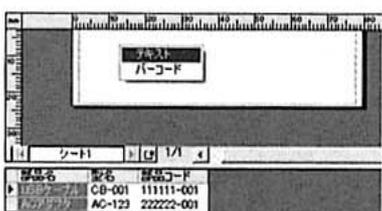
- ラベルのサイズの幅は本機にセットされているテープカセットと同じ幅に設定してください。同じ幅にしないと、本機で印刷することができません。

- 6** 「部品名」の列でクリックし、レイアウト画面にドラッグします。



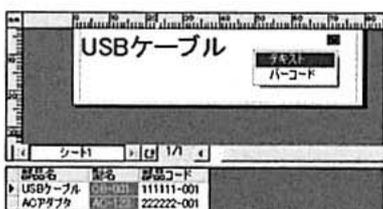
→ ポップアップメニューが表示されます。

- 7** [テキスト] を選択します。



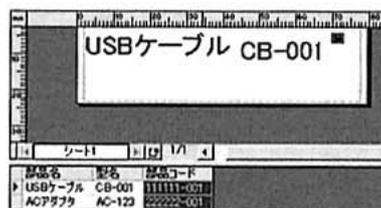
→ レイアウト画面に「部品名」の1行目のデータがレイアウトされます。

- 8** 「型名」の列も同様にレイアウトします。



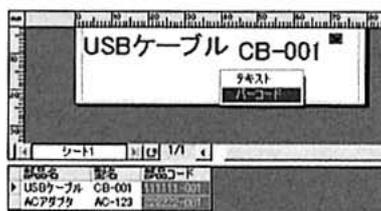
- 複数の列を一度にレイアウトするときには、1列目をクリックし、shiftキーを押しながら次の列をクリックします。

- 9** 「部品コード」の列でクリックし、レイアウト画面にドラッグします。



→ ポップアップメニューが表示されます。

- 10** [バーコード] を選択します。



→ レイアウト画面にバーコードがレイアウトされます。

- 11** レイアウトされたオブジェクトの配置やプロパティを設定します。



- 12** レイアウトが完成したら、本機にデータを転送し、印刷します。

詳細は「パソコンからデータを転送する」(→ P.91)を参照してください。

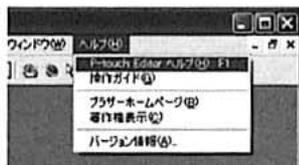
### お知らせ

- 操作の詳細は、「ヘルプ」を参照してください。

## ヘルプの使い方

P-touch Editorには、ソフトウェアの詳しい使い方を説明したヘルプが付いています。ここではヘルプの使い方を説明します。

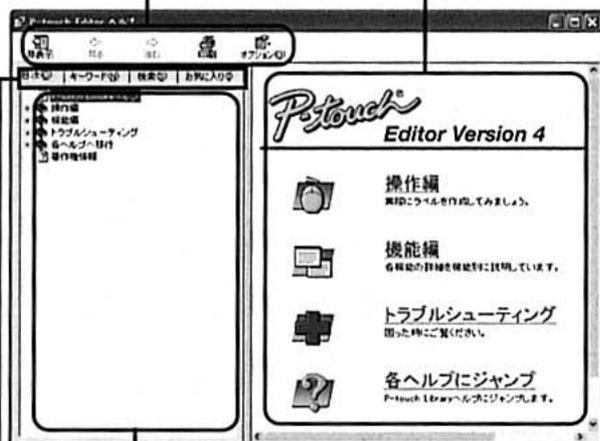
- 1 メニューバーの [ヘルプ] - [P-touch Editor ヘルプ] を選択します。



→ [P-touch Editor ヘルプ] が表示されます。

ツールバー  
ヘルプを操作するツールです。

トピック  
選択した項目の説明が表示されます。



タブ  
見出しを表示したり、キーワードで検索ができます。

選択したタブの内容が表示されます。

## ■ ヘルプを印刷するとき

ヘルプの内容を印刷することができます。ヘルプは、通常のプリンタで印刷します。

- 1 [目次] タブを選択します。
- 2 目次タブで印刷したいトピックを選択します。

### □ 特定のトピックを印刷するとき

目次タブで、印刷したい見出しをクリックします。見出しをクリックすると、その見出しに含まれる内容が表示されます。



### □ 「操作編」の全文を印刷するとき

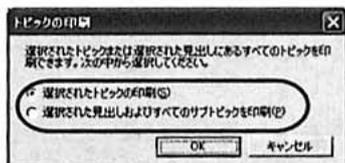
目次タブで、「操作編」をクリックします。



- 3  ボタンをクリックします。

→ [トピックの印刷] 画面が表示されます。

④ 印刷する内容を選択します。



- 表示したトピックを印刷するとき  
「選択されたトピックの印刷」を選択します。
- 選択した見出しに含まれるトピックを印刷するとき  
「選択された見出しおよびすべてのサブトピックの印刷」を選択します。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

→ [印刷] 画面が表示されます。

⑥ 「プリンタの選択」で、印刷するプリンタを選択します。



- 本機で、ヘルプを印刷することはできません。A4判以上の用紙サイズに対応している通常のプリンタを選択してください。
- OSやプリンタの種類によって、表示される画面は異なります。

⑦ [印刷] ボタンをクリックします。

→ 印刷が実行されます。

## 他の種類のラベルを作るには

「P-touch Editor ヘルプ」の操作編では、以下のいろいろなラベルを作成する例を紹介しています。

|                       | 例 | 紹介している機能  |
|-----------------------|---|---|
| 名前ラベルを作ってみよう          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ラベルの大きさを指定</li> <li>テキストラベルを中央に配置</li> <li>テキストのまわりに枠付け</li> </ul> |
| CDケースラベルを作ってみよう       |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>背景テーマの設定</li> <li>クリップアートの挿入</li> <li>シート機能で複数のラベルをまとめる</li> </ul> |
| 縦書きラベルを作ってみよう         |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>縦書きラベルの作成</li> <li>縦中横組み文字の設定</li> </ul>                           |
| ナンバリング（連番）印刷してみよう     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>テキストのナンバリングの設定、印刷</li> </ul>                                       |
| 決まった長さのラベルを作ってみよう     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>テキストの拡大、均等割付</li> <li>文字の制御方法</li> </ul>                           |
| 表を作ってみよう              |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>表の挿入</li> <li>セルの結合</li> <li>表内へのテキスト入力</li> </ul>                 |
| 短縮ダイヤルラベルを作ってみよう      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>罫線なしの表</li> <li>セルの幅設定</li> </ul>                                  |
| バーコードラベルを作ってみよう       |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>規格の選択</li> <li>サイズの変更</li> </ul>                                   |
| Excelのデータを利用して印刷してみよう |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Excelファイルの接続</li> <li>レイアウトへのマージ</li> </ul>                        |
| 幅広ラベルを作ってみよう          |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広ラベルの設定</li> <li>文字の反転</li> </ul>                                 |

# パソコンからデータを転送する

P-touch Editor で編集したデータは、本機に転送して印刷します。  
パソコンから本機に転送できるデータは以下の形式ファイルです。

テンプレートデータ (lbl 形式)

P-touch Editor で作成したラベルデータです。

テンプレートデータには、オートフォーマットやレイアウト画面などで作成した通常のテンプレートデータと、データベースを利用して作成したテンプレートデータの2種類があります。

データベースデータ (mdb/xls/csv/txt 形式)

Microsoft® Excel や Access などで作成した表データです。

イメージ文字データ (bmp 形式)

外字エディタなどで作成したロゴなどの外字データです。

## 転送するデータを表示する

パソコンで作成したデータを本機に転送するとき  
は、P-touch Editor と一緒にインストールされて  
いる「P-touch Transfer Manager」を使用しま  
す。

初めに転送するデータをP-touch Transfer Man-  
ager に表示します。

### ■ テンプレートデータとデータベース データを表示する

テンプレートデータとデータベースデータを表示  
する手順を説明します。

① P-touch Editor を起動します。

② レイアウト画面に、デザインしたラベル  
のデータを表示します。

詳細は「P-touch Editor でラベルを編集す  
る」(→P.81) を参照してください。

③ メニューバーの [ファイル] - [テンプ  
レートの転送] を選択します。



→ [P-touch Transfer Manager] 画面が  
表示されます。

→ テンプレートデータ、データベースデー  
タが表示されます。

● [スタート] メニュー - [すべてのプログ  
ラム] - [MAX] - [MAX P-touch  
Editor 4.0] - [P-touch Transfer  
Manager] を選択して、画面を表示させ  
ることもできます。

● データベースを利用して作成したテンプ  
レートデータをレイアウト画面に表示し  
た場合は、[テンプレートの転送] を選択  
すると、P-touch Transfer Manager  
の画面にテンプレートデータとデータ  
ベースデータ2種類のデータが表示され  
ます。

データを表示したら、本機にデータを転送  
します。「データを転送する」(→P.92) を  
参照してください。

### お願い

● P-touch Editor でデータベースを利用  
してテンプレートデータを作成した  
場合は、テンプレートデータとデータ  
ベースデータの2種類のデータが本機  
に転送されます。この2つのデータは  
互いにリンクしているため、データ  
ベースデータを削除すると、テンプ  
レートデータが表示できなくなります。

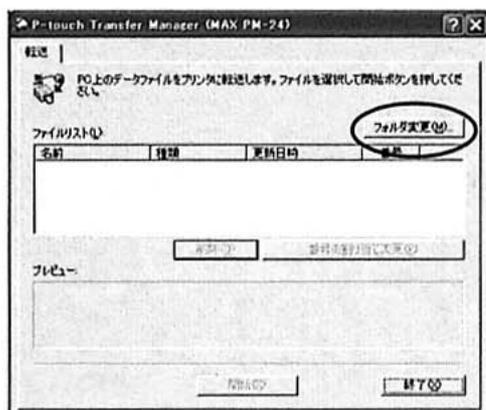
パソコンでラベルを  
作成する

パソコンからデータを転送する

## ■ イメージ文字データを表示する

イメージ文字データを表示する手順を説明します。

- ① 画像データを bmp 形式で作成し、保存します。
- ② [スタート]メニュー - [すべてのプログラム] - [MAX] - [MAX P-touch Editor 4.0] - [P-touch Transfer Manager] を選択します。  
→ [P-touch Transfer Manager] 画面が表示されます。
- ③ [フォルダ変更] ボタンをクリックし、データが保存されているフォルダを指定します。



→ イメージ文字データが表示されます。

- この画面でイメージ文字データを削除すると、参照したフォルダ内のデータも削除されます。

データを表示したら、本機にデータを転送します。「データを転送する」(→P.92)を参照してください。

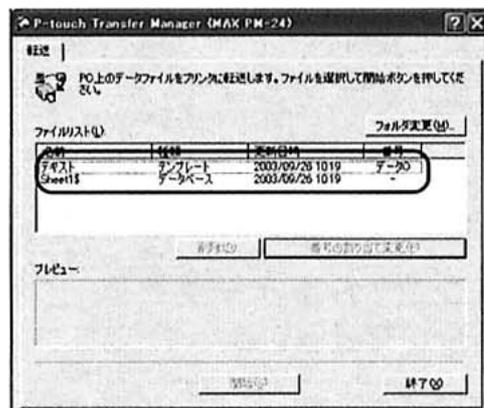
## データを転送する

P-touch Transfer Manager で表示したデータを本機に転送します。

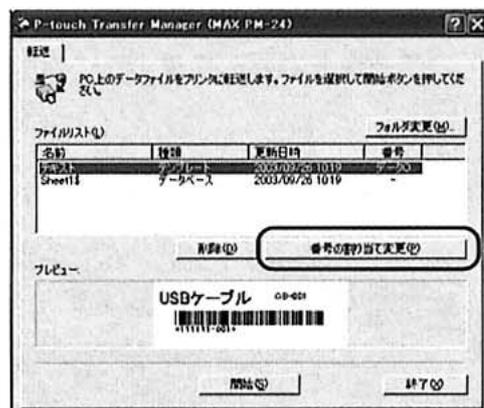
- ① 本機の電源を切り、 (機能) を押しながらか、 (ON/OFF) を押します。  
→ 本機がトランスファーモードに切り替わります。



- ② [P-touch Transfer Manager] 画面で転送するデータを選択します。



- ③ [番号の割り当て変更] ボタンをクリックし、転送先のデータ番号を選択します。



- すでにデータが保存されているデータ番号を選択すると、本機に転送したときにデータは上書きされます。
- データベースデータは、データ番号を選択する必要はありません。

**4** [P-touch Transfer Manager]画面の [開始] ボタンをクリックします。



→ 本機の指定したデータ番号にデータが転送されます。

→ 転送が終わると完了のメッセージが表示されます。

- データベースを利用して作成したテンプレートデータを転送するときは、データベースデータも一緒に転送してください。

**5** **ON/OFF** (ON/OFF) を押して、本機の電源を切ります。

→ 電源がOFFになり、トランスファーモードが解除されます。

**お知らせ**

- 本機のデータが削除されるおそれがあるため、データ転送中に本機の電源を切ったり、USBケーブルを抜かないでください。
- 乾電池の残量が少ない場合、データの転送ができないことがあるため、データを転送するときは、ACアダプタ(別売)を使用してください。

**データを表示する**

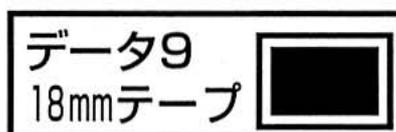
パソコンから転送したデータを本機の画面に表示します。

**■ テンプレートデータを表示する**

本機に転送したテンプレートデータを表示します。パソコンで編集したレイアウトや文字などのデータが表示されます。

**1** **機能** (機能) を押してから、表示するデータ番号 (数字キー) を押します。

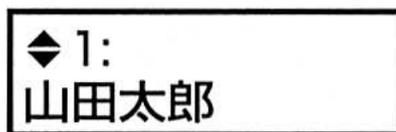
→ 本機の画面に転送されたテンプレートデータのイメージが表示されます。



- **▲** (上) / **▼** (下) を押すと、本機に保存されているデータが表示されます。

**2** **確定** (確定) を押します。

→ 画面にデータが表示されます。



- カーソルを移動し、データの編集をすることができます。  
詳細は「テンプレートデータでラベルを作成する」(→ P.60) を参照してください。
- ラベルを印刷する場合は「データを印刷する」(→ P.96) を参照してください。

パソコンでラベルを作成する

パソコンからデータを転送する

## ■ データベースデータを利用して作成したテンプレートデータを表示する

本機に転送したデータを表示します。データを表示させることにより、パソコンで編集したテンプレートデータのレイアウトで、指定した行（レコード）のデータベースのデータを印刷することができます。

- ① （機能）を押してから、データ番号（数字キー）を押します。

→ 本機の画面に転送されたテンプレートデータのイメージが表示されます。



- （上） / （下）を押すと、本機に保存されているデータが表示されます。

- ② （確定）を押します。

→ 画面にデータベースデータが表示されます。

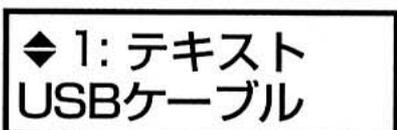


- ③ （上） / （下）を押して、表示する行（レコード番号）を選択します。

- （左） / （右）を押すと、列（フィールド）が表示されます。

- ④ （確定）を押します。

→ 画面に選択した行（レコード）のデータが表示されます。



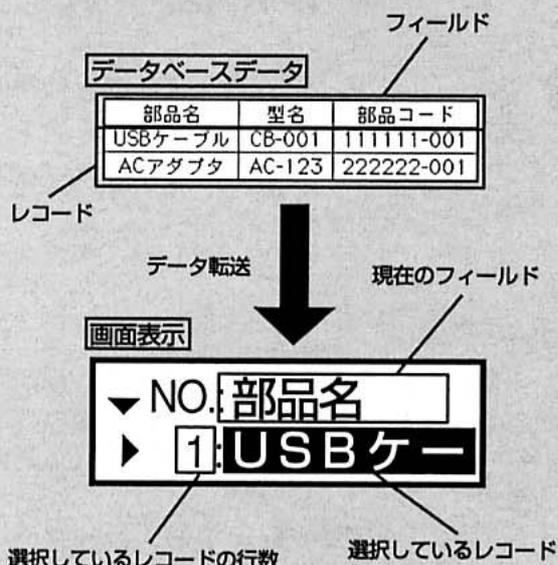
- 画面には1行分のデータベースデータのみ表示されます。
- カーソルを移動し、データの編集をすることができます。

詳細は「テンプレートデータでラベルを作成する」(→ P.60) を参照してください。

- ラベルを印刷する場合は「データを印刷する」(→ P.96) を参照してください。
- すべてのデータベースデータを画面で確認したい場合は、「データベースデータを表示する」(→ P.95) を参照してください。
- 指定した範囲やすべてのデータベースデータを印刷する場合は、「データベースデータを印刷する」(→ P.96) を参照してください。

## お知らせ

- パソコンから転送されたデータベースデータは、本機の画面ではデータの一部しか表示されません。カーソルを移動して他の部分を表示してください。例えば、（下）を押すと、レコードは「ACアダプタ」が画面に表示されます。さらに （右）を押すとフィールドに「型名」、レコードに「AC-123」が表示されます。



## ■ データベースデータを表示する

本機に転送したデータベースデータを表示します。テンプレートデータの有無に関わらず、データベースデータを表示できます。

### ① (データベース) を押します。

→ 画面にデータベースデータが表示されます。



-     (移動) を押して、反転表示を移動させることにより、データベースの内容を確認することができます。

### ② (確定) を押すと、反転表示しているデータのみが画面に表示されます。



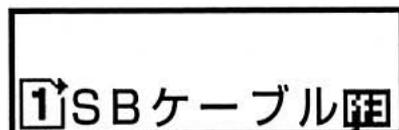
## ■ イメージ文字データを表示する

本機に転送したイメージ文字データを表示します。

### ① イメージ文字データを挿入する位置にカーソルを移動します。

### ② (機能) を押してから、表示するデータ番号 (数字キー) を押します。

→ 画面に外字マークが表示されます。



外字マーク

### お知らせ

- イメージ文字データを画面に表示した場合は、外字マークで表示されます。外字マークの内容を確認したいときは印刷をしてください。

## データベースを検索する

データベースを検索します。データベースの検索方法は2種類あります。

### ① データベースデータを表示します。

「データを表示する」(→P.93) を参照してください。

### ② (機能) を押してから、 (データベース) を押します。

 (機能) を押してから、 (データベース) を押すたびに、検索方法が「文字検索」と「ナンバー検索」に切り替わります。

#### 文字検索

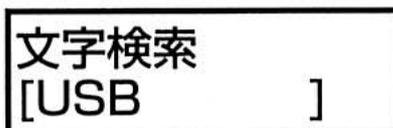
データベース内の文字を検索します。

#### ナンバー検索

データベース内の番号を検索します。

→ データベース検索画面が表示されます。

### ③ 表示するデータの文字、または数字の一部を入力し、 (確定) を押します。



→ 検索が開始され、画面に入力した文字または数字が含まれたデータベースが表示されます。



- 「該当するレコードがありません！」のメッセージが表示されたときは、文字または数字を変更して、再検索してください。

### ④ 目的のデータが表示されたら、 (確定) を押します。

→ 画面にデータが表示されます。

パソコンで作成する

パソコンからデータを転送する

## データを印刷する

パソコンから転送したデータを本機で印刷します。

### ■ テンプレートデータやイメージ文字データを印刷する

- ① データを本機の画面に表示します。  
「データを表示する」(→P.93)を参照してください。
- ②  (印刷) を押します。  
→ 印刷が開始されます。
  - 特殊印刷などを組み合わせて印刷することもできます。詳細は「印刷する」(→P.37)を参照してください。

### ■ データベースデータを利用して作成したテンプレートデータを印刷する

- ① データベースデータを本機の画面に表示します。  
「データを表示する」(→P.93)を参照してください。
- ②  (印刷) を押します。  
→ 印刷が開始されます。
  - 選択したテンプレートデータのレイアウトでラベルが印刷されます。
  - 同じレイアウトでデータベースデータの異なる行(レコード)を印刷する場合は、「データを表示する」(→P.93)に戻って、印刷するデータを表示してください。
  - 特殊印刷などを組み合わせて印刷することもできます。詳細は「印刷する」(→P.37)を参照してください。

### ■ データベースデータを印刷する

データベースの中から指定した範囲やすべてのデータベースデータを印刷します。  
また、データベースデータを利用して、マーキングラベルなどを作成することができます。  
詳細は「マーキングラベルを設定する」(→P.43)を参照してください。

- ①  (機能) を押してから、 (特殊印刷) を押します。  
  
入力画面にデータがない場合は③へ進みます。  
→ 画面に特殊印刷設定メニューが表示されます。
- ②  (上) /  (下) を押して「データベース」を表示し、 (確定) を押します。

特殊印刷  
◆データベース

- 「データベース」を選択すると、編集集中のデータは削除されます。

- ③  (左) /  (右) を押して「レコード指定」を表示します。

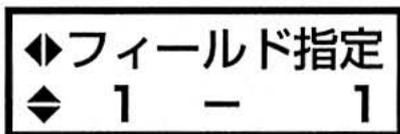
◆レコード指定  
◆ 1 - 1

- ④  (上) /  (下) /  (移動) /  (移動) または数字入力キーを押して、レコード指定の範囲を表示します。

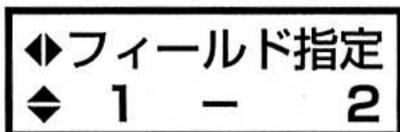
◆レコード指定  
◆ 1 - 2

-  (空白) を押すと「1-1」に戻ります。

- ⑤  (左) /  (右) を押して「フィールド指定」を表示します。



- ⑥     (移動) または数字入力キーを押して、フィールド指定の範囲を表示します。



-  (空白) を押すと「1-1」に戻ります。

- ⑦  (確定) を押します。

→ 特殊印刷画面が表示されます。



- 続けて他の特殊印刷を設定する場合は、 (上) /  (下) を押して「設定に戻る」を表示します。

- ⑧  (確定) を押します。

→ 印刷が開始されます。

- データベースは各セル単位で印刷されます。
- 詳細は「印刷する」(→P.37) を参照してください。

## データをバックアップ／削除する

本機に保存されているデータをパソコンでバックアップしたり、削除します。

バックアップや削除ができるデータは、テンプレートデータ、データベースデータ、イメージ文字データ、メモリーデータです。データのバックアップや削除は「P-touch Backup Manager」を使用します。

- ① 電源が切れた状態で、 (機能) を押しなが、 (ON/OFF) を押します。

→ 本機がトランスファーモードに切り替わります。



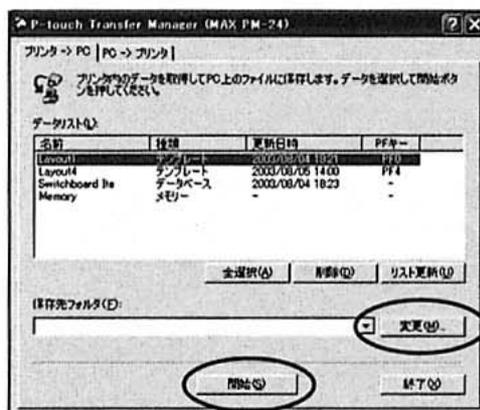
- ② [スタート]メニュー - [すべてのプログラム] - [MAX] - [MAX P-touch Editor 4.0] - [P-touch Backup Manager] を選択します。

→ [P-touch Backup Manager] 画面がパソコンに表示されます。

### ■ データのバックアップを取る

- ③ [プリンター->PC] タブをクリックし、バックアップするデータを選択します。

- ④ [変更] ボタンをクリックし、「保存先フォルダ」を指定し、[開始] ボタンをクリックします。



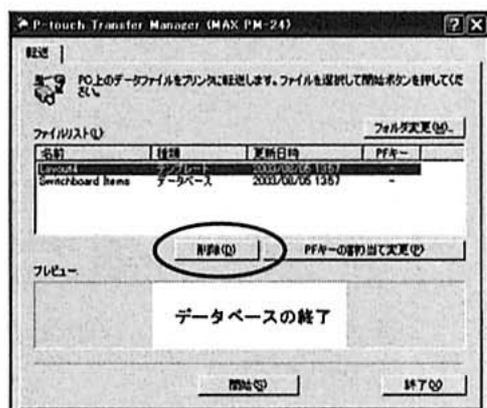
→ データがパソコンに保存されます。

パソコンでラベルを作成する

パソコンからデータを転送する

## ■データを削除する

- ③ [プリンタ->PC] タブをクリックし、削除するデータを選択して、[削除] ボタンをクリックします。



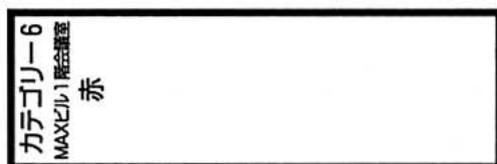
→ 選択したデータが本機から削除されます。

# マーキングラベルを作成しましょう

ここでは、Excel (データベース) を利用したケーブル用のマーキングラベルの作成方法を具体的に例をあげて説明します。

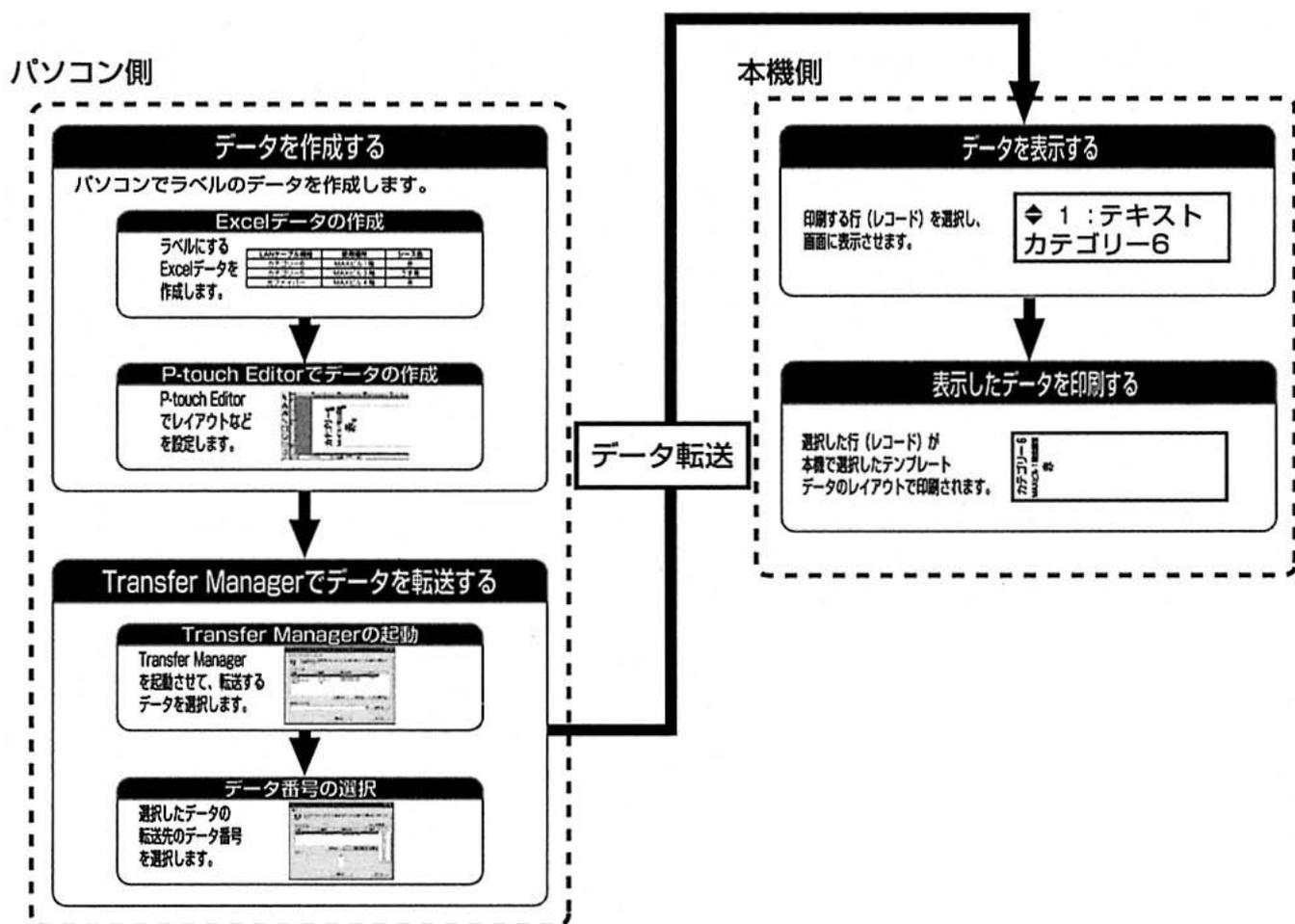
データベースを利用すると、同じレイアウトでデータのみを変えたラベルを簡単に複数作成することができます。

例：



のケーブル用のマーキングラベルを作成します。

P-touch Editor でマーキングラベルを作成するには、以下の流れになります。



パソコンでラベルを作成する

マーキングラベルを作成しましょう

## P-touch Editor でデータを作成する

Excelなどで作成したデータベースを利用してラベルデータを作成します。

Microsoft® Excelで作成した以下のファイルを使用したときの手順を説明します。

| LANケーブル規格 | 使用場所    | シース色 |
|-----------|---------|------|
| カテゴリー6    | MAXビル1階 | 赤    |
| カテゴリー5    | MAXビル3階 | うす青  |
| 光ファイバー    | MAXビル4階 | 茶    |

1 Excelでデータを作成し、保存します。

2 P-touch Editorのメニューバーの[ファイル] - [データベース] - [接続]を選択します。



→ [データベースを開く] 画面が表示されます。

3 用意したExcelファイルを選択し、「先頭行をフィールド名として使用する」にチェックが入っていることを確認して[開く]ボタンをクリックします。

選択したファイルに複数のシートが含まれている場合は、[テーブルの選択]画面が表示されるので、使用するシートを選択します。

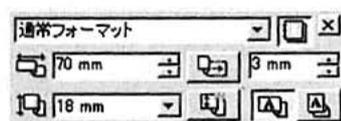


→ レイアウト画面の下に選択したデータベースの内容が表示されます。

4  をクリックします。

→ [ページプロパティ]画面が表示されます。

5 ラベルの長さ幅を設定します。

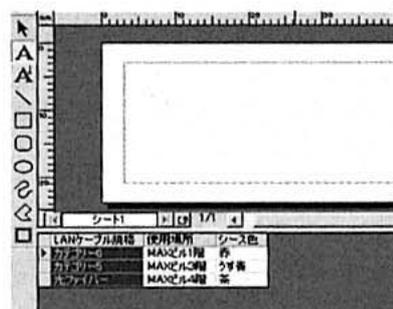


→ 設定したサイズのレイアウト画面が表示されます。

### お願い

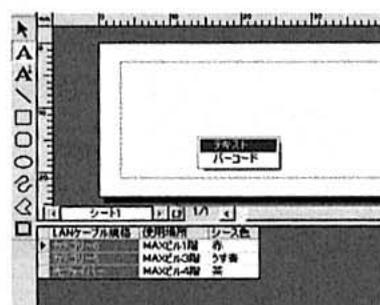
- ラベルのサイズの幅は本機にセットされているテープカセットと同じ幅に設定してください。同じ幅にしないと、本機で印刷することができません。
- ラベルの長さは、ケーブル外径を2周以上巻き付く長さに設定してください。

6 「LANケーブル規格」の列でクリックし、レイアウト画面にドラッグします。



→ ポップアップメニューが表示されます。

7 [テキスト]を選択します。



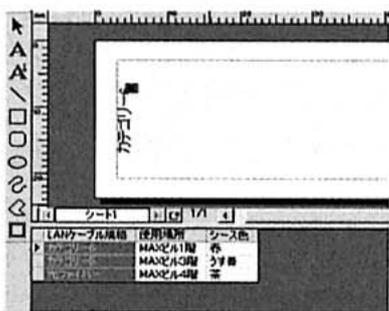
→ レイアウト画面に「LANケーブル規格」の1行目のデータがレイアウトされます。

8 [レイアウトプロパティ]で  をクリックします。

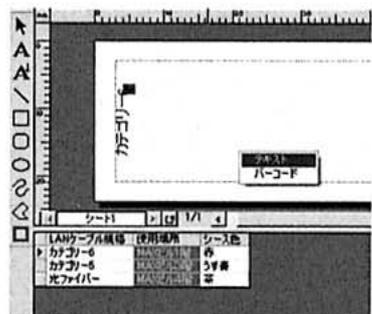
文字の大きさやレイアウトも調整します。



→ 文字が左に90°回転します。

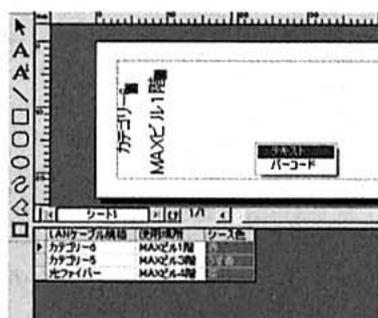


**9** 「使用場所」の列も同様にレイアウトします。

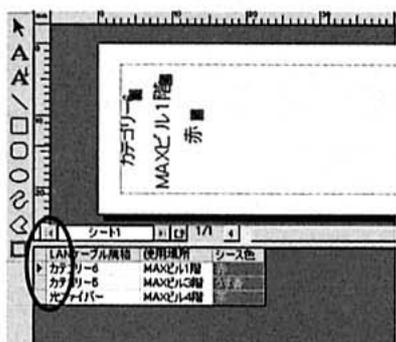


- 複数の列を一度にレイアウトするときは、1列目をクリックし、shiftキーを押しながら次の列をクリックします。

**10** 「シース色」の列も同様にレイアウトします。



**11** 他の行(レコード)をクリックし、レイアウトされたオブジェクトの配置を確認します。



レイアウトの調整などが終了したら、「データを転送する」に進んでください。

**お知らせ**

- 操作の詳細は、「ヘルプ」を参照してください。

## データを転送する

パソコンで作成したデータを本機に転送するときには、P-touch Editorと一緒にインストールされている「P-touch Transfer Manager」を使用します。

初めに転送するデータをP-touch Transfer Managerに表示します。

**1** メニューバーの【ファイル】 - 【テンプレートの転送】を選択します。



→ [P-touch Transfer Manager] 画面が表示されます。

- [スタート]メニュー - [すべてのプログラム] - [MAX] - [MAX P-touch Editor 4.0] - [P-touch Transfer Manager] を選択して、画面を表示させることもできます。
- P-touch Transfer Manager の画面にはテンプレートデータとデータベースデータの2つのデータが表示されます。

**お願い**

- P-touch Editor でデータベースを利用してテンプレートデータを作成した場合は、テンプレートデータとデータベースデータの2種類のデータが本機に転送されます。この2つのデータは互いにリンクしているため、データベースデータを削除すると、テンプレートデータが表示できなくなります。

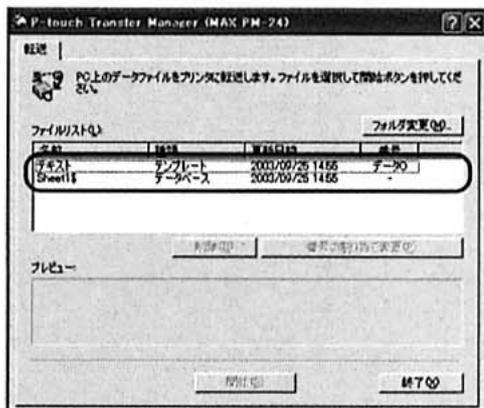
パソコンでラベルを作成する

マーキングラベルを作成しましょう

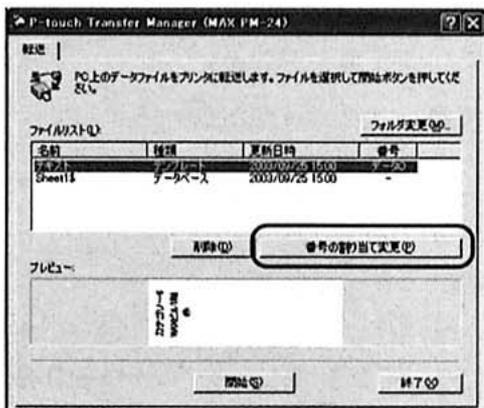
- 2 本機の電源を切り、**ON/OFF** (機能) を押しなが  
ら、**ON/OFF** (ON/OFF) を押します。  
→ 本機がトランスファーモードに切り替わ  
ります。



- 3 [P-touch Transfer Manager] 画面  
で、テンプレートデータを選択します。



- 4 [番号の割り当て変更] ボタンをクリッ  
クし、転送先のデータ番号を選択しま  
す。



- すでにデータが保存されているデータ番号を選択すると、本機に転送したときにデータは上書きされます。
- データベースデータは、データ番号を選択する必要はありません。

- 5 2つのファイル (テンプレートデータと  
データベースデータ) を選択し、[開始]  
ボタンをクリックします。



- 本機の指定したデータ番号にデータが転送されます。
- 転送が終わると完了のメッセージが表示されます。

- 6 **ON/OFF** (ON/OFF) を押して、本機の電源  
を切ります。

- 電源がOFFになり、トランスファーモードが解除されます。

### お知らせ

- 本機のデータが削除されるおそれがあるため、データ転送中に本機の電源を切ったり、USBケーブルを抜かないでください。
- データを転送するときは、ACアダプタ (別売) を使用してください。

印刷する行 (レコード) を画面に表示します。「本機にデータを表示する」に進んでください。

## 本機にデータを表示する

本機に転送したデータを表示します。データを表示させることにより、パソコンで編集したテンプレートデータのレイアウトで、データベースのデータを行（レコード）ごとに印刷することができます。指定した範囲やすべてのデータを印刷したいときは、「データベースデータを印刷する」（→P.96）を参照してください。

- 1** （機能）を押してから、データ番号（数字キー）を押します。

→ 本機の画面に転送されたテンプレートデータのイメージが表示されます。



- （上） / （下）を押すと、本機に保存されているデータが表示されます。

- 2** （確定）を押します。

→ 画面にデータベースデータが表示されます。



- 3** （上） / （下）を押して、表示する行（レコード番号）を表示します。

- （左） / （右）を押すと、列（フィールド）が表示されます。

- 4** （確定）を押します。

→ 画面に選択した行（レコード）のデータが表示されます。

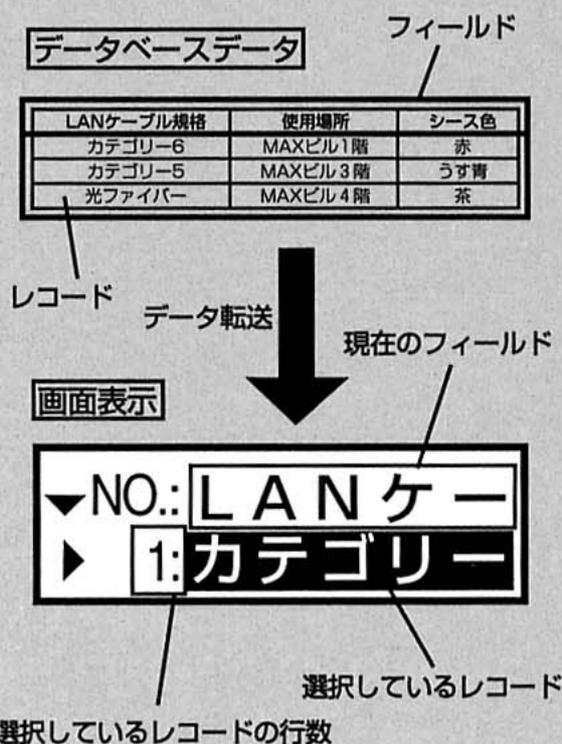
◆ 1 : テキスト  
カテゴリー6

- 画面には1行分のデータベースデータのみ表示されます。

本機にデータを表示したら、「データを印刷する」に進んでください。

### お知らせ

- パソコンから転送されたデータベースデータは、本機の画面ではデータの一部しか表示されません。カーソルを移動して他の部分を表示してください。例えば、（下）を押すと、レコードは「カテゴリー5」が画面に表示されます。さらに（右）を押すとフィールドに「使用場所」、レコードに「MAXビル3階」が表示されます。



パソコンでラベルを  
作成する

マーキングラベルを作成しましょう

## データを印刷する

パソコンから転送したデータを本機で印刷します。

### ■ 本機で表示したデータを印刷する

①  (印刷) を押します。

→ 印刷が開始されます。

- 選択したテンプレートデータのレイアウトでラベルが印刷されます。
- 同じレイアウトで異なる行 (レコード) を印刷する場合は、「本機にデータを表示する」(→ P.103) に戻って、印刷するデータを表示してください。
- 特殊印刷などを組み合わせて印刷することもできます。詳細は「印刷する」(→ P.37) を参照してください。

# 4 付録

ここでは、困ったときの対処方法やお手入れ方法などを紹介します。

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| バーコードラベルを作成するとき ..... | 106 |
| お手入れ .....            | 108 |
| 困ったとき .....           | 110 |
| 記号一覧 .....            | 114 |
| 主な仕様 .....            | 116 |
| 索引 .....              | 117 |

# バーコードラベルを作成するとき

本機やP-touch Editorで、商品管理やレジスターなどに利用できるバーコードラベルを、簡単に作成することができます。バーコードには様々な規格があるので、作成する規格、バーコードリーダーで読み取れる規格を確認してから作成してください。

## バーコード対応一覧

本機とP-touch Editorで作成できるバーコードは、以下のとおりです。

| 規格                | 形式                  | 文字                                | 桁数                       | PM-24        | P-touch Editor |
|-------------------|---------------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------|----------------|
| CODE39            | 一次元コード              | 0~9, A~Z, \$, /, %, +, -, .. スペース | 1~250                    | ○<br>(4~22桁) | ○              |
| 1-2/5             | 一次元コード              | 0~9                               | 1~250                    | ○<br>(4~22桁) | ○              |
| UPC-A             | 一次元コード              | 0~9                               | 11+1<br>(チェックデジット)       | ○            | ○              |
| UPC-E             | 一次元コード              | 0~9                               | 6+1<br>(チェックデジット)        | ○            | ○              |
| JAN13<br>(EAN13)  | 一次元コード              | 0~9                               | 12+1<br>(チェックデジット)       | ○            | ○              |
| JAN8<br>(EAN8)    | 一次元コード              | 0~9                               | 7+1<br>(チェックデジット)        | ○            | ○              |
| CODABAR<br>(NW-7) | 一次元コード              | 0~9, A~D, \$, /, :, +, -, ..      | 3~250                    | ○<br>(4~22桁) | ○              |
| CODE128           | 一次元コード              | 全ASCII (128文字)<br>制御コード (37種類)    | 1~250                    | ×            | ○              |
| EAN128            | 一次元コード              | 全ASCII (128文字)<br>制御コード (37種類)    | 1~250                    | ×            | ○              |
| POSTNET           | 一次元コード              | 0~9                               | 5, 9, 11*                | ×            | ○              |
| Laser Bar Code    | 一次元コード              | 0~9                               | 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15** | ×            | ○              |
| ISBN-2            | 一次元コード              | 0~9                               | 14+1<br>(チェックデジット)       | ×            | ○              |
| ISBN-5            | 一次元コード              | 0~9                               | 17+1<br>(チェックデジット)       | ×            | ○              |
| カスタマ<br>バーコード     | 一次元コード              | 0~9                               | 7~99                     | ×            | ○              |
| PDF417            | 二次元コード<br>(スタック型)   | 全文字                               | 1~1850<br>(数字のみ最大2710)   | ×            | ○              |
| QRCODE            | 二次元コード<br>(マトリックス型) | 全文字                               | 1~1817<br>(数字のみ最大7089)   | ×            | ○              |
| データ<br>マトリックス     | 二次元コード<br>(マトリックス型) | 全文字                               | 1~777<br>(数字のみ最大3116)    | ×            | ○              |

\* POSTNETは、データ総和の1桁目が「0」になるように算出します。

\*\* Laser Bar Codeは、データ総和の1桁目がチェックデジットとなります。

## バーコード印刷の注意

バーコードを印刷するときは、以下の点に注意してください。

- P-touch Editorのテンプレートデータでバーコードの規格を設定し、データベースデータからバーコードをリンクして印刷する場合、本機にP-touch Editorで設定したバーコードの規格がないときは、バーコードが印刷されません。
- 本機とP-touch Editorでバーコードの入力桁数が異なる場合、本機の入力桁数に合わせてください。P-touch Editorの入力桁数に合わせた場合は印刷されません。
- 本機で作成できるバーコードと桁数は「バーコードを作成する」(→P.49)を参照してください。
- 本機はバーコードラベル専用機ではありません。  
本機で作成したバーコードラベルは、使用するバーコードリーダーで読み取りができることを確認の上、使用してください。
- 万一、バーコードの誤読等による損害が発生しても、当社は一切責任を負いません。
- バーコードを印字する場合は、なるべく白ベース/黒インクのテープを使用してください。これ以外のテープでは、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- バーコードの幅は、なるべく大きく設定してください。小さく設定した場合、バーコードリーダーによっては読み取れないことがあります。
- バーコードが含まれたラベルを大量に連続して印刷すると、プリントヘッドが高温になり、正しく印刷できなくなることがあります。

# お手入れ

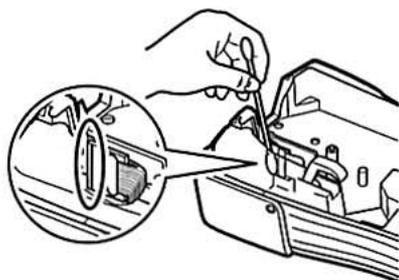
本機を使用していると、内部が少しずつ汚れていきます。本機のお手入れの方法を説明します。

## ラベルがきれいに印刷できないとき

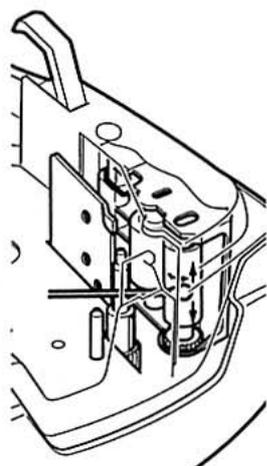
印刷したラベルに横線が入っていたり、鮮明に印字されないときは、プリントヘッドやヘッドローラーが汚れている可能性があります。

- 1 本機の電源を OFF にします。
- 2 ケースカバーを開きます。
- 3 テープカセットを取り外します。
- 4 綿棒を使って、プリントヘッドとヘッドローラーをそうじします。

プrintヘッド



ヘッドローラー



- 5 取り外したテープカセットをセットし、ケースカバーを閉じます。

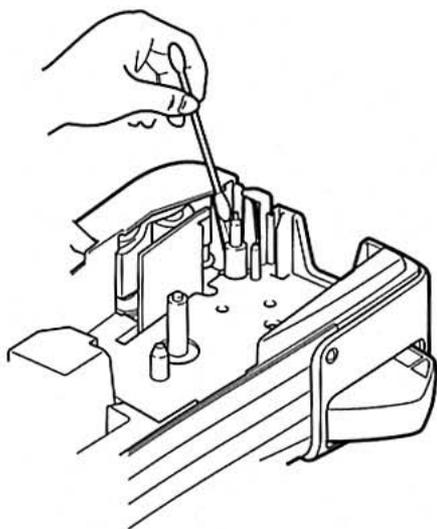
### お願い

- 本機の内部には、ラベル加工用のカッター刃があります。そうじ中に手を触れないようにしてください。
- ラベルの印刷直後は、プリントヘッドが高温になります。印刷の直後はそうじをしないでください。

## カッター刃のそうじ

印刷したときにラベルが正常に排出されないときは、テープ切断用のカッター刃をそうじします。

- 1 本機の電源を OFF にします。
- 2 ケースカバーを開きます。
- 3 テープカセットを取り外します。
- 4 綿棒を使って、カッター刃をそうじします。



- 5 取り外したテープカセットをセットし、ケースカバーを閉じます。

### お願い

- そうじ中に、カッター刃に直接手を触れないようにしてください。
- ラベルの印刷直後は、プリントヘッドが高温になります。印刷の直後はそうじをしないでください。

# 困ったとき

本機を使用していて困ったときは、以下を参照してください。

## Q&A

| 症状                            | 原因  | 対応  |
|-------------------------------|---|---|
| 電源が入らない                       | 乾電池が正しくセットされていますか？                                    | 乾電池ケース内の表示の向きに正しくセットしてください。   |
|                               | 乾電池が消耗していませんか？  | 新しい乾電池（別売）に交換してください。  |
|                               | ACアダプタはきちんと接続されていますか？                                 | 専用ACアダプタ（別売）を正しく接続してください。   |
| 操作中に突然電源が切れた                  | 乾電池が消耗していませんか？  | 新しい乾電池（別売）に交換してください。  |
| 印刷（印刷）を押しても何も印刷されない、テープが出てこない | 文章は入力されていますか？   | 何も入力されていないと印刷されません。文字を入力してください。   |
|                               | 残量のあるテープカセットが正しくセットされていますか？                           | 残量のあるテープカセットが正しくセットされているか確認してください。  |
|                               | テープの先端が曲がっていませんか？                                     | 曲がっているテープ先端をハサミで切ってまっすぐにして、テープ排出口から出るように正しくセットし直してください。   |
|                               | テープが詰まっていますか？   | テープカセットを取り出し、詰まったテープ部分をゆっくり引き出して、ハサミで切ってください。テープ先端がカセットの「テープガイド」を通っていることを確認して正しくセットし直してください。<br>印刷中やテープ送り中にテープ排出口をふさいだり、テープカッターレバーに触らないでください。テープ詰まりの原因になります。                                      |
| テープに文字がきちんと印刷されない             | 乾電池が消耗していませんか？  | 新しい乾電池（別売）に交換してください。  |
|                               | テープカセットは正しくセットされていますか？                                | テープカセットはカチッと音がするまでしっかりとセットしてください。   |
| インクリボンがテープと一緒にテープ排出口から出てきた    | 印刷ヘッドが汚れていませんか？                                       | 印刷ヘッドが汚れていると文字がかすれたり、欠けたりします。市販の綿棒で印刷ヘッドを軽く拭いてください。   |
|                               | インクリボンがたるんだままテープカセットをセットしていませんか？印刷したテープを手で引っ張り出しましたか？ | 絶対にテープをカットせずにテープカセットを取り出します。インクリボンが切れていないことを確認して、ゆっくりインクリボンを巻き取ってください。インクリボンが切れているときは、新しいテープカセット（別売）に交換してください。<br>テープカセットをセットするときにインクリボンのたるみを取ってください。印刷したテープは絶対に引っ張り出さないでください。インクリボン飛び出しの原因になります。 |
| 印刷が途中で止まった                    | テープカセットの残りはありますか？                                     | 黒い縞模様のテープが出てきたら、テープカセット終了です。新しいテープカセット（別売）に交換してください。  |
|                               | 乾電池が消耗していませんか？  | 新しい乾電池（別売）に交換してください。  |

| 症状              | 原因                     | 対応  |
|-----------------|------------------------|---|
| メモリーの内容が消えてしまった | 乾電池はセットされていますか？        | 乾電池を外したまま5分以上経過すると、保存されていたメモリーなどのデータが消えています。                    |
|                 | 初期化を行いませんでしたか？         | 本体の初期化を行うとメモリーなどのデータはすべて消えて、ご購入時の状態に戻ります。                       |
| テープを貼ることができない   | 裏紙をはがしましたか？            | 裏紙をはがしてから貼ってください。   |
|                 | 貼る場所は適していますか？          | 水や油がついているところ、汚れているところ、表面が凸凹しているところなどはテープが貼れなかったり、はがれやすくなったりします。 |
|                 | 使用したテープの種類は間違っていないですか？ | ケーブル用マーキングラベルには必ず巻き付けタイプのテープを使用してください。                          |
| データが転送できない      | USBケーブルは正しく接続されていますか？  | USBケーブルを正しく接続してください。  |
|                 | 出力先のポートは正しいですか？        | Windows®の[プリンタプロパティ]で[印刷先ポート]を確認してください。                         |
|                 | トランスファーモードに切り替えていますか？  | トランスファーモードに切り替えてください。   |

## エラーメッセージ

| エラーメッセージ         | 原因  | 対応  |
|------------------|---|---|
| 入力データがありません！     | 文字や記号など入力画面に何も入力されていません。                    | 文字や記号などを入力してください。                           |
| 字数オーバーです！        | 入力できる文字数は約500文字までです。それ以上の文字は入力、挿入できません。     | -   |
| 4行までです！          | 改行できるのは4行までです。4行以上は入力できません。                 | -   |
| 全ブロック合計で50行までです！ | 全ブロックの合計行数は50行までです。50行以上は入力できません。           | -   |
| マーキングモードで設定済みです！ | すでにマーキングモードで設定されています。                       | 設定を変更したい場合は、マーキングモードを変更してください。              |
| 設定範囲外の数値です！      | 設定範囲外の数値が入力されています。                          | 自動的に設定範囲内の一番近い数値に変更されます。                    |
| テープがありません！       | テープカセットがセットされていません。                         | テープカセットを正しくセットしてから、印刷してください。                |
| 行数オーバー！最大3行まで    | 入力されている文章の行数が、装着されているテープ幅で印刷できる最大行数を超えています。 | 行数を減らすか、印刷可能なテープ幅のテープカセットに交換してください。         |
| 行数オーバー！最大2行まで    | 入力されている文章の行数が、装着されているテープ幅で印刷できる最大行数を超えています。 | 行数を減らすか、印刷可能なテープ幅のテープカセットに交換してください。         |
| 定長オーバー！          | 入力した文章の長さが、テープ定長を超えています。                    | 文字数を減らすか、文字サイズを変更してください。                    |
| 定長オーバー！発生XXブロック  | ブロックの長さがテープ定長を超えています。                       | エラーメッセージに表示されたブロックの文字数を減らすか、文字サイズを変更してください。 |
| サイズオーバー！発生XXブロック | 文字サイズがテープの幅を超えています。                         | 文字サイズを変更するか、幅広のテープに交換してください。                |

| エラーメッセージ         | 原因   | 対応   |
|------------------|--|--|
| 1ラベルは、最長1mまでです！  | 入力した文章の長さが1mを超えています。   | 文字のサイズを小さくするか、文字数を減らしてください。  |
| 24mm幅テープを装着して下さい | 24mmテープ幅に定められた定型フォーマットにおいて、24mm幅以外のテープが装着されています。                             | 24mm幅のテープカセットにセットしてください。   |
| 18mm幅テープを装着して下さい | 18mmテープ幅に定められた定型フォーマットにおいて、18mm幅以外のテープが装着されています。                             | 18mm幅のテープカセットにセットしてください。   |
| 12mm幅テープを装着して下さい | 12mmテープ幅に定められた定型フォーマットにおいて、12mm幅以外のテープが装着されています。                             | 12mm幅のテープカセットにセットしてください。   |
| 9mm幅テープを装着して下さい  | 9mmテープ幅に定められた定型フォーマットにおいて、9mm幅以外のテープが装着されています。                               | 9mm幅のテープカセットにセットしてください。  |
| 6mm幅テープを装着して下さい  | 6mmテープ幅に定められた定型フォーマットにおいて、6mm幅以外のテープが装着されています。                               | 6mm幅のテープカセットにセットしてください。  |
| 枚数オーバー！          | 特殊印刷機能の組み合わせ印刷枚数が、999枚を超えています。   | 印刷枚数を減らしてください。   |
| カッター異常！（カッター閉）   | 印刷時に、カッターの刃が閉じています。  | カッター刃を元に戻してください。その後、テープカセットを取り出し、テープ先端をハサミ等で切ります。再度テープカセットを本機にセットし、テープ送り、印刷を行ってください。 |
| ファイル未登録です！       | メモリーにファイルが登録されていません。   | メモリーにファイルを登録してから、操作してください。   |
| メモリー容量オーバーです！    | メモリー容量を超えています。メモリー容量は合計で2,500文字までです。   | 不要になったデータを削除してください。  |
| 4桁以上入力してください！    | バーコード規格「CODE39」「1-2/5」「CODABAR」は、4桁以上のデータ入力が必要です。                            | 4桁以上データを入力してください。  |
| 入力桁数不足です！        | バーコード規格「JAN13」「JAN8」「UPC-A」「UPC-E」は、桁数が固定されています。                             | 固定桁数までデータを入力してください。  |
| 先頭終了のみ英字指定です！    | バーコード規格「CODABAR」の設定で、スタート/ストップコードにA~Dが入力されていないか、スタート/ストップコード以外にA~Dが入力されています。 | 正しくデータを入力し直してください。   |

| エラーメッセージ         | 原因  | 対応   |
|------------------|---|--|
| 該当するレコードがありません！  | 該当するレコードが本機に登録されていないか、異なる文字を入力しています。        | パソコンから本機にデータベースデータを転送するか、他のキーワードとなる文字や数字を入れて再検索してください。 |
| データベースがありません！    | 本機にデータベースデータは登録されていません。                     | パソコンから本機にデータベースデータを転送してください。                           |
| 外字がサイズエラーです！     | 外字の文字サイズがテープの幅を超えています。                      | 縦書きモードから他のモードに変更するか幅広のテープに交換してください。                    |
| カセットが交換されています！   | 印刷中に異なる幅のテープに交換されています。                      | 元のテープと同じ幅のテープをセットしてください。                               |
| 電池を確認してください！     | 古い乾電池と新しい乾電池が混在してセットされています。                 | すべて新品の乾電池（別売）に交換してください。                                |
| 複数のブロックでは連番不可です！ | 複数のブロックで連番の設定がされています。                       | 1ブロック内で連番の設定をしてください。                                   |
| このマーキングモードでは設定不可 | マーキングモードが「通常」以外の設定では、レイアウト・定長・枠囲みの設定ができません。 | —  |

# 記号一覧

本機に登録されている記号は以下のとおりです。

|             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 記述<br>(A)   | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |  |
|             | 40 | 41 | 42 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 省略<br>(B)   | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|             | 40 | 41 | 42 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 矢印<br>(C)   | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|             | 40 | 41 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| ○ △<br>(D)  | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|             | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |    |    |    |    |    |  |
| 単位<br>(E)   | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |  |
|             | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |    |    |    |    |    |  |
| 数字<br>(F)   | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |  |
|             | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 2桁数字<br>(G) | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |  |
|             | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |  |
|             | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |  |
|             | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 |  |
|             | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 |  |
|             | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |

|              |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 表示<br>(H)    | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|              |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 仕事<br>(I)    | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
|              |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| PC<br>(J)    | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ギリシャ<br>(K)  | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|              | A   | B   | Γ   | Δ   | E   | Z   | H   | Θ   | I   | K  | Λ  | M  | N  | Ξ  | O  | Π  | Ρ  | Σ  | Τ  | Υ  |
| 数学<br>(L)    | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
|              | Φ   | Χ   | Ψ   | Ω   | α   | β   | γ   | δ   | ε   | ζ  | η  | θ  | ι  | κ  | λ  | μ  | ν  | ξ  | ο  | π  |
| 年号<br>(M)    | 40  | 41  | 42  | 43  | 44  | 45  | 46  | 47  | 48  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              | ρ   | σ   | τ   | υ   | φ   | χ   | ψ   | ω   | ς   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| パーソナル<br>(Z) | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |    |    |    |    |
|              | +   | -   | ±   | ×   | ÷   | =   | ≠   | <   | >   | ≤  | ≥  | ∞  | ∴  | %  | *  | ∈  | ∋  | ⊆  | ⊇  | ⊂  |
|              | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
|              | ∩   | ∪   | ∩   | ∧   | ∨   | ¬   | ∀   | ∃   | ∠   | ⊥  | ∩  | ∂  | ∇  | ≡  | ≐  | ≪  | ≫  | √  | ∞  | ∞  |
|              | 40  | 41  | 42  | 43  | 44  | 45  | 46  | 47  |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              | ∴   | ∫   | ∫   | ∫   | ∫   | ∫   | ∫   | ∫   |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  | 09 | 10 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              | '00 | '01 | '02 | '03 | '04 | '05 | '06 | '07 | '08 | 昭和 | 平成 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|              | 00  | 01  | 02  | 03  | 04  | 05  | 06  | 07  | 08  | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |    |    |    |    |

# 主な仕様

## Bepop mini PM-24 本体

|             | 項目         | 仕様  |
|-------------|------------|---|
| 入力          | キーボード      | シリコンラバーキーボード (56キー)   |
|             | キー配列       | テンキー独立、ABC配列アルファベットキー                                       |
|             | 漢字変換       | 学習機能付き最長一致熟語変換 (内蔵辞書数62,293語うち単漢字辞書9,376語)                  |
| 表示          | 表示装置       | フルグラフィックLCD (134×48ドット)                                     |
|             | 文字表示       | 8文字 (全角文字)×2行 (128×32ドット)                                   |
|             | ガイダンス表示    | 上6個、下5個   |
| 印刷          | 印刷方式       | 熱転写方式/感熱方式  |
|             | 印刷ヘッド      | 180dpi/128ドット   |
|             | 印刷幅        | (24mm幅テープ使用時)<br>マーキングモード「通常」時は、15.8mm<br>それ以外のモード時は、18.1mm |
|             | 印刷スピード     | 約10mm/秒   |
|             | 印刷方向       | 横書き、縦書き   |
|             | テープカセット    | レタリテープ<br>6/9/12/18/24mm幅対応                                 |
|             | テープカッター    | 本体内蔵手動式   |
| 接続          | インターフェイス   | USB (Ver. 1.1対応)  |
| 電源・<br>サイズ他 | 電源         | 単3アルカリ乾電池×6本、<br>単3充電乾電池 (Ni-MH相当)×6本、<br>ACアダプタ (PM-AD24)  |
|             | オート・パワー・オフ | 操作終了後約5分  |
|             | 寸法         | 113 (W) ×235 (D) ×85 (H) mm<br>(テープカッターレバー突起部除く)            |
|             | 重量         | 約560g (テープカセット、乾電池、USB<br>ケーブル除く)                           |

## 動作環境

| 項目       | 仕様  |
|----------|---|
| OS       | Windows® 98/98 SE/Me/2000 Pro/XP<br>(プレインストールされたもの)<br>USBポート標準装備 |
| インターフェイス | USBポート (USB Ver. 1.1対応)   |
| ハードディスク  | 70MB以上の空き容量<br>(全オプションをインストールした場合)                                |
| メモリ      | 64MB以上搭載  |
| モニタ      | SVGA、HighColor以上のグラフィックカード  |
| その他      | CD-ROMドライブ  |

# 索引

## A

- ACアダプタ ..... 19
- ACアダプタ差し込み口 ..... 13
- Administrator ..... 69

## B

- Bepop mini PM-24 ..... 12, 116
- bmp形式 ..... 91

## C

- CD-ROM ..... 12
- csv形式 ..... 91

## L

- lbl形式 ..... 91

## M

- mdb形式 ..... 91

## P

- P-touch Backup Manager ..... 97
- P-touch Editor ..... 76, 81, 100
- P-touch Editorの起動 ..... 81
- P-touch Transfer Manager ... 91, 101
- PM-24 ..... 12, 116

## Q

- Q&A ..... 110

## T

- txt形式 ..... 91

## U

- USBケーブル ..... 12, 69, 74
- USBポート ..... 13, 74

## X

- xls形式 ..... 91

## ア

- アプリケーションの追加と削除 ..... 78
- アレンジテキスト ..... 83

## イ

- イメージ文字データ ... 91, 92, 95, 96
- イラスト ..... 84
- いろいろなラベル ..... 90
- 印刷 ..... 37
- 印刷プロパティ ..... 82
- 印刷枚数 ..... 39
- インストール ..... 69, 71, 76, 77

## エ

- 英文字 ..... 26
- 液晶画面 ..... 13, 16
- エラーメッセージ ..... 111

## オ

- オートパワーオフ ..... 19
- お客様登録カード ..... 12
- お手入れ ..... 108
- オブジェクトドック ..... 83

## カ

- 改行 ..... 26
- 外字データ ..... 91
- 鏡文字 ..... 42
- 飾り枠 ..... 83
- カセットリリースレバー ..... 13
- カタカナ ..... 24
- 画面スナップ ..... 83
- カレンダー ..... 83
- 漢字 ..... 24
- 乾電池 ..... 12, 17

## キ

|                |         |
|----------------|---------|
| キーボード .....    | 13, 14  |
| 記号 .....       | 27, 114 |
| 記号自動更新 .....   | 58      |
| 基本セットアップ ..... | 71      |

## ク

|               |        |
|---------------|--------|
| クリップアート ..... | 83, 84 |
|---------------|--------|

## ケ

|              |            |
|--------------|------------|
| ケースカバー ..... | 13         |
| ケーブル A ..... | 22, 43, 62 |
| ケーブル B ..... | 22, 44     |

## コ

|                  |     |
|------------------|-----|
| 困ったとき .....      | 110 |
| コントラスト .....     | 56  |
| コンピュータの管理者 ..... | 69  |

## シ

|              |     |
|--------------|-----|
| 自動縮小 .....   | 56  |
| 仕様 .....     | 116 |
| 使用上の注意 ..... | 9   |
| 初期化 .....    | 59  |
| 書式の設定 .....  | 30  |
| シンボル .....   | 83  |

## ス

|                |    |
|----------------|----|
| ☒ .....        | 83 |
| ストッパー .....    | 18 |
| ストラップ取付部 ..... | 13 |

## セ

|             |    |
|-------------|----|
| 設定の変更 ..... | 55 |
| 前面 .....    | 13 |

## ソ

|                 |          |
|-----------------|----------|
| そうじ .....       | 108, 109 |
| ソフトウェア .....    | 69       |
| ソフトウェアの削除 ..... | 78       |

## タ

|           |        |
|-----------|--------|
| 縦書き ..... | 22, 35 |
|-----------|--------|

## テ

|                  |                    |
|------------------|--------------------|
| データの印刷 .....     | 96, 104            |
| データの削除 .....     | 97, 54             |
| データの転送 .....     | 92, 101            |
| データのバックアップ ..... | 97                 |
| データの表示 .....     | 91, 93, 103        |
| データの保存 .....     | 53                 |
| データの呼び出し .....   | 54                 |
| データベース検索 .....   | 95                 |
| データベースデータ .....  | 86, 91, 94, 95, 96 |
| テープ送り .....      | 20                 |
| テープ送りと切り方 .....  | 55                 |
| テープ確認窓 .....     | 13                 |
| テープカセット .....    | 12, 18             |
| テープカタログ .....    | 12                 |
| テープカッター .....    | 13                 |
| テープカッターレバー ..... | 13                 |
| テープ排出口 .....     | 13                 |
| テキスト .....       | 83                 |
| テキストプロパティ .....  | 82                 |
| 電源 .....         | 19                 |
| 電池ケース .....      | 13                 |
| テンプレートデータ .....  | 91, 93, 94, 96     |

## ト

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 動作環境 .....       | 116         |
| 特殊印刷 .....       | 39          |
| トランスファーモード ..... | 92, 97, 102 |
| 取扱説明書 .....      | 12          |

## ハ

|                  |         |
|------------------|---------|
| バーコード .....      | 83      |
| バーコード印刷 .....    | 51      |
| バーコード印刷の注意 ..... | 52, 107 |
| バーコード削除 .....    | 51      |
| バーコード作成 .....    | 49, 86  |
| バーコード修正 .....    | 50      |
| バーコード設定 .....    | 49      |
| バーコード対応一覧 .....  | 106     |
| バーコード入力 .....    | 50      |
| バージョン表示 .....    | 58      |

|           |    |
|-----------|----|
| 背面 .....  | 13 |
| パネル ..... | 22 |

## ヒ

|                  |        |
|------------------|--------|
| ピクチャーメイキング ..... | 83     |
| ピッチ/カット .....    | 22, 45 |
| ピッチ/ライン .....    | 22, 46 |
| 日付と時刻 .....      | 83     |
| 表 .....          | 83     |
| 描画ツールバー .....    | 82     |
| ひらがな .....       | 23     |

## フ

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| フィールド .....       | 94, 97, 103 |
| フォーマットラベル .....   | 85          |
| 付属品 .....         | 12          |
| 太字 .....          | 32          |
| フラグ .....         | 22, 48      |
| プリンタドライバ .....    | 77          |
| プリンタドライバの削除 ..... | 79          |
| プリントヘッド .....     | 13          |
| プログラムの追加と削除 ..... | 78          |
| ブロック .....        | 36          |
| ブロック印刷 .....      | 41          |
| プロパティドック .....    | 82          |

## へ

|                |    |
|----------------|----|
| ページプロパティ ..... | 82 |
| ヘルプ .....      | 88 |
| ヘルプの印刷 .....   | 88 |

## ホ

|           |    |
|-----------|----|
| ポート ..... | 22 |
| 保証書 ..... | 12 |

## マ

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| マーキングラベル<br>..... | 22, 43, 61, 96, 99 |
| マニュアルの使い方 .....   | 5                  |

## モ

|              |        |
|--------------|--------|
| 文字間隔 .....   | 32, 63 |
| 文字の大きさ ..... | 30, 62 |
| 文字の削除 .....  | 28     |
| 文字の修正 .....  | 28     |
| 文字の挿入 .....  | 28     |
| 文字配置 .....   | 33     |
| 文字幅 .....    | 31     |
| モンタージュ ..... | 83     |

## ヨ

|           |    |
|-----------|----|
| 横書き ..... | 22 |
| 余白 .....  | 36 |

## ラ

|              |        |
|--------------|--------|
| ラベル .....    | 21, 81 |
| ラベルサイズ ..... | 84     |
| ラベル長 .....   | 35     |
| ラベル長補正 ..... | 57     |
| ラベルを貼る ..... | 38     |

## レ

|                  |             |
|------------------|-------------|
| レイアウト .....      | 33, 37, 82  |
| レイアウトプロパティ ..... | 82          |
| レコード .....       | 94, 96, 103 |
| 連番 .....         | 40          |

## ロ

|          |    |
|----------|----|
| ロゴ ..... | 91 |
|----------|----|

## ワ

|           |    |
|-----------|----|
| 枠囲み ..... | 34 |
|-----------|----|



●修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。



|                |           |                 |                     |
|----------------|-----------|-----------------|---------------------|
| 本社・営業本部        | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6-6    | TEL(03)3669-8108(代) |
| 札幌支店           | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)261-7141(代) |
| 仙台支店           | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)236-4121(代) |
| 東京支店           | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6-6    | TEL(03)3669-8141(代) |
| 名古屋支店          | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8531(代) |
| 大阪支店           | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1-3-18  | TEL(06)6444-2031(代) |
| 広島支店           | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-6331(代) |
| 福岡支店           | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1-5-1  | TEL(092)411-5416(代) |
| 盛岡営業所          | 〒020-0824 | 盛岡市東安庭2-10-3    | TEL(019)621-3541(代) |
| 南九州営業所         | 〒891-0115 | 鹿児島市東開町3-24     | TEL(099)269-5347(代) |
| 新潟マックス(株)      | 〒955-0081 | 三条市東裏館2-14-28   | TEL(0256)34-2112(代) |
| 群馬マックス(株)      | 〒371-0844 | 前橋市古市町233-5     | TEL(027)210-7755(代) |
| 埼玉マックス(株)      | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町3-421 | TEL(048)651-5341(代) |
| 千葉マックス(株)      | 〒284-0001 | 四街道市大日1870-1    | TEL(043)422-7400(代) |
| 横浜マックス(株)      | 〒241-0822 | 横浜市旭区さちが丘7-6    | TEL(045)364-5661(代) |
| 長野マックス(株)      | 〒399-0033 | 松本市笹賀8155       | TEL(0263)26-4377(代) |
| 静岡マックス(株)      | 〒422-8036 | 静岡市敷地1-3-26     | TEL(054)237-6116(代) |
| 金沢マックス(株)      | 〒921-8061 | 金沢市森戸2-15       | TEL(076)240-1871(代) |
| 京滋マックス(株)      | 〒612-8414 | 京都市伏見区竹田段ノ川原町9  | TEL(075)645-5061(代) |
| 兵庫マックス(株)      | 〒652-0832 | 神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2 | TEL(078)652-7370(代) |
| 岡山マックス(株)      | 〒700-0971 | 岡山市野田3-23-28    | TEL(086)246-9516(代) |
| 四国マックス(株)      | 〒761-8056 | 高松市上天神町761-3    | TEL(087)866-5599(代) |
| 徳島営業所          | 〒770-0866 | 徳島市末広1-4-25     | TEL(088)623-0286(代) |
| 松山営業所          | 〒790-0951 | 松山市天山2-1-35     | TEL(089)913-0608(代) |
| マックスサービス(株)札幌  | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)231-6487(代) |
| マックスサービス(株)仙台  | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)237-0778(代) |
| マックスサービス(株)高崎  | 〒370-0031 | 高崎市上大類町412      | TEL(027)350-7820(代) |
| マックスサービス(株)埼玉  | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町3-421 | TEL(048)667-6448(代) |
| マックスサービス(株)名古屋 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8210(代) |
| マックスサービス(株)大阪  | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1-3-18  | TEL(06)6446-0815(代) |
| マックスサービス(株)広島  | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-5670(代) |
| マックスサービス(株)福岡  | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1-5-1  | TEL(092)451-6430(代) |

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

ホームページアドレス : <http://www.bepop-net.com/>